

議会の概要

令和5年度版

熊本県議会事務局

(令和5年8月発行)

目 次

I	議会の沿革	1
II	議会の構成	4
1	議長・副議長	4
2	議員	4
(1)	議員の定数	4
(2)	選挙区別議員定数及び会派別議員数	4
(3)	会派別・期別議員数	5
(4)	会派別・期別議員名簿	6
3	議席表	7
4	議員一覧	8
III	議会の運営	14
1	本会議	14
(1)	定例会・臨時会	14
(2)	会 期	14
(3)	開議時刻	14
(4)	議事の順序	14
(5)	質問・質疑・討論	15
(ア)	代表質問	15
(イ)	一般質問	15
(ウ)	質疑・討論	15
(付)	県議会会期日程等調	16
2	議会運営委員会	18
(1)	委員会の設置	18
(2)	委員定数・会派別委員数及び所管事項	18
(3)	委員の任期・選任方法・委員名	18
(ア)	委員の任期	18
(イ)	選任の方法	18
(ウ)	正副委員長の選任方法	18
(エ)	委員名	18
3	常任委員会	19
(1)	常任委員会の設置	19

(2) 委員会名・委員定数・会派別委員数及び所管事項	19
(3) 委員の任期・選任方法	20
(ア) 委員の任期	20
(イ) 選任の方法	20
(ウ) 正副委員長の選任方法	20
4 特別委員会	20
(1) 特別委員会の設置	20
(2) 現在設置の委員会名・委員定数・会派別委員数及び付議事件	20
(3) 委員及び正副委員長の選任方法	21
(4) 特別委員会の経緯（昭和45年以降）	21
5 協議等の場	28
(1) 協議等の場の設置	28
(2) 臨時的に設けられた協議等の場の設置状況	28
6 請願及び陳情	29
(1) 請願書（請願書の処理）	29
(2) 陳情書・要望書等	30
(参考) 請願（陳情）書式例	30
(付) 請願及び陳情処理状況一覧表	31
7 議員・委員会提出議案	32
8 議会の傍聴	33
(1) 本会議の傍聴	33
(2) 委員会の傍聴	33
IV 政務活動費	34
1 政務活動費の額及び交付の方法	34
2 使途基準	34
3 収支報告	34
V 議員の議員報酬及び費用弁償	36
1 議員報酬	36
2 期末手当	36
3 費用弁償	37
(1) 公務旅行の費用弁償	37
(2) 議会、委員会又は協議等の場出席の費用弁償	37

VI	県議会議員選挙	38
1	選挙執行日及び議員定数の沿革	38
2	選挙結果	42
VII	議会関係各種名簿	46
1	歴代正副議長一覧	46
(1)	議長	46
(2)	副議長	47
2	監査委員一覧（議会選出）	49
3	県議会議員の各種協議会、審議会等委員一覧	51
4	有明海自動車航送船組合議会議員名簿	52
5	各種団体の主な議員役職名簿	52
VIII	議会事務局	54
1	組織	54
2	職員の定数及び現員数	54
3	事務の分担表	55
4	議会図書室	56
(1)	施設	56
(2)	図書	56
(3)	資料	56
(4)	蔵書数	58
(5)	利用状況	58
5	定期刊行物	59
(1)	会議録	59
(2)	くまもと県議会報	59
(3)	議会提要	59
(4)	議会の概要	59
(5)	議会の活動	59
6	県議会ホームページ	60
7	議会史編さん	61
8	県議会の予算	62
9	歴代議会事務局長一覧	63
IX	議会棟の概要	64
(1)	規模	64
(2)	建築費	64

(付 録)

1	熊本県の沿革	68
2	全国からみた熊本県	69
	○土 地	69
	○人口及び世帯数	69
	○県民所得	69
	○農 業	69
	○林 業	69
	○水 産 業	69
	○工 業	70
	○商 業	70
	○交 通	70
	○上下水道	70
	○教 育	70
3	歴代知事一覧	71
4	議員報酬、二（三）役給与改定状況一覧	72
5	県職員定数	73
6	県関係国会議員	74
	(1) 衆議院議員	74
	(2) 参議院議員	74
7	特別職一覧	76
8	令和5年度 部局別主要事業	79
9	行政機構図	100
	○熊本県知事部局行政機構図	100
	○企業局・病院局・議会事務局・各種委員（会）事務局機構図	103

I 議会の沿革

明治9年7月、熊本県臨時民会（公選県民会）が開催されたが、神風連の乱や西南の役など混乱が生じたため、新たに明治11年7月、太政官布告として府県会規則が發布された。翌12年3月、県会議員選挙（12選挙区、定数42人）が実施され、同年4月、第1回目の県会が開会された。

明治29年9月、郡県制度改正により、本県に府県制が施行され、それに伴い、県会議員の総選挙が実施（13選挙区、定数37人）された。大正から昭和初期にかけて人口増により、議員定数は40人超となり、さらに、昭和10年代には、八代市、人吉市など合併による新たな選挙区が生じた。戦災により県会議事堂が焼失するなどあったが、戦後、昭和21年10月、16選挙区、議員定数55人となった。これ以降については、以下のとおり。

昭和22年4月	戦後新制度による最初の選挙執行
昭和22年5月	地方自治法施行、常任・特別委員会制度が発足
昭和24年7月	県会議事堂が熊本市行幸町15番地に完成
昭和26年4月	人口増により17選挙区（水俣市選挙区設置）、議員定数57人となる。
昭和26年4月	2回目の選挙執行
昭和27年9月	定例会年4回となる。
昭和30年4月	3回目の選挙執行
昭和33年10月	熊本県議会議員の選挙区及び各選挙区における定数に関する条例（以下「定数条例」という。）の制定により、17選挙区が24選挙区に、議員定数57人が58人となる。 熊本市11人、飽託郡2人、荒尾市2人、玉名市2人、玉名郡3人、山鹿市1人、鹿本郡2人、菊池市1人、菊池郡2人、阿蘇郡4人、宇土市1人、宇土郡1人、上益城郡3人、下益城郡3人、八代市3人、八代郡2人、水俣市2人、葦北郡2人、人吉市1人、球磨郡3人、本渡市1人、牛深市1人、天草郡上島3人、天草郡下島2人 計24選挙区、58人
昭和34年4月	4回目の選挙執行
昭和37年12月	定数条例の一部改正により、熊本市11人が12人に、葦北郡2人が1人となる。（定数58人）
昭和38年4月	5回目の選挙執行
昭和41年9月	定数条例の一部改正により、熊本市12人が13人に、阿蘇郡4人が3人に、天草郡上島3人が2人となる。（定数57人）
昭和42年3月	県会議事堂現在地に移転（熊本市水前寺6丁目18番1号）

昭和42年4月	6回目の選挙執行
昭和46年4月	7回目の選挙執行
昭和48年12月	定数条例の一部改正により、熊本市13人が15人に、水俣市2人が1人に、玉名市2人が1人に、飽託郡2人が1人となる。（定数56人）
昭和50年4月	8回目の選挙執行
昭和53年12月	定数条例の一部改正により、熊本市15人が16人に、下益城郡3人が2人となる。（定数56人）
昭和54年4月	9回目の選挙執行
昭和57年10月	熊本県議会議員の定数を減少する条例の制定により、法定数57人のところ、議員定数56人と定める。
昭和57年12月	議会棟別館竣工
昭和58年4月	10回目の選挙執行
昭和61年3月	定数条例の一部改正により、下益城郡2人が3人に、菊池郡2人が3人に、球磨郡3人が2人に、天草郡下島2人が1人となる。（定数56人）
昭和62年4月	11回目の選挙執行
平成2年10月	平成3年2月1日、熊本市と飽託4町が合併するのに伴う定数条例の一部改正により、熊本市16人を17人に、飽託郡1人を削除する。ただし、合併特例法第10条第1項を適用し、合併後の次の一般選挙により選挙された議員の任期が終了する日までの間に限り、なお従前の選挙区による。
平成3年4月	12回目の選挙執行
平成6年3月	定数条例の一部改正により、熊本市17人が18人に、玉名郡3人が2人となる。（定数56人）
平成7年4月	13回目の選挙執行
平成11年4月	14回目の選挙執行
平成14年3月	定数条例の一部改正により、阿蘇郡3人が2人となる。（定数55人）
平成15年4月	15回目の選挙執行
平成18年3月	定数条例の一部改正により、23選挙区が22選挙区に、議員定数55人が49人となる。 熊本市16人、八代市・八代郡4人、人吉市1人、荒尾市2人、水俣市1人、玉名市2人、天草市・天草郡3人、山鹿市2人、菊池市1人、宇土市1人、上天草市1人、宇城市2人、阿蘇市1人、合志市1人、下益城郡1人、玉名郡1人、鹿本郡1人、菊池郡2人、阿蘇郡1人、上益城郡2人、

	葦北郡 1 人、球磨郡 2 人	(22選挙区、49人)
平成19年 4 月	16回目の選挙執行	
平成22年 3 月	平成22年 3 月23日熊本市、植木町及び城南町の合併に伴う議員の選挙区については、特例条例を制定し、次の一般選挙により選出された議員の任期満了日（平成27年 4 月29日）まで従前の選挙区となる。	
平成23年 4 月	17回目の選挙執行	
平成24年 4 月	定数条例の一部改正により、熊本市選挙区16人が、熊本市中央区選挙区 4 人、熊本市東区選挙区 4 人、熊本市西区選挙区 2 人、熊本市南区選挙区 3 人、熊本市北区選挙区 3 人となる。	
平成26年 3 月	定数条例の全部改正により、熊本県議会議員の選挙区、各選挙区の区域及び各選挙区における定数に関する条例（以下「新定数条例」という。）が制定され、26選挙区が21選挙区に、議員定数49人が48人となる。 熊本市第一選挙区12人、熊本市第二選挙区5人、 八代市・八代郡 4 人、人吉市 1 人、荒尾市 2 人、水俣市 1 人 玉名市 2 人、天草市・天草郡 3 人、山鹿市 2 人、菊池市 1 人 宇土市 1 人、上天草市 1 人、宇城市・下益城郡 2 人、 阿蘇市 1 人、合志市 1 人、玉名郡 1 人、菊池郡 2 人、 阿蘇郡 1 人、上益城郡 2 人、葦北郡 1 人、球磨郡 2 人	(21選挙区、48人)
平成27年 4 月	18回目の選挙執行	
平成29年10月	議会棟外部改修工事竣工	
平成30年 3 月	定数条例の一部改正により、議員定数48人が49人に、合志市 1 人が 2 人となる。	
平成30年10月	議会棟別館内部改修工事及び本会議場改修工事竣工	
平成31年 4 月	19回目の選挙執行	
令和 5 年 4 月	20回目の選挙執行	

II 議会の構成

1 議長・副議長

議長 瀧上陽一（令和5年5月10日就任）

副議長 内野幸喜（令和5年5月10日就任）

2 議員

(1) 議員の定数 49人

(2) 選挙区別議員定数及び会派別議員数

(令和5年6月6日現在)

選挙区	定数	会派別議員現数							計
		自民	立民連	公明	新社会	参政	維新	無所属	
熊本市第一	12	7	2	2		1			12
〃 第二	5	2	1	1			1		5
八代市・八代郡	4	2	1					1	4
人吉市	1	1							1
荒尾市	2	1			1				2
水俣市	1	1							1
玉名市	2	2							2
天草市・天草郡	3	3							3
山鹿市	2	1						1	2
菊池市	1	1							1
宇土市	1	1							1
上天草市	1	1							1
宇城市・下益城郡	2	2							2
阿蘇市	1	1							1
合志市	2	2							2
玉名郡	1	1							1
菊池郡	2	2							2
阿蘇郡	1	1							1
上益城郡	2	1						1	2
葦北郡	1	1							1
球磨郡	2	2							2
計	49	36	4	3	1	1	1	3	49

(3) 会派別・期別議員数

(令和5年6月6日現在)

会派 期別	自民	立民連	公明	新社会	参政	維新	無所属	計
1	2	1			1	1	3	8
2	8		1					9
3	10	1						11
4	2		1					3
5	6	1						7
6	3							3
7	3	1	1	1				6
8	1							1
9	1							1
10								
計	36	4	3	1	1	1	3	49

※会派：自民は自由民主党熊本県議会議員団、立民連は立憲民主連合、公明は公明党県議団
新社会は新社会党、参政は参政党、維新は熊本維新の会の略

(4) 会派別・期別議員名簿

(令和5年6月6日現在)

番号	期数	会派	氏名	生年月日	番号	期数	会派	氏名	生年月日
1	9	自民	前川 收	S35. 7. 9	29	2	自民	城戸 淳	S37. 2. 24
2	8	自民	岩下 栄一	S21. 7. 23	30	2	自民	荒川 知章	S48. 4. 18
3	7	自民	藤川 隆夫	S27. 12. 16	31	2	自民	坂梨 剛昭	S48. 10. 6
4	7	自民	松田 三郎	S39. 9. 11	32	2	自民	前田 敬介	S56. 5. 28
5	7	自民	吉永和 世	S41. 5. 16	33	2	自民	南部 隼平	S60. 1. 20
6	6	自民	池田 和貴	S38. 4. 29	34	2	自民	堤 泰之	S49. 7. 7
7	6	自民	溝口 幸治	S45. 8. 12	35	1	自民	斎藤 陽子	S51. 4. 25
8	6	自民	坂田 孝志	S32. 9. 11	36	1	自民	杉 篤ミカ	S58. 4. 3
9	5	自民	淵上 陽一	S40. 3. 18	以上 自民 36名				
10	5	自民	山口 裕	S46. 5. 20	1	7	立民連	鎌田 聡	S40. 1. 2
11	5	自民	内野 幸喜	S47. 10. 11	2	5	立民連	西 聖一	S35. 5. 20
12	5	自民	高野 洋介	S52. 8. 26	3	3	立民連	岩田 智子	S37. 1. 10
13	5	自民	高木 健次	S24. 5. 13	4	1	立民連	幸村 香代子	S37. 1. 1
14	5	自民	増永 慎一郎	S38. 4. 11	以上 立民連 4名				
15	4	自民	緒方 勇二	S35. 8. 28	1	7	公明	城下 広作	S34. 4. 8
16	4	自民	橋口 海平	S54. 1. 4	2	4	公明	前田 憲秀	S39. 8. 16
17	3	自民	楠本 千秋	S24. 10. 13	3	2	公明	本田 雄三	S38. 6. 5
18	3	自民	河津 修司	S27. 7. 5	以上 公明 3名				
19	3	自民	西山 宗孝	S27. 12. 8	1	7	新社会	岩中 伸司	S23. 12. 24
20	3	自民	岩本 浩治	S28. 8. 14	以上 新社会 1名				
21	3	自民	松村 秀逸	S29. 2. 2	1	1	参政	高井 千歳	S61. 1. 21
22	3	自民	末松 直洋	S37. 9. 14	以上 参政 1名				
23	3	自民	高島 和男	S39. 2. 15	1	1	維新	星野 愛斗	S62. 1. 9
24	3	自民	中村 亮彦	S43. 1. 22	以上 維新 1名				
25	3	自民	吉田 孝平	S52. 7. 2	1	1	無所属	亀田 英雄	S35. 12. 18
26	3	自民	竹崎 和虎	S49. 1. 14	2	1	無所属	住永 栄一郎	S44. 12. 7
27	2	自民	池永 幸生	S25. 5. 14	3	1	無所属	立山 大二朗	S53. 12. 26
28	2	自民	西村 尚武	S30. 2. 11	以上 無所属 3名				

3 議席表

(令和5年6月12日現在)

	財政課長	企業局長	会計管理部長	土木部長	農林水産部長
--	------	------	--------	------	--------

議事課員	議事課員	議事課員	機器
------	------	------	----

球磨川流域復興局長	観光戦略部長	商工労働部長	環境生活部長	健康福祉部長	知事公室長
-----------	--------	--------	--------	--------	-------

	議長	事務局長
--	----	------

事務局次長	議事課長	機器	議事課審議員	議事課員	議事課員
-------	------	----	--------	------	------

戦略(デジタル)担当	企画振興部長	総務部長	副知事	副知事	知事
------------	--------	------	-----	-----	----

演壇

教育長	警察本部長	人事委員長	監査委員	病院事業管理者	
-----	-------	-------	------	---------	--

星野	高井	立山	住永
----	----	----	----

質問者席	亀田	幸村	杉畠	質問者席
------	----	----	----	------

斎藤	堤	南	部
----	---	---	---

本田	岩田	前田(敬)	坂梨
----	----	-------	----

荒川	城戸	西村	池永	竹崎
----	----	----	----	----

吉田	中村	高島	末松
----	----	----	----

前田(憲)	松村	岩本	西山
-------	----	----	----

河津	楠本	橋口	緒方	増永
----	----	----	----	----

高木	高野	内野	山口
----	----	----	----

岩中	城下	西	鎌田
----	----	---	----

淵上	坂田	溝口	池田	吉永
----	----	----	----	----

松田	藤川	岩下	前川
----	----	----	----

4 議員一覧

(選挙区別・50音順、令和5年7月20日現在)

委員会及び役職名	選挙区	氏名	会派	生年月日	職業
議長	山鹿市	淵上陽一	自民	昭和40年 (1965年) 3月18日	議員
副議長、経済環境 地域活力	玉名郡	内野幸喜	自民	昭和47年 (1972年) 10月11日	議員
厚生の再生	熊本市 第一	岩下栄一	自民	昭和21年 (1946年) 7月23日	大学客員 教授
経済環境 海の再生	熊本市 第一	岩田智子	立民連	昭和37年 (1962年) 1月10日	議員
建設、議会運営 地域活力	熊本市 第一	城下広作	公明	昭和34年 (1959年) 4月8日	議員
厚高生 速交通	熊本市 第一	杉寫ミカ	自民	昭和58年 (1983年) 4月3日	会社役員
農林水産 海の再生	熊本市 第一	高井千歳	参政	昭和61年 (1986年) 1月21日	歯科医師
建設 高速交通	熊本市 第一	堤泰之	自民	昭和49年 (1974年) 7月7日	会社役員
○総務 高速交通	熊本市 第一	南部隼平	自民	昭和60年 (1985年) 1月20日	会社役員
農林水産、議会運営 地域活力	熊本市 第一	西聖一	立民連	昭和35年 (1960年) 5月20日	議員
農林水産 ◎地域活力	熊本市 第一	橋口海平	自民	昭和54年 (1979年) 1月4日	会社役員
厚生、議会運営 高速交通	熊本市 第一	藤川隆夫	自民	昭和27年 (1952年) 12月16日	医師
教育警察 高速交通	熊本市 第一	本田雄三	公明	昭和38年 (1963年) 6月5日	議員
◎建設 高速交通	熊本市 第一	松村秀逸	自民	昭和29年 (1954年) 2月2日	農業
厚高生 速交通	熊本市 第二	鎌田聡	立民連	昭和40年 (1965年) 1月2日	議員
教育警察 ○地域活力	熊本市 第二	高島和男	自民	昭和39年 (1964年) 2月15日	議員
◎農林水産 高速交通	熊本市 第二	竹崎和虎	自民	昭和49年 (1974年) 1月14日	議員
建設 高速交通	熊本市 第二	星野愛斗	維新	昭和62年 (1987年) 1月9日	議員

	住 所	電 話 番 号
自宅		TEL FAX
事務所	861-0501 山鹿市山鹿991	TEL 0968-42-8222 FAX 0968-42-8224
自宅	869-0123 玉名郡長洲町長洲924-10	TEL 0968-78-8538 FAX 0968-78-8538
事務所	869-0105 玉名郡長洲町清源寺393-1	TEL 0968-78-6571 FAX 0968-78-6580
自宅	862-0950 熊本市中央区水前寺3丁目8-10	TEL FAX
事務所	862-0950 熊本市中央区水前寺3丁目3-25 増永水前寺ビル305	TEL 096-385-3388 FAX 096-387-2003
自宅	861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14	TEL 096-360-1930 FAX 096-360-1930
事務所	861-2103 熊本市東区若葉5丁目8-14	TEL 096-288-9235 FAX 096-288-9235
自宅	862-0971 熊本市中央区大江3丁目8-33 ダイアパレスグランデージ大江403号	TEL 096-245-6672 FAX 096-245-6672
事務所	862-0971 熊本市中央区大江3丁目8-33 ダイアパレスグランデージ大江403号	TEL 096-245-6672 FAX 096-245-6672
自宅		TEL FAX
事務所	862-0965 熊本市南区田井島2-9-8	TEL 070-9020-0358 FAX
自宅		TEL FAX
事務所	862-0972 熊本市中央区新大江2丁目12-6	TEL 080-5827-5735 FAX
自宅	862-0952 熊本市東区京塚本町3番1号	TEL FAX
事務所	862-0952 熊本市東区京塚本町3-1-1F	TEL 096-273-8415 FAX 096-273-8416
自宅		TEL FAX
事務所	861-8010 熊本市東区上南部1-2-40 1F	TEL 096-221-6182 FAX 096-221-6182
自宅	861-5517 熊本市北区鶴羽田2丁目8-41	TEL 096-344-1816 FAX 096-344-1816
事務所		TEL FAX
自宅		TEL FAX
事務所	862-0941 熊本市中央区出水7丁目56-25	TEL 096-370-5571 FAX 096-370-5675
自宅	862-0907 熊本市東区水源1丁目15-13	TEL FAX
事務所	862-0907 熊本市東区水源1丁目15-13	TEL 096-368-7860 FAX 096-360-1248
自宅	862-0920 熊本市東区月出6-5-15	TEL 096-234-7749 FAX 096-300-3196
事務所		TEL FAX
自宅		TEL FAX
事務所	860-0085 熊本市北区高平3丁目13-35 1F	TEL 096-343-6363 FAX 096-343-6662
自宅		TEL FAX
事務所	861-4133 熊本市南区島町4丁目4-30	TEL 096-357-2110 FAX 096-357-2113
自宅		TEL FAX
事務所	862-0962 熊本市南区田迎2丁目17-7 KTアベニュー101	TEL 096-288-6004 FAX 096-288-6009
自宅		TEL FAX
事務所	860-0053 熊本市西区田崎3丁目1-4	TEL 096-288-1165 FAX 096-359-7500
自宅		TEL FAX
事務所	861-5263 熊本市南区並建町612-5	TEL 080-9532-7383 FAX

委員会及び役職名	選挙区	氏名	会派	生年月日	職業
経済環境 海の再生	熊本市 第二	前田憲秀	公明	昭和39年 (1964年) 8月16日	議員
教育警察 海の再生	八代市・ 八代郡	亀田英雄	無	昭和35年 (1960年) 12月18日	会社員
建設、議会運営 海の再生	八代市・ 八代郡	坂田孝志	自民	昭和32年 (1957年) 9月11日	団体役員
厚生、◎議会運営 地域活力	八代市・ 八代郡	高野洋介	自民	昭和52年 (1977年) 8月26日	議員
総務 地域活力	八代市・ 八代郡	幸村香代子	立民連	昭和37年 (1962年) 1月1日	議員
総務、議会運営 地域活力	人吉市	溝口幸治	自民	昭和45年 (1970年) 8月12日	議員
厚生の再生	荒尾市	岩中伸司	新社会	昭和23年 (1948年) 12月24日	政党役員
農林水産 地域活力	荒尾市	前田敬介	自民	昭和56年 (1981年) 5月28日	議員
経済環境、議会運営 海の再生	水俣市	吉永和世	自民	昭和41年 (1966年) 5月16日	会社役員
教育警察 海の再生	玉名市	城戸淳	自民	昭和37年 (1962年) 2月24日	会社役員
◎厚生の 地域活力	玉名市	坂梨剛昭	自民	昭和48年 (1973年) 10月6日	議員
経済環境、議会運営 高速交通	天草市・ 天草郡	池田和貴	自民	昭和38年 (1963年) 4月29日	議員
◎厚生の 地域活力	天草市・ 天草郡	楠本千秋	自民	昭和24年 (1949年) 10月13日	農業
◎教育警察 海の再生	天草市・ 天草郡	西村尚武	自民	昭和30年 (1955年) 2月11日	会社役員
総務 地域活力	山鹿市	立山大二郎	無	昭和53年 (1978年) 12月26日	会社役員
農林水産、議会運営 高速交通	菊池市	前川收	自民	昭和35年 (1960年) 7月9日	会社役員
◎海の再生	宇土市	西山宗孝	自民	昭和27年 (1952年) 12月8日	団体役員
農林水産、議会運営 海の再生	上天草市	山口裕	自民	昭和46年 (1971年) 5月20日	議員
◎教育警察 海の再生	宇城市・ 下益城郡	末松直洋	自民	昭和37年 (1962年) 9月14日	農業

	住 所	電 話 番 号
自宅	861-4106 熊本市南区南高江6丁目19-50	TEL 096-358-0939 FAX 096-358-0939
事務所	861-4106 熊本市南区南高江6丁目19-50	TEL 096-358-0939 FAX 096-358-0939
自宅	869-6104 八代市坂本町鮎帰ほ1512	TEL 0965-45-3551 FAX 0965-45-3551
事務所	869-6104 八代市大手町2丁目33-1	TEL 0965-45-5520 FAX 0965-45-5530
自宅	869-4701 八代市千丁町太牟田1300-3	TEL FAX
事務所	869-4701 八代市千丁町太牟田1300-3	TEL 0965-46-2200 FAX 0965-46-1707
自宅	869-4202 八代市鏡町内田1501-1	TEL 0965-52-7649 FAX
事務所	869-4201 八代市鏡町鏡村20-5	TEL 0965-52-5580 FAX 0965-52-5580
自宅		TEL FAX
事務所	866-0852 八代市大手町1-59-2 八代教育会館1F	TEL 0965-37-8258 FAX 0965-37-8268
自宅	868-0023 人吉市北泉田町259-3	TEL 0966-26-3077 FAX 0966-26-3077
事務所	868-0004 人吉市九日町83番地 2階	TEL 0966-22-5800 FAX 0966-22-5802
自宅	864-0031 荒尾市川登1981-106	TEL 0968-68-3361 FAX 0968-68-3361
事務所	864-0041 荒尾市荒尾1947-3	TEL 0968-64-2208 FAX 0968-64-2208
自宅		TEL FAX
事務所	864-0032 荒尾市増永2900-18-1 前田敬介事務所	TEL 0968-62-5221 FAX 0968-62-5221
自宅		TEL FAX
事務所	867-0035 水俣市月浦54-136	TEL 0966-62-4700 FAX 0966-62-4707
自宅	865-0016 玉名市岩崎841番地	TEL 0968-74-3188 FAX
事務所	865-0064 玉名市中1675-1 文仙館ビル1F	TEL 0968-82-8051 FAX 0968-82-8071
自宅		TEL FAX
事務所	865-0064 玉名市中1935-1 山田新建材ビル	TEL 0968-73-2020 FAX 0968-73-2036
自宅	863-2201 天草市五和町御領6456	TEL 0969-32-0351 FAX 0969-32-0424
事務所	863-0031 天草市南新町7-15 パサージュみなみ6F	TEL 0969-23-5261 FAX 0969-23-5278
自宅	863-0046 天草市亀場町食場217	TEL 0969-23-3017 FAX 0969-23-3017
事務所	863-0043 天草市亀場町亀川63-15	TEL 0969-23-2633 FAX 0969-23-2634
自宅	863-1902 天草市久玉町1411番地の109	TEL 0969-72-5040 FAX 0969-72-6485
事務所	863-0043 天草市亀場町亀川1696-1 原田ハイツ103	TEL 0969-24-8850 FAX 0969-24-8322
自宅	861-0501 山鹿市山鹿376-1	TEL FAX
事務所	861-0532 山鹿市鹿校通1-2-6 三和ビル2階	TEL 0968-41-9015 FAX 0968-41-9016
自宅		TEL FAX
事務所	861-1307 菊池市片角325-1	TEL 0968-24-2171 FAX 0968-24-2855
自宅	869-0406 宇土市三拾町259-1	TEL FAX
事務所	869-0431 宇土市本町2丁目37-1	TEL 0964-22-0080 FAX 0964-27-6553
自宅	869-3603 上天草市大矢野町中8209-2	TEL FAX
事務所	869-3601 上天草市大矢野町登立8788	TEL 0964-56-3759 FAX 0964-56-4877
自宅		TEL FAX
事務所	869-0502 宇城市松橋町松橋1482-1 メゾンドヒルB101	TEL 0964-27-4313 FAX 0964-27-4323

委員会及び役職名	選挙区	氏名	会派	生年月日	職業
◎ 経済環境 海の再生	宇城市・ 下益城郡	吉田孝平	自民	昭和52年 (1977年) 7月2日	会社役員
◎ 総務 地域活力	阿蘇市	岩本浩治	自民	昭和28年 (1953年) 8月14日	団体役員
○ 経済環境 地域活力	合志市	池永幸生	自民	昭和25年 (1950年) 5月14日	会社役員
総務 高速交通	合志市	高木健次	自民	昭和24年 (1949年) 5月13日	議員
教育警察 高速交通	菊池郡	斎藤陽子	自民	昭和51年 (1976年) 4月25日	議員
○ 農林水産 ○ 高速交通	菊池郡	中村亮彦	自民	昭和43年 (1968年) 1月22日	会社役員
建設 ◎ 高速交通	阿蘇郡	河津修司	自民	昭和27年 (1952年) 7月5日	農林業
経済環境 地域活力	上益城郡	住永栄一郎	無	昭和44年 (1969年) 12月7日	会社役員
建設、○議会運営 高速交通	上益城郡	増永慎一郎	自民	昭和38年 (1963年) 4月11日	議員
○ 建設 海の再生	葦北郡	荒川知章	自民	昭和48年 (1973年) 4月18日	議員
総務 ◎ 海の再生	球磨郡	緒方勇二	自民	昭和35年 (1960年) 8月28日	議員
教育警察、議会運営 地域活力	球磨郡	松田三郎	自民	昭和39年 (1964年) 9月11日	議員

定数 49名
◎委員長
○副委員長

現員 49名
自民 …自由民主党熊本県議会議員団(36名)
立民連…立憲民主連合(4名)
公明 …公明党県議団(3名)
新社会…新社会党(1名)
参政 …参政党(1名)
維新 …熊本維新の会(1名)
無 …無所属(3名)

高速交通 : 高速交通ネットワーク整備推進特別委員会
海の再生 : 海の再生及び環境対策特別委員会
地域活力 : 地域活力創生特別委員会

	住 所	電 話 番 号
自宅		TEL FAX
事務所	869-0532 宇城市松橋町久具358-24	TEL 0964-25-4021 FAX 0964-25-4022
自宅		TEL FAX
事務所	869-2231 阿蘇市永草1580-11	TEL 0967-35-0027 FAX 0967-35-0037
自宅	861-1102 合志市須屋2081-20	TEL 096-227-8660 FAX 096-227-8400
事務所	861-1102 合志市須屋2081-20	TEL 096-227-8660 FAX 096-227-8400
自宅	861-1113 合志市栄3229	TEL 096-248-1171 FAX
事務所	861-1113 合志市栄3240-1	TEL 096-215-5877 FAX 096-215-5878
自宅		TEL FAX
事務所	869-1233 菊池郡大津町大津1095	TEL 096-200-7291 FAX 096-200-7291
自宅		TEL FAX
事務所	869-1101 菊池郡菊陽町津久礼2421-2	TEL 096-232-7914 FAX 096-232-7918
自宅	869-2403 阿蘇郡南小国町中原4219	TEL 0967-42-0762 FAX 0967-42-0762
事務所		TEL FAX
自宅		TEL FAX
事務所	861-2236 上益城郡益城町広崎1946-1	TEL 096-287-8007 FAX 096-287-8009
自宅	861-3202 上益城郡御船町大字小坂2753	TEL 096-282-2121 FAX 096-282-2121
事務所	861-3207 上益城郡御船町大字御船1046-1	TEL 096-282-4330 FAX 096-282-4332
自宅		TEL FAX
事務所	869-5442 葦北郡芦北町大字花岡1661-1	TEL 0966-82-3217 FAX 0966-82-3218
自宅		TEL FAX
事務所	868-0424 球磨郡あさぎり町上西89-5	TEL 0966-45-0311 FAX 0966-45-0312
自宅		TEL FAX
事務所	868-0303 球磨郡錦町大字西3287-56	TEL 0966-38-1654 FAX 0966-38-1657

Ⅲ 議会の運営

1 本会議

(1) 定例会・臨時会

定例会は年4回で、おおむね2月（3月）、6月、9月、12月（11月）に招集され、招集日の属する年月をもって、「(元号)〇年〇月定例会」と呼称される。

また、臨時会は、改選直後及び必要がある場合に招集される。

(2) 会 期

2月（3月）定例会は28日間程度、6月及び12月（11月）定例会は21日間程度、9月定例会は25日間程度、また、臨時会にあつては、必要な期間（1～4日間程度）となっており、招集日に議会の議決で決める。

(3) 開議時刻

午前10時に開かれるが、必要があるときは、議長は、開議時刻を変更することができる。

(4) 議事の順序

○開 会 日……開会→議長諸般の報告→（就任挨拶）→（表彰）→会議録署名議員の指名→会期決定→議案上程→知事説明→休会の議決→散会

○代表質問……開議→代表質問（2日、3人）→散会

○一般質問……開議→一般質問（3～4日、9～12人）→散会

（一般質問最終日……開議→一般質問→議案等に対する質疑→議案・請願の委員会付託（→知事提出追号議案（人事案件）の上程）→休会の議決→散会）

○特別委員会…1日

○常任委員会…3日（2月（3月）で先議がある場合は5日）

○閉 会 日……開議→（特別委員長報告、質疑、討論、議決）→常任委員長報告、質疑、討論、議決→閉会中の継続審査の件→（知事提出追号議案（人事案件）の質疑、討論、議決）→議員提出議案（条例、意見書、決議等）の上程、質疑、討論、議決→委員会提出議案の上程、質疑、討論、議決→閉会→（2月（3月）、12月（11月）は議長の閉会挨拶あり）

(5) 質問・質疑・討論

(ア) 代表質問

- ① 交渉団体（3人以上の会派）に限るものとし、2月（3月）定例会及び9月定例会（知事改選の年は6月定例会のみ）において、会派の代表1人が行う。
- ② 質問時間（答弁を含む）は、1人100分以内。

(イ) 一般質問

- ① 質問回数については、1議員につき、任期期間中6回以内とする。
- ② 質問時間（答弁を含む）は、1人60分以内。

(ウ) 質疑・討論

- ① 質疑（答弁を含む）は、1人10分以内。
- ② 討論は、1人10分以内で行い、反対者、賛成者を交互に行う。
なお、反対討論がないとき、賛成のみの討論はできない。

(付) 〔県議会会期日程等調〕

年	月	定例・臨時の別	期 間	会 期	本		
					開 会	代 表 質 問	一 般 質 問
平30	2	定	2/21~3/16	2 4	1	2 (3)	3 (8)
〃	6	定	6/8~6/28	2 1	1		4 (12)
〃	9	定	9/14~10/10	2 7	1	2 (3)	3 (9)
〃	1 1	定	11/30~12/19	2 0	1		4 (11)
平31	2	定	2/21~3/15	2 3	1	2 (3)	3 (7)
令元	5	臨	5/9~5/10	2	1		
〃	6	定	6/7~6/24	1 8	1		3 (9)
〃	9	定	9/4~9/30	2 7	1	2 (3)	4 (13)
〃	1 1	定	11/25~12/13	1 9	1		3 (6)
令2	2	定	2/4~2/26	2 3	1		4 (11)
〃	4	臨	4/21	1	1		
〃	6	定	6/8~6/23	1 6	1		2 (4)
〃	8	臨	8/4	1	1		
〃	9	定	9/11~10/8	2 8	1	2 (3)	4 (12)
〃	1 1	定	11/25~12/15	2 1	1		4 (12)
令3	2	定	2/18~3/19	3 0	1	2 (3)	4 (13)
〃	5	臨	5/14	1	1		
〃	6	定	6/14~7/5	2 2	1		4 (10)
〃	9	定	9/10~10/6	2 7	1	2 (3)	3 (8)
〃	1 1	定	11/30~12/21	2 2	1		4 (11)
令4	2	定	2/18~3/16	2 7	1	2 (3)	3 (9)
〃	6	定	6/3~6/21	1 9	1		4 (10)
〃	9	定	9/9~10/5	2 7	1	2 (3)	3 (11)
〃	1 2	定	12/2~12/22	2 1	1		4 (13)
令5	2	定	2/17~3/17	2 9	1	2 (3)	2 (6)
〃	5	臨	5/10~5/11	2	1		
〃	6	定	6/6~6/26	2 1	1		4 (10)

() 内数は質問者数

(平成30年～令和5年)

議決・閉会	議計	休					会		計
		議案調査	常任委員会	特別委員会	議事整理	その他	県の休日		
2	8	3	5	1	1		6	16	
1	6	4	3	1	1		6	15	
1	7	3	3	1	2		11	20	
1	6	3	3	1	1		6	14	
2	7	3	5	1	1		6	16	
1	2								
1	5	2	3	1	1		6	13	
1	8	3	3	1	2		10	19	
1	5	4	3	1	2		4	14	
1	6	4	3	1	1		8	17	
	1								
1	4	3	3	1	1		4	12	
	1								
1	8	5	3	1	1		10	20	
2	7	3	3	1	1		6	14	
2	9	5	5	1	1		9	21	
	1								
1	6	5	3	1	1		6	16	
1	7	4	3	1	2		10	20	
1	6	5	3	1	1		6	16	
2	8	2	5	1	2		9	19	
1	6	2	3	1	1		6	13	
1	7	5	3	1	1		10	20	
1	6	4	3	1	1		6	15	
2	7	5	5	1	2		9	22	
1	2								
1	6	4	3	1	1		6	15	

2 議会運営委員会

(1) 委員会の設置

委員会条例第3条の2の規定に基づき設置される。

(2) 委員定数・会派別委員数及び所管事項

定数は12人（自民10、立民連1、公明1）をもって構成し、次に掲げる事項に関して協議する。

- ① 議会の運営に関する事項
- ② 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- ③ 議長の諮問に関する事項

なお、委員会には、委員長、副委員長のほか、理事6人（自民4、立民連1、公明1）で構成する理事会が置かれる。

(3) 委員の任期・選任方法・委員名

(ア) 委員の任期……選任の日から翌年の最初に招集される定例会の閉会の日の前日までとする。ただし、後任者が選任されるまでは引き続き在任する。

補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会条例第3条の2第3項において準用する同条例第3条)

(イ) 選任の方法……議長が会議に諮って指名する。ただし、閉会中においては、議長が指名することができる。(委員会条例第5条第1項)

(ウ) 正副委員長の選任方法……委員会において互選する。(委員会条例第6条第2項)

(エ) 委員名

(令和5年5月11日現在)

委員長	(自 民) 高 野 洋 介	副委員長	(自 民) 増 永 慎一郎
委 員	○ (自 民) 前 川 收		(自 民) 池 田 和 貴
	○ (自 民) 藤 川 隆 夫		(自 民) 溝 口 幸 治
	○ (公 明) 城 下 広 作		(自 民) 坂 田 孝 志
	○ (自 民) 松 田 三 郎		○ (立民連) 西 聖 一
	○ (自 民) 吉 永 和 世		(自 民) 山 口 裕

○印は理事

3 常任委員会

(1) 常任委員会の設置

委員会条例第1条の規定に基づいて設置され、同条例第2条の規定により、6つの常任委員会が設置されている。

開会中の常任委員会は、3常任委員会ずつ分割して、おおむね3日程度の日程で付託事件を審査し、本会議において、委員会審査報告書、請願委員会審査報告一覧表により報告を行うとともに、委員長が審査の経過並びに結果について報告することとしている。

なお、閉会中は、継続審査事件について、必要に応じ委員会を開催している。

(2) 委員会名・委員定数・会派別委員数及び所管事項

(令和5年6月6日現在)

委員会名	委員定数	会派別委員数	所管事項
総務	9	自民 6 立民連 1 無所属 1 (欠員 1)	1 知事公室に関する事項 2 総務部に関する事項 3 企画振興部に関する事項 4 出納局に関する事項 5 選挙管理委員会に関する事項 6 人事委員会に関する事項 7 監査委員に関する事項 8 他の常任委員会に属しない事項
厚生	8	自民 6 立民連 1 新社会 1	1 健康福祉部に関する事項 2 病院局に関する事項
経済環境	8	自民 5 立民連 1 公明 1 無所属 1	1 環境生活部に関する事項 2 商工労働部に関する事項 3 観光戦略部に関する事項 4 企業局に関する事項 5 労働委員会に関する事項
農林水産	8	自民 6 立民連 1 参政 1	1 農林水産部に関する事項 2 海区漁業調整委員会に関する事項 3 内水面漁場管理委員会に関する事項
建設	8	自民 6 公明 1 維新 1	1 土木部に関する事項 2 収用委員会に関する事項
教育警察	8	自民 6 公明 1 無所属 1	1 教育委員会に関する事項 2 公安委員会に関する事項

(3) 委員の任期・選任方法

(ア) 委員の任期……選任の日から翌年の最初に招集される定例会の閉会の日の前日までとする。ただし、後任者が選任されるまでは引き続き在任する。

補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会条例第3条)

(イ) 選任の方法……議長が会議に諮って指名する。ただし、閉会中においては、議長が指名することができる。(委員会条例第5条第1項)

(ウ) 正副委員長を選任方法……委員会において互選する。(委員会条例第6条第2項)

4 特別委員会

(1) 特別委員会の設置

議会の議決により付託された事件を審査するため、必要がある場合において議会の議決により設置される。(委員会条例第4条)

審議は、開会中、1日の日程で付託事件を審査するほか、閉会中は、継続審査事件について、必要に応じて委員会を開催している。なお、本会議における報告等は常任委員会に準じているが、委員長報告は、原則として年1回、2月(3月)定例会で行っている。

また、前年度決算を審査するため毎年9月定例会において決算特別委員会を設置することを例としている。

(2) 現在設置の委員会名・委員定数・会派別委員数及び付託事件

(令和5年6月6日現在)

特別委員会名	委員定数	会派別委員数	付議事件
高速交通ネットワーク整備推進	16	自民 13	1 高速交通体系に関する件
		立民連 1	2 熊本都市圏交通に関する件
		公明 1	
		維新 1	

海の再生及び環境対策	16	自民 1 立民連 1 公明 1 新社会 1 参政 1 無所属 1	1 有明海・八代海の環境の保全、改善及び水産資源の回復等による漁業の振興に関する件 2 2050年県内CO ₂ 排出実質ゼロに向けた取組に関する件 3 再生可能エネルギー導入促進に関する件
地域活力創生	16	自民 1 立民連 2 公明 1 無所属 2	1 デジタル田園都市国家構想に関する件 2 TSMC進出に係る県内波及効果に関する件

(3) 委員及び正副委員長の選任方法

委員及び正副委員長の選任方法は、常任委員会と同様。

(委員会条例第5条第1項及び第6条第2項)

(4) 特別委員会の経緯

昭和45年以降の交通通信、環境、地域開発関係のほか、現在設置されている委員会に関連したもの等を掲載。

○交通通信関係

期 間	委員会名	付 議 事 件
昭45. 6 ～46. 3	交通通信 対策特別 委員会	1 国鉄新幹線並びに同地方新幹線建設促進に関する件 2 新熊本空港整備強化に関する件 3 一般交通対策に関する件 4 情報通信網の整備拡充に関する件
昭46. 5 ～50. 3		1 国鉄新幹線並びに同地方新幹線建設促進に関する件 2 国際空港誘致に関する件 3 交通対策に関する件 4 情報通信網の整備拡充に関する件
昭50. 6 ～54. 3	熊本港・ 交通通信 対策特別 委員会	1 熊本港建設に関する件 2 国鉄新幹線並びに同地方新幹線建設促進に関する件 3 国際空港誘致に関する件 4 交通対策に関する件 5 情報通信網の整備拡充に関する件
昭54. 6 ～58. 3	交通通信 対策特別 委員会	1 熊本港建設に関する件 2 国鉄新幹線建設に関する件 3 国鉄地方新幹線建設並びに同地方線対策に関する件 4 国際空港に関する件 5 国内航空路の拡充に関する件 6 交通安全対策に関する件 7 情報通信網の整備拡充に関する件

昭58. 5 ～62. 3		<ol style="list-style-type: none"> 1 熊本港建設に関する件 2 国鉄新幹線建設並びに同地方線対策に関する件 3 熊本空港に関する件 4 電信電話事業に関する件
昭62. 6 ～平 3. 3		<ol style="list-style-type: none"> 1 熊本港建設に関する件 2 九州新幹線建設並びにJR九州地方線対策に関する件 3 熊本空港（並びに天草空港：平元. 12追加）に関する件 4 高規格幹線道路に関する件 5 電気通信に関する件
平 3. 6 ～ 7. 3		<ol style="list-style-type: none"> 1 九州新幹線建設に関する件 2 空港に関する件 3 高規格幹線道路及び重要幹線道路に関する件 4 熊本港建設に関する件 5 通信に関する件
平 7. 6 ～11. 3		<p>同 上</p> <p>ただし、3は、高規格幹線・地域高規格道路及び重要幹線道路に関する件（平8. 3変更）</p>
平11. 5 ～15. 3	交通対策特別委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 九州新幹線建設に関する件 2 空港に関する件 3 高規格幹線道路及び地域高規格道路に関する件 4 熊本都市圏交通に関する件（平13. 3追加）
平16. 3 ～18. 3		<ol style="list-style-type: none"> 1 九州新幹線に関する件 2 肥薩おれんじ鉄道に関する件 3 高速交通に関する件（平17. 3追加） 4 空港に関する件（平成17. 3追加）
平18. 3 ～19. 3	新幹線対策特別委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 九州新幹線に関する件
平19. 6 ～20. 2		同 上
平20. 4 ～23. 3	新幹線及び高速交通対策特別委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 九州新幹線に関する件 2 高速交通体系に関する件 3 熊本都市圏交通に関する件（平22. 3追加）
平23. 6 ～25. 3	高速交通及び新幹線活用対策特別委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 高速交通体系に関する件 2 熊本都市圏交通に関する件 3 九州新幹線鹿児島ルートを活用した地域振興に関する件
平25. 6 ～27. 3		<ol style="list-style-type: none"> 1 高速交通体系に関する件 2 熊本都市圏交通に関する件 3 九州新幹線を活用した地域振興に関する件
平27. 6 ～31. 3	高速交通ネットワーク整備推進特別委員会	<ol style="list-style-type: none"> 1 高速交通体系に関する件 2 熊本都市圏交通に関する件
令元. 6～ ～ 5. 3		同 上

令 5. 6～	同 上
---------	-----

○環境関係

期 間	委員会名	付 議 事 件
昭45. 6 ～46. 3	公 害 対 策 特 別 委 員 会	1 大気及び水の汚染並びに騒音その他公害の防止対策に関する件 2 交通災害対策に関する件
昭46. 5 ～50. 3		1 大気・土壌及び水の汚染並びに騒音その他公害の防止対策に関する件
昭50. 6 ～54. 3		同 上 2 水俣病対策に関する件(昭53. 3追加)
昭54. 6 ～58. 3		1 水俣病対策に関する件 2 大気・土壌及び水の汚染並びに騒音その他公害の防止対策に関する件
昭58. 5 ～62. 3		同 上
昭62. 6 ～平3. 3	環 境 対 策 特 別 委 員 会	1 水俣病対策に関する件 2 大気・土壌及び水の汚染並びに騒音等環境整備に関する件 3 阿蘇火山活動による降灰被害対策に関する件(平元. 12追加)
平 3. 6 ～ 7. 3		1 大気・土壌及び水の汚染、騒音、水の確保等環境対策に関する件 2 廃棄物対策に関する件 3 水俣病対策に関する件
平 7. 6 ～11. 3		同 上
平11. 5 ～15. 3		1 地球温暖化対策及びダイオキシン類・環境ホルモン対策に関する件 2 廃棄物対策に関する件 3 水俣病対策に関する件 4 有明海・八代海の環境保全対策に関する件(平13. 6追加)
平15. 6 ～16. 2	産 業 廃 棄 物 対 策 特 別 委 員 会	1 産業廃棄物処理施設の公共関与及び候補地の地域振興策に関する件 2 不法投棄等不適正処理対策に関する件
	有 明 海 ・ 八 代 海 再 生 特 別 委 員 会	1 有明海及び八代海の環境の保全・改善及び公共事業に関する件 2 有明海及び八代海における水産資源の回復等による漁業の振興に関する件
平16. 3 ～17. 3	廃 棄 物 対 策 特 別 委 員 会	1 廃棄物対策に関する件 2 地球温暖化対策及びダイオキシン類・環境ホルモン対策に関する件

	有明海・八代海再生特別委員会	1 有明海及び八代海の環境の保全・改善に関する件 2 有明海及び八代海における水産資源の回復等による漁業の振興に関する件
平17. 3 ～18. 3	廃棄物対策特別委員会	1 廃棄物対策に関する件 2 廃棄物に関連する地球温暖化対策及びダイオキシン類・環境ホルモン対策に関する件
	有明海・八代海再生特別委員会	1 有明海及び八代海の環境の保全・改善に関する件 2 有明海及び八代海における水産資源の回復等による漁業の振興に関する件
平18. 3 ～19. 3	廃棄物対策特別委員会	1 産業廃棄物処理施設の公共関与推進及び建設地の地域振興に関する件
	有明海・八代海再生特別委員会	1 有明海及び八代海の環境の保全・改善に関する件 2 有明海及び八代海における水産資源の回復等による漁業の振興に関する件
平19. 6 ～23. 3	環境対策特別委員会	1 産業廃棄物処理施設の公共関与推進に関する件 2 有明海・八代海の環境の保全、改善及び水産資源の回復等による漁業の振興に関する件 3 地球温暖化対策に関する件(平20. 4追加)
平23. 6 ～27. 3		同 上
平27. 6～ ～31. 3	有明海・八代海再生及び地球温暖化対策特別委員会	1 有明海・八代海の環境の保全、改善及び水産資源の回復等による漁業の振興に関する件 2 地球温暖化対策に関する件
令元. 6 ～ 3. 3	有明海・八代海再生特別委員会	1 有明海・八代海の環境の保全、改善及び水産資源の回復等による漁業の振興に関する件
令 3. 3 ～ 5. 3	有明海・八代海再生及びゼロカーボン社会推進特別委員会	1 有明海・八代海の環境の保全、改善及び水産資源の回復等による漁業の振興に関する件 2 2050年県内CO ₂ 排出実質ゼロに向けた取組に関する件
令 5. 6～	海の再生及び環境対策特別委員会	1 有明海・八代海の環境の保全、改善及び水産資源の回復等による漁業の振興に関する件 2 2050年県内CO ₂ 排出実質ゼロに向けた取組に関する件 3 再生可能エネルギー導入促進に関する件

期 間	委員会名	付 議 事 件
平17. 2 ～19. 3	水俣病対策特別委員会	1 水俣病関西訴訟最高裁判決を受けて国に提出した県の「今後の水俣病対策について」及びそれに関連する事項に関する件
平19. 5 ～23. 3		1 水俣病被害者の救済に関する件

○地域開発関係

期 間	委員会名	付 議 事 件
昭45. 6 ～46. 3	総 合 開 発 特 別 委 員 会	1 工業開発に関する件 2 水資源開発に関する件 3 過疎対策に関する件
昭46. 5 ～50. 3		同 上
昭50. 6 ～54. 3		1 水資源開発に関する件 2 過疎対策に関する件 3 モデル中核都市に関する件（昭51.3完了） 4 エネルギー開発に関する件（昭53.3追加）
昭54. 6 ～58. 3		1 エネルギー開発に関する件 2 水資源開発に関する件 3 観光開発に関する件 4 過疎対策に関する件
昭58. 5 ～62. 3	地 域 開 発 特 別 委 員 会	1 エネルギー開発に関する件 2 水資源開発に関する件 3 テクノポリスに関する件
昭62. 6 ～平 3. 3		1 エネルギー開発に関する件 2 水資源開発に関する件 3 テクノポリスに関する件 4 特定不況地域対策に関する件 5 過疎対策に関する件（昭63.6追加）
平 3. 6 ～ 7. 3		1 リゾート開発に関する件 2 地域産業の開発に関する件 3 過疎対策に関する件 4 特定不況地域対策に関する件
平 7. 6 ～11.3		同 上
平11. 5 ～15. 3	地 域 対 策 特 別 委 員 会	1 市町村合併及び広域行政推進に関する件 2 地域振興に関する件 3 情報化の推進に関する件（平13.3追加）
令元. 6 ～ 3. 3	地 域 対 策 特 別 委 員 会	1 地方創生に資する産業人材確保に関する件 2 行政サービスの維持向上に関する件
令 3. 3 ～ 5. 3		1 新たな地方創生への取組に関する件 2 行政サービスの維持向上に関する件
令 5. 6～	地域活力創生 特 別 委 員 会	1 デジタル田園都市国家構想に関する件 2 TSMC進出に係る県内波及効果に関する件

期 間	委員会名	付 議 事 件
平 9. 2 ～11. 2	三井三池炭 鉱閉山対策 特別委員会	1 三井三池炭鉱の閉山対策に関する件

期 間	委員会名	付 議 事 件
平18. 3 ～19. 3	川辺川問題 特別委員会	1 川辺川の利水に関する件 2 川辺川の治水に関する件

期 間	委員会名	付 議 事 件
平23. 6 ～24. 2	震 災 及 び 防 災 対 策 特別委員会	1 東日本大震災による県内経済等への影響に関する件 2 熊本県地域防災計画に関する件 3 東日本大震災による被災地域の復興支援に関する件
平24. 3 ～25. 3		1 熊本県地域防災計画に関する件 2 東日本大震災後の被災地復興支援等対策に関する件

○その他

期 間	委員会名	付 議 事 件
平25. 6 ～27. 3	T P P 対 策 特別委員会	1 T P P 交渉に関する件
平27. 5 ～28. 12	T P P 対 策 特別委員会	同 上

期 間	委員会名	付 議 事 件
平 5. 3～ 7	国 民 体 育 大 会 対 策 特別委員会	1 第54回国民体育大会の開催準備に関する件
平 7～ 9		1 第54回国民体育大会の開催準備に関する件 2 1997年男子世界ハンドボール選手権大会の開催準備に関する件 (平8. 3追加)
平 9～11		1 第 54 回国民体育大会の開催準備に関する件
平11		1 第54回国民体育大会の開催準備に関する件 2 第35回全国身体障害者スポーツ大会の開催準備に関する件
平27. 6 ～31. 3	国 際 ス ポ ー ツ 大 会 推 進 特別委員会	1 2019女子ハンドボール世界選手権熊本開催に関する件 2 ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件 3 2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件 4 国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件 (平30. 3追加)
令元. 6 ～ 2. 2		1 2019女子ハンドボール世界選手権大会熊本開催に関する件 2 ラグビーワールドカップ2019熊本開催に関する件 3 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する件 4 国際スポーツ大会の成功に向けた取り組みに関する件

期 間	委員会名	付 議 事 件
平10. 3 ～11. 2	地 方 分 権 推 進 対 策 特別委員会	1 地方分権推進の動向について 2 第二次行政改革の推進について 3 市町村合併及び広域行政の推進について

平15. 6 ～16. 3	財 政 対 策 特 別 委 員 会	1 国の「三位一体の改革」への対応に関する件 2 独自の財源に関する件 3 景気浮揚等に向けた歳出の重点化及び効率化に関する件
平16. 5 ～18. 3		1 行財政改革に関する件
平19. 6 ～22. 3	道 州 制 問 題 等 調 査 特 別 委 員 会	1 道州制に関する件 2 地方分権改革推進に関する件 3 過疎対策に関する件（平20. 4追加）
平22. 3 ～23. 3		1 道州制に関する件 2 地方分権改革に関する件 3 政令指定都市に関する件
平23. 6 ～27. 3		1 地方分権改革に関する件 2 道州制に関する件 3 政令指定都市に関する件（平24. 2完了） 基礎自治体に関する件（平26. 3追加）

期 間	委員会名	付 議 事 件
昭57. 6 ～57. 9	議員定数等 調 査 特 別 委 員 会	1 熊本県議会議員の選挙区及び各選挙区における定数に関する条例の一部を改正する条例の制定について 2 熊本県議会議員の定数を減少する条例の制定について
平15. 9 ～16. 3	市町村合併 に伴う選挙 区問題検討 特別委員会	1 上天草市設置に伴う県議会議員の選挙区及び定数に関する件
平17. 6 ～18. 3	県議会議員 の選挙区等 検 討 特 別 委 員 会	1 県議会議員の定数、選挙区及び各選挙区における定数に関する件

期 間	委員会名	付 議 事 件
平 2. 7 ～ 3. 3	災 害 対 策 特 別 委 員 会	1 平成2年6月28日から7月3日にかけての大雨に伴う災害対策に関する件

5 協議等の場

(1) 協議等の場の設置

会議規則第122条第1項の規定により、協議又は調整を行うための場を下表のとおり設ける。(法第100条第12項)

名 称	目 的	構 成 員	招集権者	近年開催日
全員協議会	議員活動又は議会運営に関し必要な協議又は調整を行う。	全議員	議長	R2. 2. 25 R2. 4. 10 R2. 5. 28 R2. 10. 7 R2. 11. 19
熊本県議会 災害等対策 協 議 会	災害及び感染症の発生に際し、応急復旧対策の協議、被災地の現地調査、関係機関への要望活動等に関し協議又は調整を行う。	議長、副議長、議会運営委員、常任委員長及び災害ごとに議長が指名する議員	熊本県議会 災害等対策協 議会会長	R2. 7. 10 R2. 8. 20
世話人会	一般選挙後議会運営委員会が組織されるまでの間、議会の運営等に関し協議又は調整を行う。	各会派(3人以上の議員が所属するものに限る。)から選出された議員及び世話人会が必要と認めた議員	議会事務局長	R5. 4. 19 R5. 5. 10
熊本県政治 倫理審査会	議員による政治倫理に反するおそれが生じた場合に審査を行う。	議長が指名する7人の議員	熊本県政治倫 理審査会委員 長(委員長及 び副委員長が ともにいない ときは議長)	

(2) 臨時的に設けられた協議等の場の設置状況

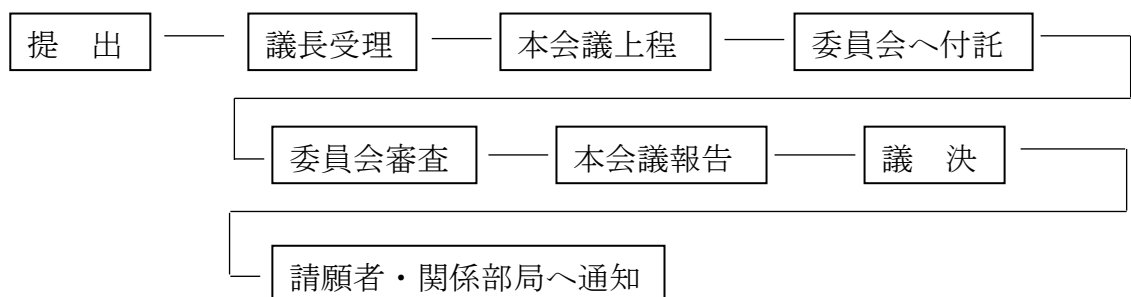
会議規則第122条第2項により、前項で定めるもののほか、緊急を要する場合は、議長が設けることができる。(法第100条第12項)

名 称	目 的	構 成 員	招集権者	設置期間
熊本県歯・口腔の健康づくり推進条例(仮称)策定検討委員会	歯・口腔の健康づくり推進に関して、議員提案条例の策定のため、協議を行う。	各会派から選出された7人の議員	委員長(委員長が選出されるまでは議長)	H22. 6. 21 ～10. 8
熊本市選挙区及び議員定数検討会	熊本市の政令指定都市への移行に伴い、熊本市に係る県議会議員の選挙区及び議員定数に関して、議員提案条例の策定のため、協議を	熊本市選挙区及び鹿本郡選挙区から選出された17人の議員	座長(座長が選出されるまでは議長)	H23. 10. 7 ～12. 16

	行う。			
熊本県家庭教育支援基本条例（仮称）策定検討委員会	家庭教育の重要性、親として学ぶことの重要性を啓発していくことに関して、議員提案条例の策定のため協議を行う。	各会派から選出された6人の議員	委員長（委員長が選出されるまでは議長）	H24. 6. 27 ～12. 20
熊本県政務活動費の交付に関する条例（仮称）検討委員会	地方自治法の改正に伴い、本県の政務活動費の交付に関して、条例案策定のため協議を行う。	各会派から選出された10人の議員	委員長（委員長が選出されるまでは議長）	H24. 10. 3 ～12. 20
県議会議員の選挙区等検討委員会	県議会議員の選挙区及び各選挙区における定数等に関して協議を行う。	各会派から選出された13人の議員	委員長（委員長が選出されるまでは議長）	H25. 10. 4 ～26. 2. 28
熊本県中小企業振興基本条例改正検討委員会	小規模企業者振興基本法が交付・施行されたこと等から、所要の条例改正のため協議を行う。	各会派から選出された6人の議員	委員長（委員長が選出されるまでは議長）	H26. 9. 11 ～12. 28
県議会議員の選挙区等検討委員会	県議会議員の選挙区及び各選挙区における定数等に関して協議を行う。	各会派等から選出された13人の議員	委員長（委員長が選出されるまでは議長）	H28. 12. 19 ～30. 2. 27

6 請願及び陳情

(1) 請願書（請願書の処理）



- ・ 請願書には、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所・氏名（法人その他の団体の場合は、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名）を記載して提出。
- ・ 請願には1名以上の県議会議員の紹介が必要であり、請願書には紹介議員の署名が必要。

- ・ 受理及び付託：開会中・閉会中を問わず受理しており、各定例会の請願受付締切(一般質問最終日の3日前の午後5時)までに提出された請願については、会期中、議長が所管の常任委員会または議会運営委員会に付託する。特別委員会に付託する必要があるものについては、議長が本会議に諮って所管の特別委員会に付託する。また、請願受付締切以降に提出されたものは、次期定例会で取り扱う。
- ・ 委員会審査後の処理：審査結果報告書により、採択、不採択、撤回許可及び継続審査に区分して、議会に報告し議決する。なお、議決結果については、請願者に文書で通知するとともに、関係部局に対してもそれぞれ通知する。
(議員の任期満了に伴う審議未了のものについても同様。)

(2) 陳情書・要望書等

陳情書は、関係委員会に参考送付する。

要望書等は、必要に応じて関係委員会に送付する。

(参考) 請願(陳情)書式例

	○○○○○○○に関する請願	(注1)
	紹介議員 ○ ○ ○ ○	(注2)
要旨	
されるよう請願します。	(注3)
理由	
		(注4)

年 月 日	(注5)
住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○	
請願者 氏名 ○ ○ ○ ○	(注6)
熊 本 県 議 会 議 長 ○ ○ ○ ○ 様	

(注1) 標題は、「○○○○に関する請願」、「○○○○について国への意見書提出を求める請願」など、請願の内容が具体的に分かるように記載してください。

(注2) 紹介議員の署名が必要です。

(注3) 請願する内容については、簡潔、具体的に記載してください。

(注4) 現状や請願に至った理由などを記載してください。

(注5) 提出日を記載してください。

(注6) 提出者が法人その他の団体の場合は、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地を記載してください。

※ 用紙はA4縦を用い、横書きにしてください。

※ 陳情の場合は、「請願」の部分で「陳情」とし、紹介議員は必要ありません。

(付) 請願及び陳情処理状況一覧表

(平成25年度～令和4年度)

区 分 \ 年 度	平 25	平 26	平 27	平 28	平 29	平 30	令 元	令 2	令 3	令 4
請 願 書										
受理件数	17	9	11	12	5	12	13	11	11	12
採 択	10	2	8	10	2	7	9	7	6	5
不採択	6	6	3	1	3	5	4	4	5	6
撤回許可	1	1								
継続審査	1			1	1					
審議未了		1				1				1
陳 情 書										
受理件数	7	10	12	3	4	7	12	7	14	11

7 議員・委員会提出議案

議員・委員会提出議案の年度別提出件数は、次のとおりである。

(平成20年度～令和4年度)

年度	条 例	規 則	意見書	決 議	その他	計
平20	7	2	24 (否 2)	2		35 (否 2)
平21	2		44	4		50 (否 0)
平22	2		47	1		50 (否 0)
平23	2		45 (否 6)	1		48 (否 6)
平24	4	1	35 (否 7)	1		41 (否 7)
平25	3	1	42 (否14)			46 (否14)
平26	3		35 (否11)	2		40 (否11)
平27			35 (否12)	1		36 (否12)
平28	1		17 (否 3)			18 (否 3)
平29	3		21 (否 1)	1		25 (否 1)
平30	3		15 (否 2)			18 (否 2)
令元	1		27 (否 5)			28 (否 5)
令2	3	2	23 (否 1)	2		30 (否 1)
令3	1		17	1		19 (否 0)
令4	2	1	13	1		17 (否 0)

(注) : (否)は、うち否決件数を示す。

: 地方自治法の改正を受けて、平成20年度から議員提出案と委員会提出案を分けて議決

8 議会の傍聴

(1) 本会議の傍聴

本会議を傍聴しようとする者は、傍聴券の交付を受けなければならない。

傍聴券は、議員紹介傍聴券及び一般傍聴券に区分される。

議員紹介傍聴券は、会議前日までに議員の紹介を受けた者で議長の許可を受けたものに、150人を限度として交付し、一般傍聴券は、会議当日に、先着順により交付する。

なお、傍聴時間に制限を求めることもある。

傍聴席は、一般席及び県政記者席に分けられ、一般席（車いす席を含む。）の傍聴人の定員は、209人である。

(2) 委員会の傍聴

一般の傍聴については、申出があれば、委員会条例の規定に基づき、その都度委員長が許可している。（委員会条例第18条）

IV 政務活動費

政務活動費は、「熊本県政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究、その他の活動に資するため必要な経費の一部として、議会の会派及び議員に交付される経費。四半期毎に、交付している。

1 政務活動費の額及び交付の方法

- (1) 交付額は議員1人あたり月額30万円とする。
- (2) 交付の方法は、会派又は議員ごとに、次のいずれかの方法による。
 - ・会派に交付する方法
 - ・議員に交付する方法
 - ・会派及び議員に交付する方法

2 使途基準

調査研究費、研修費、広報広聴費、要請陳情等活動費、会議費、資料作成費、資料購入費、事務所費、事務費、人件費（詳細は次頁のとおり）

3 収支報告

- ・会派の代表者及び議員は、政務活動費の収入額、支出額、残額等を記載した収支報告書を翌年度の4月30日までに議長に提出すること。
- ・収支報告書には、領収書等証拠書類の写しなどを添付すること。
- ・提出期限の翌日から起算して、60日を経過する日の翌日から、閲覧に供する。

熊本県政務活動費の交付に関する条例 別表

経 費	内 容
調査研究費	会派及び議員が行う県の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費
研修費	<ol style="list-style-type: none"> 1 会派及び議員が行う研修会、講演会等の実施に必要な経費 2 団体等が開催する研修会、講演会等への会派の所属議員及び会派が雇用する職員並びに議員及び議員が雇用する職員の参加に要する経費
広報広聴費	会派及び議員が行う議会活動及び県政に関する政策等の広報広聴活動に要する経費
要請陳情等活動費	会派及び議員が行う要請陳情活動、住民相談等の活動に要する経費
会議費	<ol style="list-style-type: none"> 1 会派及び議員が行う各種会議、住民相談等に要する経費 2 団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加及び議員の参加に要する経費
資料作成費	会派及び議員が行う活動に必要な資料を作成するために要する経費
資料購入費	会派及び議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入、利用等に要する経費
事務所費	会派及び議員が行う活動のために必要な事務所の設置及び管理に要する経費
事務費	会派及び議員が行う活動に係る事務遂行に必要な経費
人件費	会派及び議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費

V 議員の議員報酬及び費用弁償

1 議員報酬

議長	月額	970,000円
副議長	月額	870,000円
議員	月額	780,000円
上記月額のほか		
委員長	月額	10,000円
副委員長	月額	5,000円

2 期末手当 (R5. 4. 1 改正)

支給月日	手当支給率	支給基準日
6月30日	1.65	6月1日
12月10日	1.65	12月1日
計	3.3	

期末手当は、支給基準日在職の議員に対し、在職期間に応じて、次のとおり支給している。

区分 基準日	在 職 期 間			
	6カ月	5カ月以上 6カ月未満	3カ月以上 5カ月未満	3カ月未満
6月1日	報酬 165.0 100 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100	報酬 165.0 80 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100	報酬 165.0 60 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100	報酬 165.0 30 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100

区分 基準日	在 職 期 間			
	6カ月	5カ月以上 6カ月未満	3カ月以上 5カ月未満	3カ月未満
12月1日	報酬 165.0 100 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100	報酬 165.0 80 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100	報酬 165.0 60 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100	報酬 165.0 30 ($\frac{\text{---}}{\text{---}} \times \text{---}$) 月額 100 100

3 費用弁償

(1) 公務旅行の費用弁償

区分	鉄道賃	船賃	車賃	旅行諸費	宿泊料	食卓料
議長	その乗車に要する運賃（急行料金、特別車両料金及び座席指定料金を含む。）	1 運賃 上級の運賃ただし、運賃の等級を設けない船舶による旅行の場合には、その乗車に要する運賃（特別船室料金及び座席指定料金を含む。） 2 公務上の必要により別に寝台料金を必要とした場合には、現に支払った寝台料金を加算する。	1キロメートルにつき 37円	1日につき 3,300円	1夜につき 甲地 16,500円 乙地 14,900円	1夜につき 3,300円
副議長 議員				1日につき 3,000円	1夜につき 甲地 14,800円 乙地 13,300円	1夜につき 3,000円

(2) 議会、委員会又は協議等の場出席の費用弁償

区分	費用弁償の額	
定額	一日につき 5,000円	
加算額	交通費	最も経済的かつ合理的と認められる通常の経路及び方法により旅行をした場合における次に掲げる旅行の区分に応じ、それぞれ次に定める額を合計した額 1 鉄道旅行 その乗車に要する運賃（急行料金、特別車両料金及び座席指定料金を含む。） 2 水路旅行 上級の運賃（運賃の等級を設けない船舶による旅行の場合には、その乗船に要する運賃（特別船室料金及び座席指定料金を含む。））とし、公務上の必要により別に寝台料金を必要とした場合には、当該運賃等に現に支払った寝台料金を加算した額 3 陸路旅行（鉄道旅行を除く。） 車賃（路程1キロメートルにつき37円）。ただし、高速自動車国道等の有料道路を利用する区間については、当該有料道路を利用する区間に係る料金に相当する額を加算した額
	宿泊料	居住地が熊本市の区域内にない議員が熊本市の区域内に宿泊した場合 一日につき 13,300円

VI 県議会議員選挙

1 選挙執行日及び議員定数の沿革

選挙執行日 (選挙区定数改正 条例制定日)	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和
	22. 4. 30 (21. 12. 14)	26. 4. 30 (26. 3. 23)	30. 4. 23	34. 4. 23 (33. 10. 3)	38. 4. 17 (37. 12. 25)	42. 4. 15 (41. 9. 12)
選挙区						
熊本市選挙区	7	8	8	12	12	13
八代市選挙区	1	2	2	3	3	3
人吉市選挙区	1	1	1	1	1	1
荒尾市選挙区	1	2	2	2	2	2
水俣市選挙区	—	1	1	2	2	2
玉名市選挙区	—	—	—	2	2	2
本渡市選挙区	—	—	—	1	1	1
山鹿市選挙区	—	—	—	1	1	1
牛深市選挙区	—	—	—	1	1	1
菊池市選挙区	—	—	—	1	1	1
宇土市選挙区	—	—	—	1	1	1
飽託郡選挙区	3	3	3	2	2	2
宇土郡選挙区	2	2	2	1	1	1
下益城郡選挙区	3	3	3	3	3	3
玉名郡選挙区	5	5	5	3	3	3
鹿本郡選挙区	3	3	3	2	2	2
菊池郡選挙区	4	4	4	2	2	2
阿蘇郡選挙区	4	3	3	4	4	3
上益城郡選挙区	4	4	4	3	3	3
八代郡選挙区	3	3	3	2	2	2
葦北郡選挙区	3	2	2	1	1	1
球磨郡選挙区	3	3	3	3	3	3
天草郡選挙区	8	8	8	—	—	—
天草郡上島選挙区	—	—	—	3	3	2
天草郡下島選挙区	—	—	—	2	2	2
定数計	55	57	57	58	58	57
地方自治法に 基づく定数	55 21年人口 調査 1,631,976人	57 25.10. 1 国調 1,827,582人	57 同左	58 30.10. 1 国調 1,895,663人	58 35.10. 1 国調 1,856,192人	57 40.10. 1 国調 1,770,736人

選挙執行日 (選挙区定数改正 条例制定日)	昭和	昭和	昭和	昭和	昭和	平成
	46. 4. 11	50. 4. 13 (48. 12. 19)	54. 4. 8 (53. 12. 20)	58. 4. 10	62. 4. 12 (61. 3. 25)	3. 4. 7 (2. 10. 1)
選挙区						
熊本市選挙区	13	15	16	16	16	16
八代市選挙区	3	3	3	3	3	3
人吉市選挙区	1	1	1	1	1	1
荒尾市選挙区	2	2	2	2	2	2
水俣市選挙区	2	1	1	1	1	1
玉名市選挙区	2	1	1	1	1	1
本渡市選挙区	1	1	1	1	1	1
山鹿市選挙区	1	1	1	1	1	1
牛深市選挙区	1	1	1	1	1	1
菊池市選挙区	1	1	1	1	1	1
宇土市選挙区	1	1	1	1	1	1
飽託郡選挙区	2	1	1	1	1	1
宇土郡選挙区	1	1	1	1	1	1
下益城郡選挙区	3	3	2	2	3	3
玉名郡選挙区	3	3	3	3	3	3
鹿本郡選挙区	2	2	2	2	2	2
菊池郡選挙区	2	2	2	2	3	3
阿蘇郡選挙区	3	3	3	3	3	3
上益城郡選挙区	3	3	3	3	3	3
八代郡選挙区	2	2	2	2	2	2
葦北郡選挙区	1	1	1	1	1	1
球磨郡選挙区	3	3	3	3	2	2
天草郡選挙区						
天草郡上島選挙区	2	2	2	2	2	2
天草郡下島選挙区	2	2	2	2	1	1
定数計	57	56	56	56	56	56
地方自治法に 基づく定数	57 同左	56 45. 10. 1 国調 1, 700, 229人	56 50. 10. 1 国調 1, 715, 273人	57 55. 10. 1 国調 1, 790, 327人	57 60. 10. 1 国調 1, 837, 747人	57 同左

選挙執行日 (選挙区定数改正 条例制定日)	平成	平成	平成	平成	平成
	7. 4. 9 (6. 3. 8)	11. 4. 11	15. 4. 13 (14. 3. 6)	19. 4. 8 (18. 3. 23)	23. 4. 10 (22. 3. 6)
選挙区					
熊本市選挙区	18	18	18	16	16
八代市選挙区	3	3	3		
八代市・郡選挙区				4	4
人吉市選挙区	1	1	1	1	1
荒尾市選挙区	2	2	2	2	2
水俣市選挙区	1	1	1	1	1
玉名市選挙区	1	1	1	2	2
本渡市選挙区	1	1	1		
天草市・郡選挙区				3	3
山鹿市選挙区	1	1	1	2	2
牛深市選挙区	1	1	1		
菊池市選挙区	1	1	1	1	1
宇土市選挙区	1	1	1	1	1
上天草市選挙区				1	1
宇城市選挙区				2	2
阿蘇市選挙区				1	1
合志市選挙区				1	1
宇土郡選挙区	1	1	1		
下益城郡選挙区	3	3	3	1	1
玉名郡選挙区	2	2	2	1	1
鹿本郡選挙区	2	2	2	1	1
菊池郡選挙区	3	3	3	2	2
阿蘇郡選挙区	3	3	2	1	1
上益城郡選挙区	3	3	3	2	2
八代郡選挙区	2	2	2		
葦北郡選挙区	1	1	1	1	1
球磨郡選挙区	2	2	2	2	2
天草郡上島選挙区	2	2	2		
天草郡下島選挙区	1	1	1		
定数計	56	56	55	※49	49
地方自治法に基づく 定数	58 2. 10. 1 国調 1, 840, 326人	58 7. 10. 1 国調 1, 859, 793人	58 12. 10. 1 国調 1, 859, 344人	58 17. 10. 1 国調 1, 842, 233人	58 同左

※平成18年3月23日、熊本県議会議員の定数を定める条例により定数49人となる。

選挙執行日 (選挙区定数改正 条例制定日)	平成	平成	令和
	27. 4. 12 (26. 3. 24)	31. 4. 7 (30. 3. 23)	5. 4. 9
選挙区			
熊本市第一選挙区	12	12	12
熊本市第二選挙区	5	5	5
八代市・郡選挙区	4	4	4
人吉市選挙区	1	1	1
荒尾市選挙区	2	2	2
水俣市選挙区	1	1	1
玉名市選挙区	2	2	2
天草市・郡選挙区	3	3	3
山鹿市選挙区	2	2	2
菊池市選挙区	1	1	1
宇土市選挙区	1	1	1
上天草市選挙区	1	1	1
宇城市・下益城郡	2	2	2
阿蘇市選挙区	1	1	1
合志市選挙区	1	2	2
玉名郡選挙区	1	1	1
菊池郡選挙区	2	2	2
阿蘇郡選挙区	1	1	1
上益城郡選挙区	2	2	2
葦北郡選挙区	1	1	1
球磨郡選挙区	2	2	2
定数計	48	49	49
地方自治法に基づく 定数	※H23. 5の地 方地自法改正 により定数上 限枠の廃止	同左	同左

2 選挙結果

区分		回数	1	2	3	4	5
		年月日(施行)	昭和 22. 4. 30	昭和 26. 4. 30	昭和 30. 4. 23	昭和 34. 4. 23	昭和 38. 4. 17
選有 挙権 の者 数	総 数		915,023	961,873	1,018,409	856,499	792,988
	男		428,782	445,351	472,909	396,454	359,650
	女		486,241	516,522	545,500	460,045	433,338
及 投 び 票 得 者 票 数 率	総 数	(84.85) 776,385	(88.55) 851,708	(81.57) 830,747	(83.84) 718,083	(78.77) 624,606	
	男	(86.67) 371,646	(90.72) 404,034	(83.58) 395,264	(85.27) 338,037	(79.57) 286,160	
	女	(83.24) 404,739	(86.67) 447,674	(79.83) 435,483	(82.61) 380,046	(78.10) 338,446	
党 派 別 得 票 数	自由党	(24.38) 178,270	(32.32) 267,519	(29.00) 237,991	自由 民主 党	(70.42) 499,230	(56.75) 351,074
	民主党	(31.62) 231,205	(31.28) 258,969	(31.99) 262,438			
	国民共同党	(9.33) 68,188					
	社会党	(9.30) 68,003	(5.72) 47,347	(5.94) 48,681		(8.53) 60,504	(10.28) 63,608
	共産党	(0.57) 4,157	(0.32) 2,662	(0.32) 2,617		(0.25) 1,755	(0.62) 3,790
	民主社会党						(0.75) 4,670
	公明党						(2.67) 16,526
	諸 派	(0.89) 6,519	(0.23) 1,922				
	無 所 属	(23.91) 174,868	(30.13) 249,378	(32.75) 268,626		(20.80) 147,463	(28.93) 178,950
	総 計	(100.00) 731,211	(100.00) 827,797	(100.00) 820,273		(100.00) 708,952	(100.00) 618,618

(注) : () は投票率又は得票率を示す・・・単位：%

区分		回数	6	7	8	9	10
		年月日(施行)	昭和 42. 4. 15	昭和 46. 4. 11	昭和 50. 4. 13	昭和 54. 4. 8	昭和 58. 4. 10
選有 挙権 の者 数	総 数		1,014,775	982,687	1,131,418	1,033,873	1,297,484
	男		459,151	445,885	516,911	477,246	600,392
	女		555,624	536,802	614,507	556,627	697,092
及 投 び 票 得 者 票 数 率	総 数	(75.35) 764,683	(75.46) 741,569	(77.72) 879,365	(75.61) 781,672	(72.22) 937,000	
	男	(76.16) 349,668	(74.66) 332,908	(77.36) 399,907	(75.02) 358,025	(71.55) 429,595	
	女	(74.69) 415,015	(76.13) 408,661	(78.02) 479,458	(76.11) 423,647	(72.79) 507,405	
党 派 別 得 票 数	自民党	(66.13) 499,489	(61.21) 448,069	(54.40) 472,392	(58.18) 449,437	(65.77) 606,212	
	民主党						
	国民共同党						
	社会党	(10.70) 80,781	(9.91) 72,509	(10.51) 91,316	(9.65) 74,572	(8.04) 74,142	
	共産党	(1.22) 9,240	(2.91) 21,275	(2.95) 25,638	(1.70) 13,144	(3.93) 36,209	
	民主社会党				(1.44) 11,150	(1.02) 9,404	
	公明党	(2.74) 20,691	(3.90) 28,545	(3.73) 32,390	(4.48) 34,527	(4.46) 41,137	
	新自由クラブ				(1.40) 10,800	(1.07) 9,856	
	無所属	(19.21) 145,115	(22.07) 161,559	(28.41) 246,765	(23.15) 178,849	(15.71) 144,798	
総計	(100.00) 755,316	(100.00) 731,957	(100.00) 868,501	(100.00) 772,479	(100.00) 921,758		

(注) : () は投票率又は得票率を示す・・・単位：%

区分	回数	1 1	1 2	1 3	1 4	1 5
	年月日(施行)	昭和 62. 4. 12	平成 3. 4. 7	平成 7. 4. 9	平成 11. 4. 11	平成 15. 4. 13
選有 挙権 の者 数	総 数	1, 333, 028	925, 810	1, 202, 977	1, 054, 222	1, 249, 643
	男	615, 357	426, 484	555, 141	486, 635	578, 661
	女	717, 671	499, 326	647, 836	567, 587	670, 982
及 投 び 票 得 者 票 数 率	総 数	(73. 64) 981, 700	(65. 36) 605, 092	(64. 18) 772, 071	(66. 51) 701, 211	(63. 65) 795, 389
	男	(72. 58) 446, 645	(64. 37) 274, 526	(63. 25) 351, 128	(65. 33) 317, 930	(62. 34) 360, 721
	女	(74. 55) 535, 055	(66. 20) 330, 566	(64. 98) 420, 943	(67. 53) 383, 281	(64. 78) 434, 668
党 派 別 得 票 数	自民党	(55. 67) 538, 265	(51. 25) 305, 351	(40. 71) 309, 088	(47. 86) 330, 081	(43. 51) 340, 238
	民主党				(2. 31) 15, 958	(1. 93) 15, 079
	社会党	(7. 93) 76, 715	(9. 46) 56, 378	(5. 91) 44, 851		
	共産党	(3. 18) 30, 705	(2. 27) 13, 505	(1. 50) 11, 367	(2. 43) 16, 769	(2. 37) 18, 507
	公明党	(3. 75) 36, 303	(5. 86) 34, 883	(4. 13) 31, 374	(5. 37) 37, 055	(5. 31) 41, 504
	さきがけ			(2. 96) 22, 467		
	新進党			(6. 02) 45, 691		
	自由党					(0. 53) 4, 137
	諸派					(1. 35) 10, 522
	無所属	(29. 47) 284, 915	(31. 16) 185, 635	(38. 77) 294, 305	(42. 03) 289, 848	(45. 01) 351, 907
	総計	(100. 00) 966, 903	(100. 00) 595, 752	(100. 00) 759, 143	(100. 00) 689, 711	(100. 00) 781, 894

(注) : () は投票率又は得票率を示す・・・単位：%

区分		回数	1 6	1 7	1 8	1 9	2 0
		年月日(施行)	平成 19. 4. 8	平成 23. 4. 10	平成 27. 4. 12	平成 31. 4. 7	令和 5. 4. 9
選有 挙権 の者 数	総 数		1, 273, 148	1, 075, 337	1, 194, 103	866, 151	1, 121, 963
	男		587, 999	496, 576	553, 164	404, 497	524, 256
	女		685, 149	578, 761	640, 939	461, 654	597, 707
及 投 び 票 得 者 票 数 率	総 数		(61. 92) 788, 356	(52. 42) 563, 727	(50. 24) 599, 971	(46. 53) 402, 982	(43. 41) 487, 065
	男		(61. 14) 359, 499	(52. 23) 259, 360	(50. 42) 278, 895	(46. 30) 187, 267	(43. 20) 226, 496
	女		(62. 59) 428, 857	(52. 59) 304, 367	(50. 09) 321, 076	(46. 73) 215, 715	(43. 59) 260, 569
党 派 別 得 票 数	自民党		(40. 33) 313, 401	(39. 94) 221, 924	(45. 90) 270, 514	(43. 47) 171, 925	(46. 69) 222, 940
	民主党		(5. 10) 39, 664	(9. 41) 52, 279	(4. 47) 26, 352		
	共産党		(2. 01) 15, 607	(2. 83) 15, 752	(3. 26) 19, 207	(2. 28) 9, 034	(1. 72) 8, 220
	公明党		(5. 44) 42, 300	(6. 76) 37, 575	(6. 23) 36, 696	(5. 99) 23, 673	(6. 89) 32, 891
	立憲民主党					(2. 74) 10, 819	(8. 36) 39, 908
	諸派					(1. 53) 6, 037	(1. 26) 6, 015
	日本維新の会						(4. 01) 19, 163
	参政党						(2. 28) 10, 886
				(47. 12) 366, 199	(41. 06) 228, 149	(40. 14) 236, 628	(44. 00) 173, 997
			(100. 00) 777, 171	(100. 00) 555, 679	(100. 00) 589, 397	(100. 00) 395, 485	(100. 00) 477, 464

(注) : () は投票率又は得票率を示す・・・単位 : %

VII 議会関係各種名簿

1 歴代正副議長一覧

(1) 議長

歴代	氏名	就任年月日	歴代	氏名	就任年月日
1	木下助之	明 12. 4. 25	31	大久保 勢 輔	昭 26. 6. 4
2	嘉悦氏房	〃 13. 5. 5	32	瀬口 龍之介	〃 28. 9. 8
3	嘉悦氏房	〃 13. 10. 9	33	瀬口 龍之介	〃 30. 5. 20
4	嘉悦氏房	〃 14. 2. 14	34	二神 勇 雄	〃 32. 6. 27
5	白木 為直	〃 15. 5. 23	35	岩尾 豊	〃 34. 6. 19
6	白木 為直	〃 17. 4. 16	36	岩尾 豊	〃 35. 6. 28
7	白木 為直	〃 18. 12. 21	37	平川 千 吉	〃 36. 7. 31
8	嘉悦 信之	〃 20. 11. 17	38	平川 千 吉	〃 37. 7. 27
9	嘉悦 信之	〃 20. 12. 17	39	園田 清 充	〃 38. 5. 20
10	嘉悦 信之	〃 23. 3. 22	40	櫛山 弘	〃 40. 7. 24
11	村上一郎	〃 25. 11. 11	41	戸上 第一郎	〃 42. 2. 22
12	村上一郎	〃 27. 4. 20	42	田代 由紀男	〃 42. 5. 15
13	大畑 純次	〃 29. 10. 15	43	倉重 末 喜	〃 44. 6. 20
14	大畑 純次	〃 31. 11. 15	44	沼田 一	〃 46. 5. 11
15	値賀 盛純	〃 32. 10.	45	田中 典次	〃 48. 3. 29
16	村上一郎	〃 33. 2. 26	46	松岡 義昌	〃 49. 3. 29
17	村上一郎	〃 36. 11. 4	47	小谷 久爾夫	〃 50. 5. 12
18	村上一郎	〃 40. 10. 25	48	浦田 勝	〃 51. 3. 29
19	大谷 高寛	〃 44. 10. 24	49	増田 英夫	〃 52. 3. 29
20	大谷 高寛	大 4. 10. 21	50	今村 来	〃 53. 3. 31
21	藤井 敬慎	〃 7. 8. 24	51	岩崎 六郎	〃 54. 5. 12
22	藤井 敬慎	〃 8. 11. 1	52	浦田 宇次郎	〃 55. 3. 29
23	古閑 又五郎	〃 12. 10. 25	53	池田 定行	〃 55. 7. 2
24	古閑 忠平	昭 2. 12. 1	54	幸山 繁信	〃 56. 5. 29
25	小見山七十五郎	〃 4. 12. 14	55	八木 繁尚	〃 57. 6. 22
26	古閑 又五郎	〃 6. 10. 26	56	小材 学	〃 58. 5. 6
27	脇山 真一	〃 10. 10. 25	57	久保 一明	〃 60. 3. 19
28	深水 吉毅	〃 14. 11. 24	58	水田 伸三	〃 61. 3. 25
29	松枝 至	〃 16. 11. 15	59	永田 悦雄	〃 62. 5. 14
30	大久保 勢 輔	〃 22. 6. 8	60	米原 賢士	〃 63. 3. 25

歴代	氏名	就任年月日	歴代	氏名	就任年月日
61	金子康男	平元. 3.24	81	馬場成志	平23. 5.10
62	北里達之助	〃 2. 3.29	82	藤川隆夫	〃 25. 3.21
63	平川和人	〃 3. 5.13	83	前川 收	〃 26. 3.17
64	古閑三博	〃 4. 3.21	84	松田三郎	〃 27. 5.11
65	高田昭二郎	〃 5. 3.25	85	吉永和世	〃 28. 5.13
66	馬場三則	〃 6. 3.28	86	岩下栄一	〃 29. 3.17
67	山本秀久	〃 7. 5.12	87	坂田孝志	〃 30. 3.16
68	杉森猛夫	〃 8. 3.22	88	井手順雄	令元. 5. 9
69	山本 靖	〃 9. 3.24	89	池田和貴	〃 2. 2.26
70	八浪知行	〃 10. 3.24	90	小早川宗弘	〃 3. 3.19
71	島津勇典	〃 11. 5.13	91	溝口幸治	〃 4. 3.16
72	倉重 剛	〃 12. 5.11	92	淵上陽一	〃 5. 5.10
73	荒木詔之	〃 13. 3.22			
74	西岡勝成	〃 15. 5.15			
75	児玉文雄	〃 16. 3. 3			
76	島田幸弘	〃 17. 3.23			
77	松村 昭	〃 18. 3.22			
78	村上寅美	〃 19. 5. 1			
79	早川英明	〃 21. 3.23			
80	小杉 直	〃 22. 3.24			

(2) 副 議 長

歴代	氏名	就任年月日	歴代	氏名	就任年月日
1	値賀盛純	明12. 4.25	12	武藤一忠	明25.11.11
2	岩男俊貞	〃 13.10. 9	13	武藤一忠	〃 27. 4.20
3	岩男俊貞	〃 15. 5.23	14	大谷高寛	〃 29.10.15
4	嘉悦氏房	〃 17. 3.10	15	菊地淡水	〃 32.10.
5	友枝庄蔵	〃 17. 4.16	16	大谷高寛	〃 36.11. 4
6	友枝庄蔵	〃 18.12.21	17	山田珠一	〃 40.10.25
7	原田隆道	〃 20.11.17	18	城 敬寛	〃 41.11.16
8	原田隆道	〃 20.12.17	19	三津家伝之	〃 44.10.24
9	牧 相之	〃 21. 5. 9	20	藤井敬慎	大4.10.21
10	牧 相之	〃 23. 3.22	21	麻生兵作	〃 7. 8.24
11	村上 一郎	〃 24.11.21	22	飯星佐七郎	〃 8.11. 1

歴代	氏名	就任年月日	歴代	氏名	就任年月日
23	麻生兵作	大10.11.18	57	永田悦雄	昭56.3.28
24	木山重吉	"12.10.25	58	井ノ上龍生	"57.3.26
25	村上友人	"13.12.	59	甲斐孝行	"58.5.6
26	斉藤長八	昭2.12.3	60	米原賢士	"59.3.28
27	松枝至	"6.10.26	61	金子康男	"60.3.19
28	北里雄平	"10.10.25	62	北里達之助	"61.3.25
29	平野澄久	"14.11.24	63	平川和人	"62.5.14
30	村田源蔵	"16.11.1	64	古閑三博	"63.3.25
31	野上進	"22.6.8	65	大森豊	平元.3.24
32	中野数喜	"26.6.4	66	鏡昭二	"2.3.29
33	堤吉之介	"28.12.17	67	八浪知行	"3.5.13
34	平川千吉	"30.5.20	68	阿曾田清	"4.3.21
35	島田学	"32.6.27	69	杉森猛夫	"5.3.25
36	堀川光記	"34.6.19	70	山本靖	"6.3.28
37	堀川光記	"35.6.28	71	岩下榮一	"7.5.12
38	井農夫男	"36.7.31	72	小早川宗一郎	"8.3.22
39	井農夫男	"37.7.27	73	池田貞俊	"9.3.24
40	田中典次	"38.5.20	74	前畑淳治	"10.3.24
41	戸上第一郎	"40.7.24	75	松村昭	"11.5.13
42	岩本人志	"42.2.22	76	村上寅美	"12.5.11
43	沢田治男	"42.5.15	77	吉本賢児	"13.3.22
44	井上睦朗	"43.12.18	78	高野誠一	"14.3.22
45	恒松良一郎	"44.6.20	79	前川收	"15.5.15
46	松岡義昌	"45.6.19	80	早川英明	"16.3.3
47	蓮田敬介	"46.5.11	81	坂田孝志	"17.3.23
48	増田英夫	"47.3.25	82	船田直大	"17.6.30
49	矢野幸雄	"48.3.29	83	小杉直	"18.3.22
50	九谷弘之	"49.3.29	84	馬場成志	"19.5.11
51	中村公力	"50.5.12	85	中原隆博	"20.4.24
52	水田伸三	"51.3.29	86	藤川隆夫	"21.3.23
53	杉村国夫	"52.3.29	87	松田三郎	"22.3.24
54	園田茂	"53.3.31	88	井手順雄	"23.5.10
55	一門勉	"54.5.12	89	吉永和世	"24.3.2
56	宮元玄次郎	"55.3.29	90	中村博生	"25.3.21

歴代	氏名	就任年月日	歴代	氏名	就任年月日
91	佐藤雅司	平25. 7. 2	101	内野幸喜	" 5. 5.10
92	重村 栄	" 26. 3.17			
93	池田和貴	" 27. 5.11			
94	小早川宗弘	" 28. 2.29			
95	溝口幸治	" 29. 3.17			
96	森 浩二	" 30. 3.16			
97	田代国広	令元. 5. 9			
98	渊上陽一	" 2. 2.26			
99	山口 裕	" 3. 3.19			
100	高野洋介	" 4. 3.16			

2 監査委員一覧（議会選出）

（平成元年～令和4年）

氏名	在任期間
北里達之助 平川和人	平成元. 3.24～2. 3.28
幸山繁信 米原賢士	" 2. 3.29～3. 4.29
高田昭二郎 山本秀久	" 3. 5.13～4. 3.20
三角保之 西岡勝成	" 4. 3.21～5. 3.24
八浪知行 山本靖	" 5. 3.25～6. 3.27
阿曾田清 倉重剛	" 6. 3.28～7. 4.29
荒木詔之 小早川宗一郎	" 7. 5.12～8. 3.21
島津勇典 前畑淳治	" 8. 3.22～9. 3.23
島田幸弘 児玉文雄	" 9. 3.24～10. 3.23
杉森猛夫 松村昭	" 10. 3.24～11. 4.29

氏 名	在 任 期 間
池 田 定 行 前 畑 淳 治	平成 11. 5. 13～12. 5. 10
米 原 賢 士 小早川 宗一郎	〃 12. 5. 11～13. 3. 21
山 本 秀 久 児 玉 文 雄	〃 13. 3. 22～14. 3. 21
八 浪 知 行 吉 本 賢 児	〃 14. 3. 22～15. 4. 29
倉 重 剛 早 川 英 明	〃 15. 5. 13～16. 3. 3
荒 木 詔 之 船 田 直 大	〃 16. 3. 4～17. 3. 23
前 川 收 小 杉 直	〃 17. 3. 24～18. 3. 22
竹 口 博 己 馬 場 成 志	〃 18. 3. 23～19. 4. 29
荒 木 義 行 氷 室 雄一郎	〃 19. 5. 11～19. 7. 27
早 川 英 明	〃 19. 5. 11～20. 4. 23
藤 川 隆 夫 城 下 広 作	〃 19. 10. 1～20. 4. 23
村 上 寅 美 松 田 三 郎	〃 20. 4. 25～21. 3. 23
渡 辺 利 男 井 手 順 雄	〃 21. 3. 23～22. 3. 24
氷 室 雄一郎 吉 永 和 世	〃 22. 3. 25～23. 4. 29
城 下 広 作 中 村 博 生	〃 23. 5. 13～24. 3. 2
大 西 一 史 重 村 栄	〃 24. 3. 3～25. 3. 21
氷 室 雄一郎 佐 藤 雅 司	〃 25. 3. 22～26. 3. 17
	〃 26. 3. 18～27. 4. 29

氏 名	在 任 期 間
城 下 広 作 小早川 宗 弘	平成 27. 5. 14～28. 2. 29
溝 口 幸 治 坂 田 孝 志	〃 28. 3. 1～29. 3. 17
城 下 広 作 池 田 和 貴	〃 29. 3. 18～30. 3. 16
氷 室 雄 一 郎 田 代 国 広	〃 30. 3. 17～31. 4. 29
淵 上 陽 一 前 田 憲 秀	令和元. 5. 10～ 2. 2. 26
岩 下 栄 一 山 口 裕	〃 2. 2. 27～ 3. 3. 19
内 野 幸 喜 高 野 洋 介	〃 3. 3. 20～ 4. 3. 16
高 木 健 次 増 永 慎 一 郎	〃 4. 3. 17～ 5. 4. 29
緒 方 勇 二 橋 口 海 平	令和 5. 5. 11～ 現在

3 県議会議員の各種協議会、審議会等委員一覧

(議会運営委員会推薦)

所管課	名 称	会 派	氏 名	備 考
都 市 計 画 課	熊 本 県 都 市 計 画 審 議 会	自 民 立 民 連 自 民 公 明 自 民 自 民	藤 川 隆 夫 鎌 田 聡 増 永 慎 一 郎 前 田 憲 秀 橋 口 海 平 松 村 秀 逸	任期 4 年 令和 5. 7. 14～ 都市計画法 県都市計画審議会条例

4 有明海自動車航送船組合議会議員名簿

会 派	氏 名	任 期	備 考
自 民	内野 幸喜	令和 5. 5. 11～	令和 5. 5. 11 選挙(指名推選)
立民連	岩田 智子	〃	〃
自 民	竹崎 和虎	〃	〃
自 民	坂梨 剛昭	〃	〃

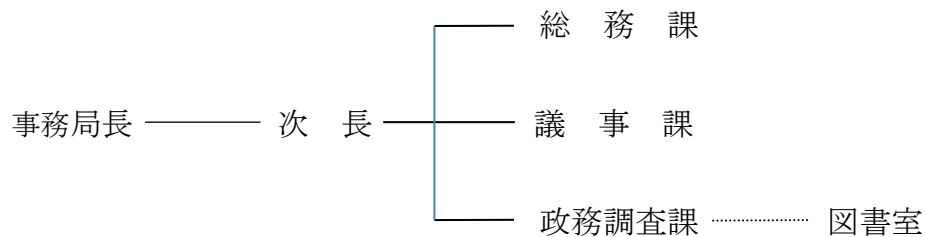
5 各種団体の主な議員役職名簿

団 体 等 名	議 員 役 職 名
熊本商工会議所 (顧問)	議長
(公財)熊本県スポーツ協会 (副会長)	議長
(公社)熊本県緑化推進委員会 (会 長)	議長
(公財)熊本県暴力追放運動推進センター (顧問)	議長
熊本県信用保証協会 (理 事)	議長
熊本日豪協会 (副会長)	議長
社会を明るくする運動熊本県推進委員会 (委 員)	議長
「小さな親切」運動熊本県本部 (顧問)	議長
熊本県産業教育振興会 (顧問)	議長
(一財)熊本県青年会館 (顧問)	議長
熊本県国民保護協議会 (委 員)	議長
熊本交響楽団 (顧問)	議長
熊本日伯協会 (顧問)	議長
熊本県防衛協会 (副会長)	議長
熊本県中国残留孤児等対策協議会 (常任理事)	議長
阿蘇くまもと空港国際線振興協議会役員会 (幹 事)	議長
(公社)くまもと被害者支援センター (顧問)	議長
九州地域鉄道整備促進協議会 (理 事)	議長
中九州・地域高規格道路推進期成会 (顧問)	議長
(公財)水俣・芦北地域振興財団 (理 事)	副議長
(公財)水俣・芦北地域振興財団 (顧問)	地元議員
熊本県ごみゼロ推進県民会議 (委 員)	議長

団 体 等 名	議 員 役 職 名
全国高速道路建設協議会 (理 事)	議長
九州高速自動車道建設期成同盟会 (理 事)	議長
九州中央自動車道建設促進協議会 (副会長) (会 員)	議長 建設常任委員長
南九州西回り自動車道建設促進協議会 (副会長)	議長
熊本県水防協議会 (委 員)	議長
(公社)熊本県防犯協会連合会 (顧 問)	議長 教育警察常任委員長
熊本ユネスコ協会 (顧 問)	議長
八代・天草シーライン建設促進協議会 (副会長)	議長

VIII 議会事務局

1 組織



2 職員の定数及び現員数 (R5. 4. 1)

・定数：40人

・現員数：35人（併任2人を含む）

区分	総務課	議事課	政務調査課	計	備考
事務局長	1			1	
次長	1			1	
課長	(次長兼務)	1	1	2	
審議員	1	1	1	3	
課長補佐	1	2	1	4	
主幹	1	5	5	11	
参事	4	1	1	6	
主任主事	1			1	
技師 (併任含む)	5		1	6	
計	15	10	10	35	

3 事務の分担表

(令和5年4月1日現在)

所属	職名	氏名	内線番号	主な事務分担
事務局	局長	波村多門	50040	事務局の総括
	次長	村田竜二	50050	事務局の総括補佐
総務課	次長兼総務課長	村田竜二	50050	総務課の総括
〃	審議員(兼課長補佐)	帆足朋和	50041	課長の補佐
〃	課長補佐(総務担当)	濱治優一	50042	総務班総括、議員派遣、高校生県議会
〃	参事	井隆彦	50043	議長挨拶文等
〃	参事	森平麻裕美	50044	政務活動費、表彰・栄典
〃	参事	古閑志保子	50045	議員報酬、議会広報(HP管理)、経理事務、監査
〃	主任主事	坂本翔太郎	50046	予算・決算、庁舎管理、資産公開
〃	主幹(秘書担当)	白石弘樹	50006	議長秘書
〃	参事(秘書担当)	永田大輔	50007	副議長秘書
〃	技師	牧清信	50012	巡視
〃	技師	尾方福男	50012	巡視
〃	技師	紫垣公司	50067	公用車運転(議長車)
〃	技師	北村繁典	31413	公用車運転(併任:財産経営課)
〃	技師	田尻智裕	31414	公用車運転(併任:財産経営課)
議事課	課長	富田博英	50080	議事課の総括
〃	審議員(兼課長補佐)	濱田浩史	50047	課の総括補佐、議長次第書
〃	課長補佐(議事担当)	楨原俊郎	50048	経済環境常任委員会
〃	課長補佐(議事担当)	岡部康夫	50052	議会運営委員会、議事総括
〃	主幹	平江正博	50051	農林水産常任委員会
〃	主幹	宗像克彦	50054	厚生常任委員会、委員会総括
〃	主幹	石野公浩	50053	建設常任委員会
〃	主幹	泗水靖希	50055	総務常任委員会
〃	主幹	太田弘巳	50049	教育警察常任委員会
〃	参事	小池二郎	50056	会議録
政務調査課	課長	大濱順和	50090	政務調査課の総括
〃	審議員(兼課長補佐)	板橋徳明	50057	課長の補佐、意見書・決議案調整
〃	課長補佐(政務調査担当)	松本泰明	50058	政策法務、高速交通ネットワーク整備推進特別委員会
〃	主幹	西村哲治	50062	地域活力創生特別委員会、委員会中継
〃	主幹	内布志保美	50064	海の再生及び環境対策特別委員会、県市調整会議、議会の概要
〃	主幹	近藤隆志	50063	九州議長会、議長記者会見
〃	主幹	村山智彦	50061	全国議長会、政審会・議案等説明会、議会中継
〃	主幹	時吉啓通	50059	議会提要、くまもと県議会報
〃	参事	田尻浩彦	50065	県議会史編さん
〃	技師	木本恵子	50066	図書室管理、新聞情報管理

4 議会図書室

図書室は、議員の議会活動に必要な図書及び資料を収集保管して提供している。

(1) 施設

特別閲覧室 3 閲覧席12 地下書庫 全295㎡

(2) 図書

主として地方行財政に関する各部門の図書を収蔵しており、分類は日本十進分類法（NDC）によっている。

(3) 資料

県の刊行物及び国会、中央官庁の刊行物等の収集整備に重点をおいており、分類は日本十進分類法（NDC）によっている。

【収集している主な資料】

- ① 本県議会の議案、会議録、委員会会議録及び長崎県議会の会議録
※以前は九州各県から会議録が送付されていたが、会議録の電子化（HP掲載）に伴い、順次、紙媒体の提供はされなくなっている。
- ② 各都道府県の刊行資料（議会だより、県政資料等）・公報
（東京都、千葉県、栃木県、石川県、愛知県、京都府、宮崎県のみ）
- ③ 国会及び中央官庁（外郭団体を含む）の刊行資料
- ④ 県の執行機関及び各種行政委員会の刊行資料
- ⑤ 各種統計、年報、年鑑、人名録等

⑥ 定期刊行物

購入分

- ・ 地方自治
- ・ 地方財政
- ・ 地方財務
- ・ 判例時報
- ・ 判例地方自治
- ・ 法令解説資料総覧
- ・ 国会便覧
- ・ 自治体法務研究
- ・ 自治実務セミナー
- ・ 地方議会人
- ・ エコノミスト
- ・ ガバナンス
- ・ ダイヤモンド
- ・ 地方行政
- ・ 日経グローバル
- ・ くまもと経済
- ・ 致知
- ・ 自治日報
- ・ 白書

他より受入れ分

- ・ 議長会報
- ・ 毎日フォーラム
- ・ 教育委員会月報
- ・ 森林と林業
- ・ 書齋の窓
- ・ 自治体通信
- ・ 政経週報
- ・ 専門図書館
- ・ 国立国会図書館月報
- ・ 九州経済調査月報
- ・ レファレンス
- ・ MAMOR
- ・ 財界九州
- ・ あすの九州・山口
- ・ 観光文化

⑦ 新聞

- ・ 熊本日日
- ・ 西日本
- ・ 朝日
- ・ 毎日
- ・ 読売
- ・ 日本経済

⑧ 県内住宅地図

(4) 蔵書数

(令和5年3月末現在)

分 類	図書等冊数
総 記	1,730
哲 学	212
歴 史	1,921
社 会 科 学	13,477
自 然 科 学	668
技 術 ・ 工 学	1,680
産 業	3,082
芸 術 ・ 美 術	594
言 語	210
文 学	1,076
合 計	24,650

(5) 利用状況

年度 区分	令和3年度			令和4年度		
	閲覧 者数	貸出 者数	レファレンス	閲覧 者数	貸出 者数	レファレンス
議 員	62	21	261	86	24	369
事務局職員	2,012	113	74	1,754	113	79
執行部職員	154	14	39	176	4	18
一 般	424	—	—	358	—	—
合 計	2,652	148	374	2,374	141	466

5 定期刊行物

(1) 会 議 録 (65部)

県議会の本会議の全容を収録し、年4回の定例会及び臨時会ごとに調製の上、国会・県立・市立図書館等に配布している。

(2) くまもと県議会報 (1, 100部)

県議会の活動状況を広く県民に周知し、県議会に対する理解と認識を深めてもらうため、本会議の質問や審議状況、委員会審議、議決結果などを収録している。

定例会ごとに年4回発行して、議員、市町村、県の関係機関及び希望者などに配布するほか、情報プラザに常備している。

(3) 議会提要 (250部)

議員の議会活動に資するため、議会関係の条例、規定並びに議会の権限等を収録している。

(4) 議会の概要 (600部)

県議会の現況、議会事務局の機構並びに県政その他参考資料を収録し、議員その他に配布している。

(5) 議会の活動 (350部)

議員在任4年間の歩みを記録し、議員、県の機関、報道機関等に配布している。(任期終了後作成)

6 県議会ホームページ

県議会の情報をより迅速に県民等へ提供するため、県議会ホームページを開設している。

■ 県議会の概要

選挙区と定数、県議会のしくみや役割、請願と陳情、議員提案（政策）条例、政務活動費について掲載

■ 議長室あいさつ

議長・副議長あいさつ、歴代議長・副議長、議長交際費について掲載

■ 議員紹介

顔写真の入った名簿（五十音、選挙区、会派、所属委員会別）を掲載

■ 定例会・臨時会

会期日程、議案及び委員会資料、質問項目・会議速報、採決結果等、採択された請願、可決された意見書・決議、本会議録（PDF）、議長諸般の報告を掲載

■ 委員会

概要、開催日程、会議記録、視察の概要、取り組みの成果を掲載

■ インターネット中継

本会議、常任委員会及び特別委員会（決算特別委員会を除く）の会議の様を生中継、速報版、録画中継により配信

■ 本会議録の検索と閲覧

定例会、臨時会における本会議の会議録を検索

■ 傍聴のご案内

■ くまもと県議会報 等

7 議会史編さん

昭和29年9月県議会図書委員会において、県議会史の編さんが企画され、昭和30年4月、県議会議員による県議会史編さん委員会が設置された。

その後、資料の収集に大きな困難があったが、関係者の努力により昭和38年3月に第1巻が完成し、さらに、次のとおり逐次発行され、現在第10巻を編さん中である。

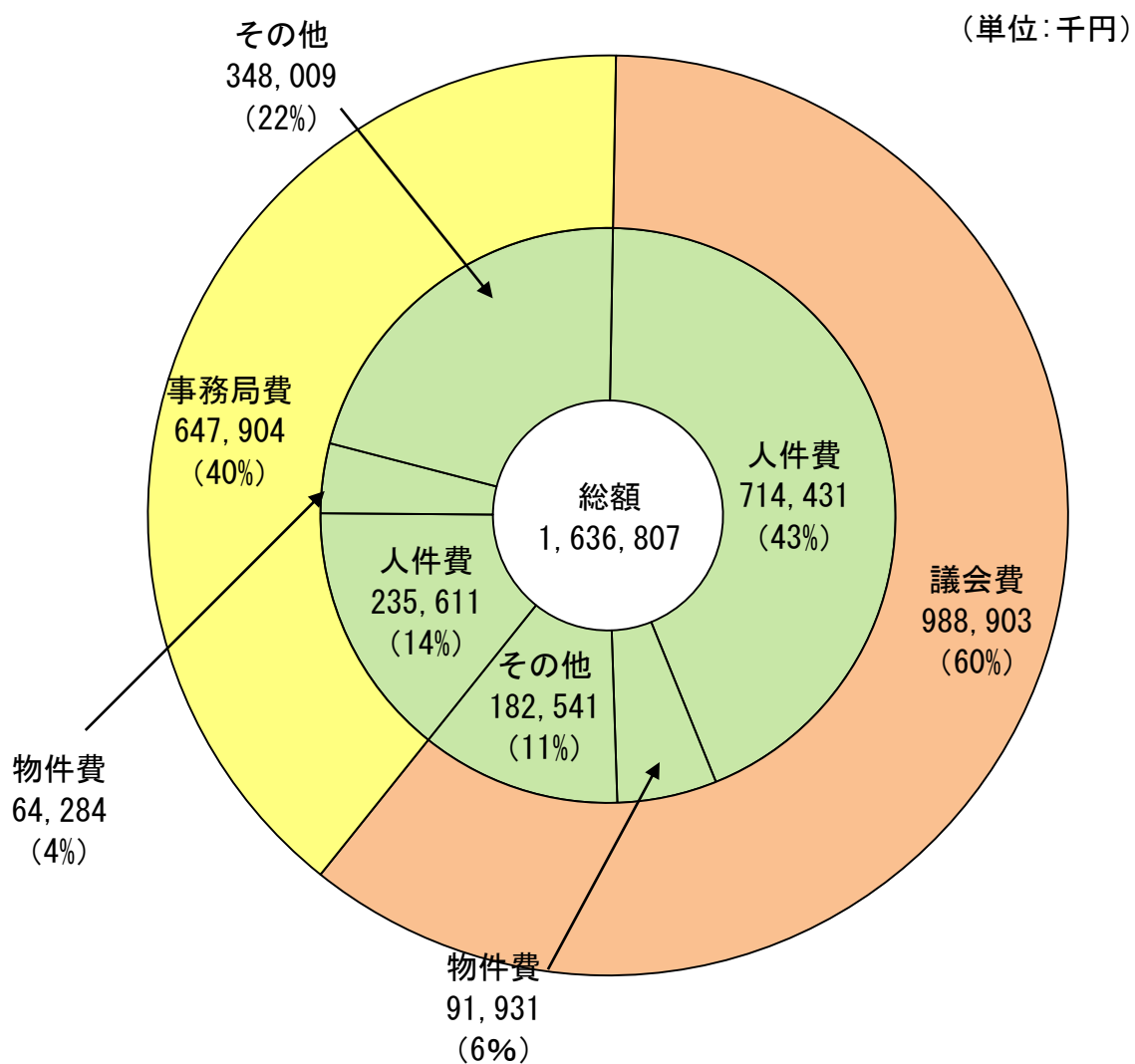
県議会史編さん状況

巻数	収録期間	収録年数	発行年月日	発行部数
第1巻	明治元年～明治22年	22年間	昭和38. 3. 31	500部
第2巻	明治23年～明治44年	22年間	昭和43. 8. 1	500部
第3巻	大正元年～大正15年	15年間	昭和46. 12. 2	500部
第4巻	昭和2年～昭和20年 (終戦時)	19年間	昭和50. 3. 31	500部
第5巻	昭和21年～昭和30年	10年間	昭和54. 3. 31	500部
第6巻	昭和31年～昭和40年	10年間	昭和58. 3. 31	500部
第7巻	昭和41年～昭和50年	10年間	平成 6. 3. 31	500部
第8巻	昭和50年～昭和61年	12年間	平成29. 6. 30	450部
第9巻	昭和62年～平成11年	12年間	令和 3. 3. 18	470部
第10巻	平成11年～平成23年	12年間		

8 県議会の予算

令和5年度の熊本県議会予算は、1,636,807千円である。

円滑な議会運営を図るため、定例会や委員会の開催のほか、広報等の各種事務、会議録等の資料作成並びに庁舎の維持管理等を行う。



(単位:千円)

区分	議会費	事務局費	計
人件費	714,431	235,611	950,042
物件費	91,931	64,284	156,215
その他	182,541	348,009	530,550
計	988,903	647,904	1,636,807

9 歴代議会事務局長一覧

歴代	氏名	在任期間
1	西本一男	昭和 22. 7 ~ 昭和 28. 3
2	吉田安二	昭和 28. 5 ~ 昭和 29. 12
3	小林三善	昭和 30. 6 ~ 昭和 40. 6
4	宮川寿八	昭和 40. 8 ~ 昭和 45. 6
5	宇野多喜雄	昭和 45. 7 ~ 昭和 46. 7
6	田中徳之	昭和 46. 7 ~ 昭和 49. 7
7	松永徹	昭和 49. 7 ~ 昭和 52. 7
8	紫藤千海	昭和 52. 7 ~ 昭和 53. 7
9	川上和彦	昭和 53. 7 ~ 昭和 57. 6
10	高松光昌	昭和 57. 7 ~ 昭和 58. 6
11	衛藤成一郎	昭和 58. 7 ~ 昭和 60. 3
12	富田毅	昭和 60. 4 ~ 昭和 61. 3
13	大山清勝	昭和 61. 4 ~ 平成 元. 3
14	東瀬偉一	平成 元. 4 ~ 平成 2. 3
15	松見廣海	平成 2. 4 ~ 平成 4. 3
16	岩尾映二	平成 4. 4 ~ 平成 6. 3
17	国友英信	平成 6. 4 ~ 平成 8. 3
18	池田隆	平成 8. 4 ~ 平成 10. 3
19	吉本健一	平成 10. 4 ~ 平成 13. 3
20	長野孝治	平成 13. 4 ~ 平成 15. 3
21	永田明紘	平成 15. 4 ~ 平成 17. 3
22	新開忠邦	平成 17. 4 ~ 平成 20. 3
23	松山正明	平成 20. 4 ~ 平成 21. 3
24	井川正明	平成 21. 4 ~ 平成 24. 3
25	長野潤一	平成 24. 4 ~ 平成 26. 3
26	佐藤伸之	平成 26. 4 ~ 平成 28. 3
27	吉田勝也	平成 28. 4 ~ 平成 31. 3
28	吉永明彦	平成 31. 4 ~ 令和 3. 3
29	手島伸介	令和 3. 4 ~ 令和 5. 3
30	波村多門	令和 5. 4 ~ 現在

Ⅸ 議会棟の概要

所在地 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

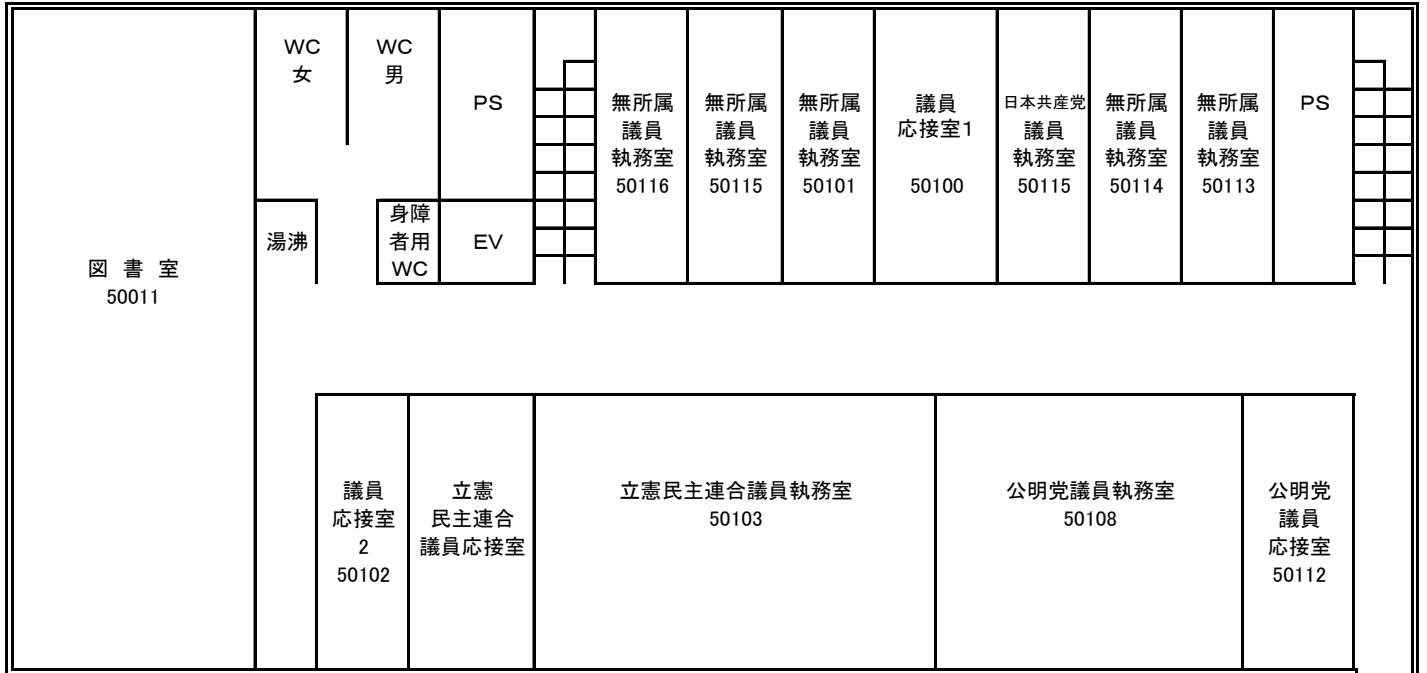
(1) 規模

区分	構造	建築面積	延床面積	着工日	竣工日
本館	地上3階	1,965㎡	5,077㎡	S40. 8. 7	S42. 2. 28
	地下1階	(595 坪)	(1,538 坪)		
別館	地上3階	966㎡	3,781㎡	S56. 12. 24	S57. 12. 28
	地下1階	(293 坪)	(1,146 坪)		
合計		2,931㎡ (888 坪)	8,858㎡ (2,684 坪)		

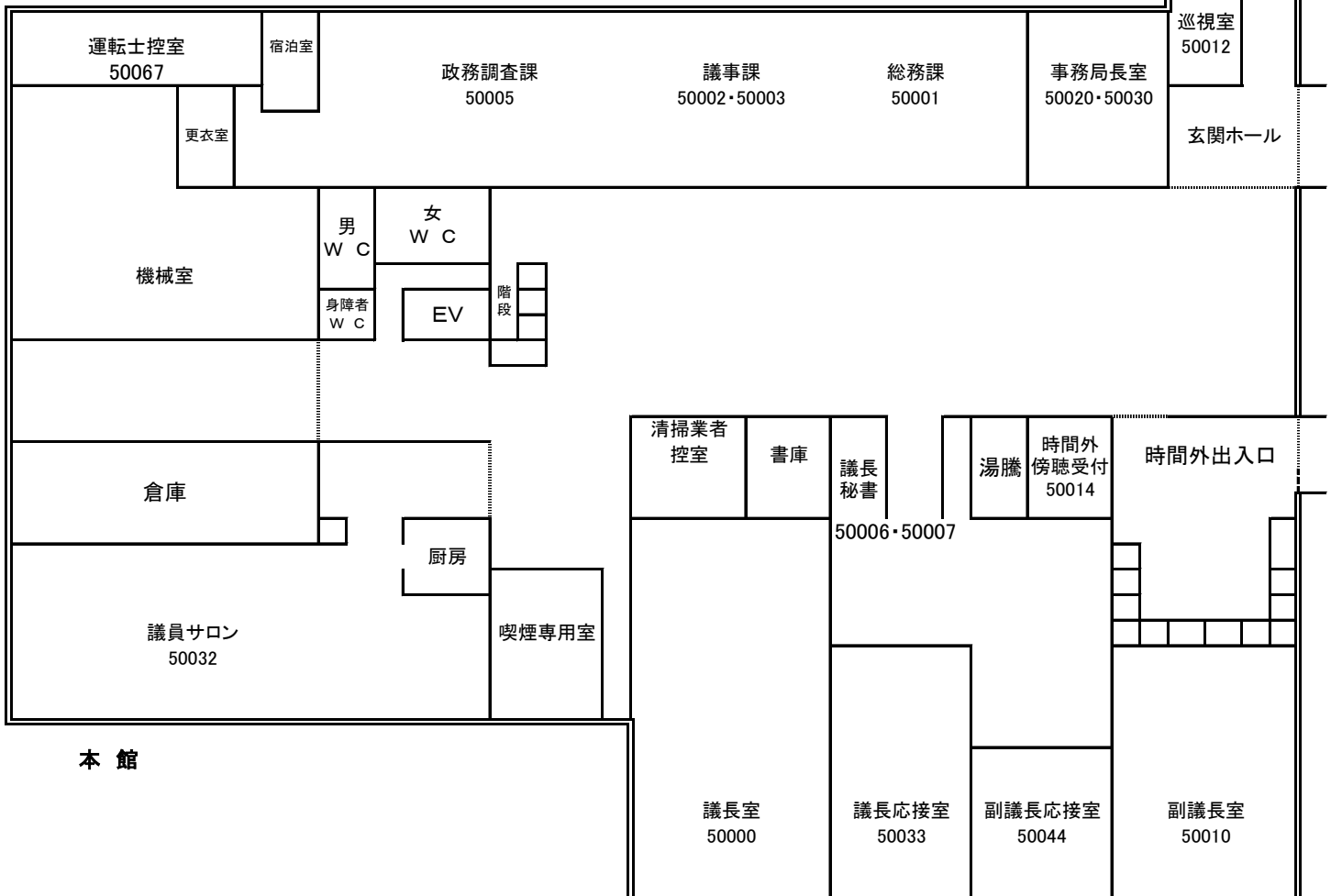
(2) 建築費

区分	建築費	備考
本館	28億8,713万円	行政棟建築費を含む。
別館	11億4,720万円	

1階平面図

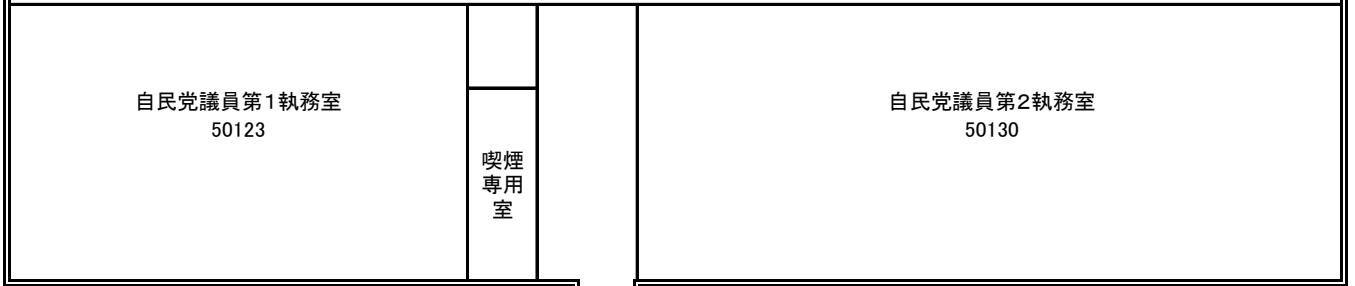
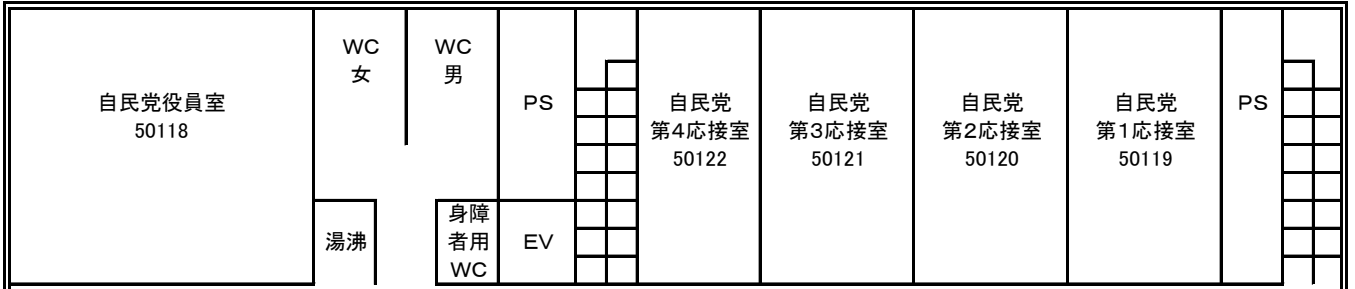


別館



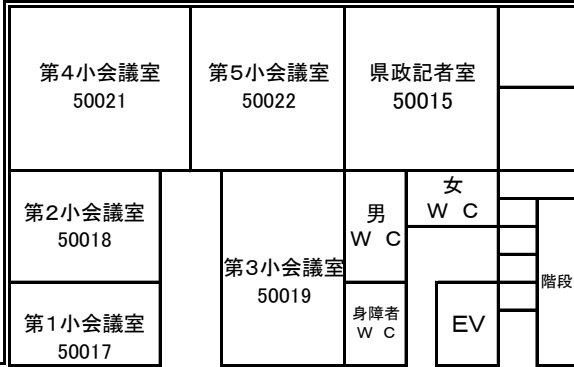
本館

2階平面図

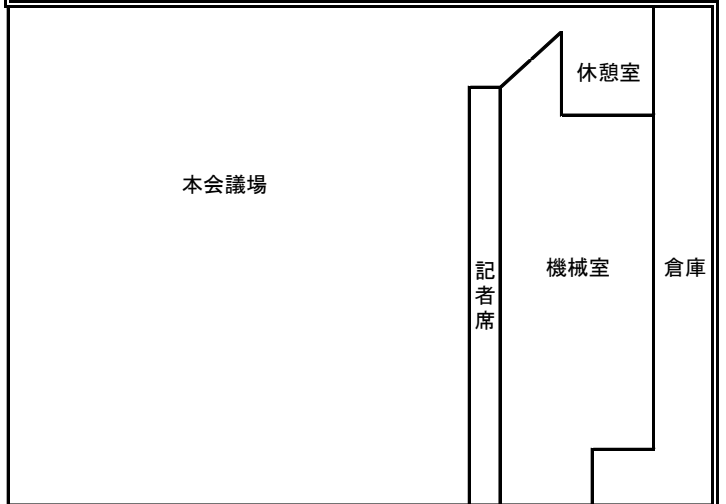


別館

2階平面図

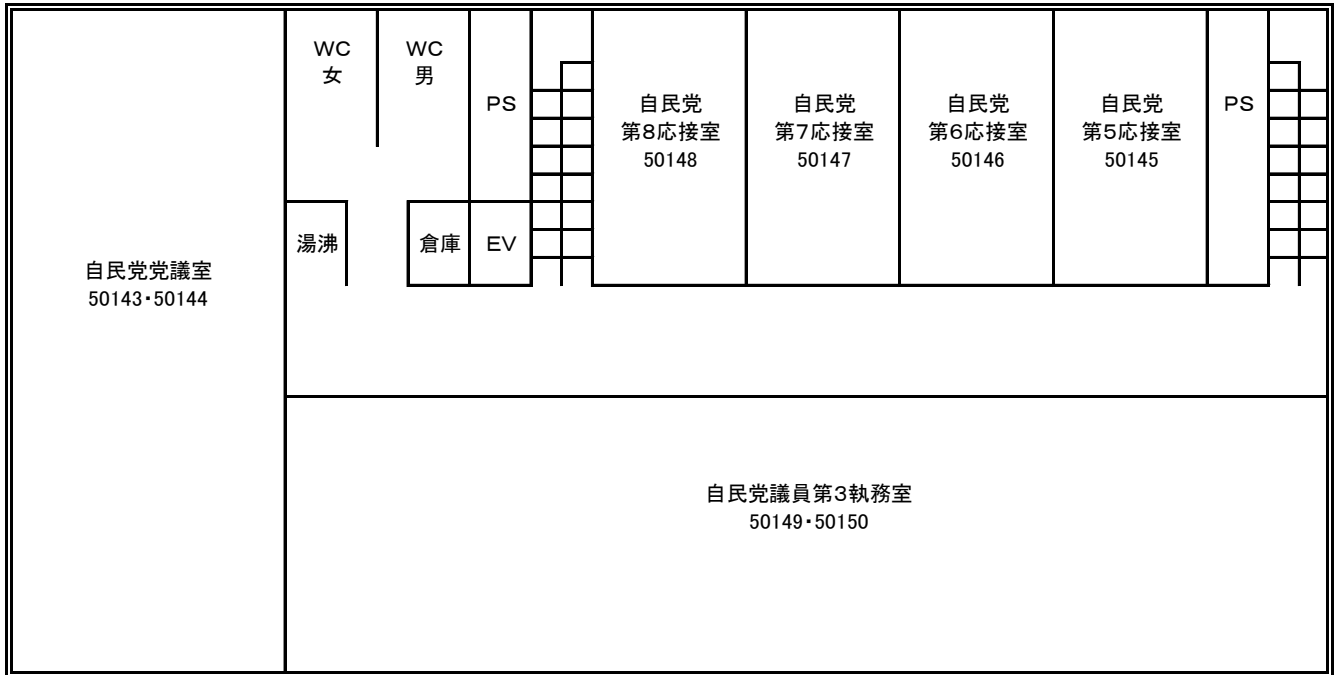


← 行政棟本館へ

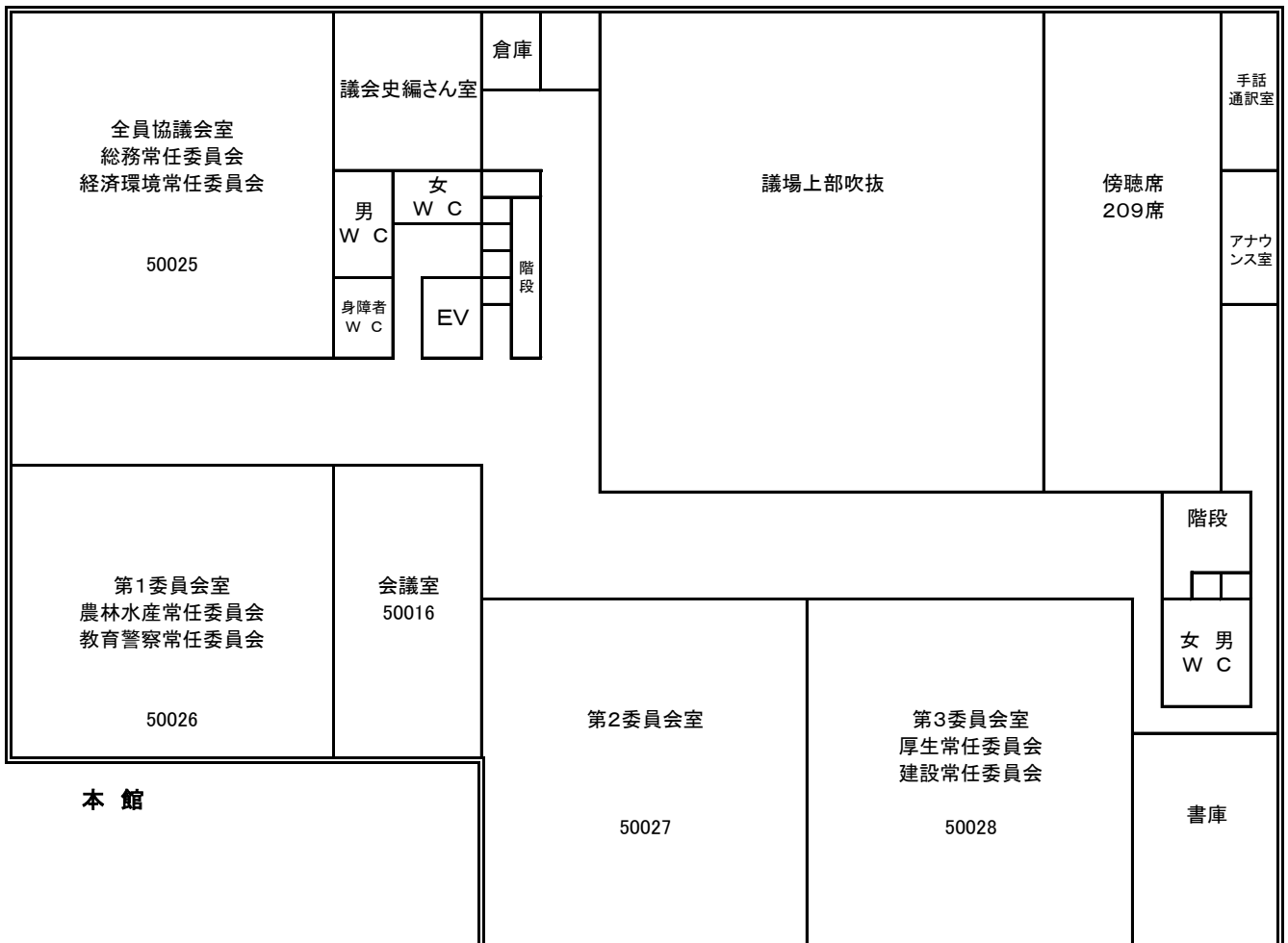


本館

3階平面図



別館



本館

付 録

1 熊本県の沿革

熊本県は九州山地や島々の存在など地形的にも変化に富んだ地域であり、県下各地の発掘により、かなり早い段階から人々が生活していた痕跡が認められる。

例えば、先土器時代に属する石飛遺跡^{いしとびいせき}ではナイフ形石器^{さいせきじん}や細石刃^{さいせきじん}が出土し、縄文時代では御領貝塚^{ごりょうかいづか}・阿高貝塚^{あだかかいづか}・曾畑貝塚^{そばたかいづか}などの膨大な貝の量と豊富な遺物、あるいは特徴ある土器の存在が知られ、他にも興味ある事例が数多く報告されており、遺跡の数も1,000ヶ所以上に上っている。また、弥生時代になると斉藤山遺跡^{さいとうやまいせき}から鉄斧^{かとうだひがしぼるいせき}、方保田東原遺跡からは家形土器を始め巴形銅器など貴重な遺物が次々に発掘され、全国の注目を集めている。

火の国（肥の国）の成立については、日本書紀や風土記に、八代郡において夜間に火が燃えている印象により火の国と記録されている。この八代郡には県下最大の野津古墳群^{のづ}があるが、県下各地にも多彩な古墳が見られる。中でも、菊池川流域の装飾古墳は様々な文様や彩色を施してあり貴重なものである。

古代の地方行政の中心となる国府は肥後国では益城郡に最初に置かれ、これが後に移動したとされておりこの国府を中心に律令体制のもと行政の運営がなされた。

平安中期になると、広大な土地が次第に貴族や寺社等の有力者によって集約され、肥後国各地にも荘園が成立した。南北朝時代・戦国時代になると、肥後国には他国より守護大名や戦国大名が侵入し、草刈り場となった。やがて、九州を制覇した豊臣秀吉は佐々成政に肥後国を与えたが、在地の土豪による国衆一揆が起りその結果、在地の土豪勢力が一掃されて新しい近世の時代を迎えた。

天正16（1588）年、加藤清正が県北9郡19万石を、小西行長は県南4郡14万石を、球磨は従来どおり相良氏が支配することとなった。天草は五人衆と呼ばれる在地豪族が支配したが、小西氏の管理下にあった。関ヶ原合戦で西軍に与した小西氏は敗れ、同氏の支配地は加藤氏へと替わったが、天草は天領となった。

寛永9（1632）年、加藤氏に替わって豊前国から入国した細川氏は、入国早々より検地^{じならし}の一種である地撫^{じならし}で生産力を把握し、行政制度を完備し、熊本藩を200年以上にわたって治めた。

明治新政府の成立により新しい政治体制が発足し、行政・財政など様々な分野で近代化がなされた。明治2年6月に版籍奉還で熊本藩・人吉藩が成立、明治4年7月には廃藩置県によって熊本藩は熊本県に、人吉藩は人吉県となった。同年11月には熊本県が二つに分かれ、人吉県がなくなり、熊本県と八代県が成立。明治5年には熊本県は白川県と改称、同6年八代県が白川県と併合、同9年白川県は再び熊本県と改められ、現在の区画が成立した。

戦後の混乱期より次第に日本全体の秩序が回復し、行政制度も一段と整備された。昭和28年9月に町村合併促進法が公布され、熊本県下では昭和25年10月段階で5市41町274村であったのが、昭和31年9月段階では9市37町71村の計117市町村となった。平成3年2月には熊本市と飽託4町が合併した。その後、平成11年8月の国の「市町村合併推進についての指針」を踏まえ、平成12年3月に熊本県合併推進要綱を策定してからは、県内各地域において市町村合併の気運が高まり、平成15年4月にあさぎり町が誕生、その後も合併は進み、平成22年3月の熊本市、城南町、植木町の合併後、同年4月現在、14市23町8村、合計45市町村の行政区画となっている。平成24年4月には、熊本市が全国20番目の政令指定都市となった。

2 全国からみた熊本県

項目	単位	熊本県	全国	順位	
○土地					
1 面積	km ²	7,409	377,974	15	R5 全国都道府県市区町村別面積調
○人口及び世帯数					
2 人口	千人	1,718	124,947	23	R4 人口推計
3 人口密度	人/km ²	232	331	—	項目 1, 2 により算出
4 老年人口割合	%	32.1	29.0	23	R4 人口推計
5 出生率	人口千対	7.0	6.3	5	R4 人口動態統計月報年計
6 死亡率	人口千対	14.4	12.9	21	〃
7 世帯数	千世帯	730	55,830	—	R4 熊本県推計人口調査、R2 国勢調査
○県民所得					
8 県内総生産	十億円	6,105	537,562	—	R2 県民（国民）経済計算年報
9 県民所得	十億円	4,342	375,389	—	〃
10 一人当たり県民所得	千円	2,498	2,975	—	〃
○農業					
11 農家数	千戸	47	1,735	14	2020 農林業センサス
うち販売農家	千戸	32	1,021	8	〃
12 基幹的農業従事者数	千人	52	1,363	4	〃
13 経営耕地面積	千ha	66	2,725	12	〃
うち販売農家	千ha	63	2,599	12	〃
○林業					
14 国産材素材生産量	千m ³	1,013	21,847	6	R3 木材需給報告書
○水産業					
15 海面漁業漁獲量	100t	118	31,937	31	R3 漁業・養殖業生産統計
16 内水面漁業漁獲量	t	33	18,904	26	〃

項 目	単位	熊本県	全 国	順位	
○工 業					
17 製造業事業所数 (4人以上の事業所)	事業所	1,866	176,858	30	R3 経済センサス
18 製造品出荷額等 (4人以上の事業所)	億円	28,195	3,020,032	29	〃
○商 業					
19 卸売小売業従業者数	千人	142	11,397	22	〃
20 年間商品販売額	億円	42,918	5,398,139	22	〃
○交 通					
21 一般道路実延長	Km	26,110	1,220,138	18	道路統計年報 (R3年3月末)
22 一般道路舗装率	%	26.7	28.1	—	〃
○上下水道					
23 水道普及率	%	89.2	98.2	47	厚生労働省 (R4年3月末)
24 下水道処理人口普及率	%	70.1	80.6	24	国土交通省 (R4年3月末)
○教 育					
25 高校等への進学率	%	99.1	98.8	12	学校基本調査 (R4.5.1)
26 大学等への進学率	%	47.9	59.5	41	〃

※順位は数値の大きい方から

3 歴代知事一覧

歴代	氏名	就任年月
1	安岡良亮	明6. 5
2	富岡敬明	〃 9. 11
3	松平正直	〃 24. 1
4	大浦兼武	〃 29. 12
5	徳久恒範	〃 31. 7
6	江木千之	〃 36. 6
7	押川則吉	〃 40. 1
8	川路利恭	〃 41. 7
9	宗像政	〃 45. 3
10	上山満之進	大1. 12
11	赤星典太	〃 2. 6
12	川上親晴	〃 3. 4
13	太田政弘	〃 5. 10
14	川口彦治	〃 8. 4
15	中山佐之助	〃 10. 5
16	岡田忠彦	〃 11. 10
17	田中千里	〃 12. 10
18	中川健蔵	〃 13. 6
19	佐竹義文	〃 14. 9
20	岡正雄	〃 15. 9
21	斉藤宗宣	昭2. 5
22	大森吉五郎	〃 4. 7
23	本山文平	〃 5. 7
24	山下兼一	〃 6. 12
25	鈴木敬一	〃 7. 6
26	関屋延之助	〃 10. 1
27	藤岡長和	〃 11. 4
28	近藤駿介	〃 14. 4

歴代	氏名	就任年月
29	雪沢千代治	昭15. 4
30	横溝光暉	〃 17. 7
31	曾我梶松	〃 19. 8
32	平井章	〃 20. 10
33	永井浩	〃 21. 1
34	桜井三郎	〃 21. 7
35	鈴木直人	〃 22. 3
36	桜井三郎	〃 22. 4
37	桜井三郎	〃 26. 5
38	桜井三郎	〃 30. 2
39	寺本広作	〃 34. 2
40	寺本広作	〃 38. 2
41	寺本広作	〃 42. 2
42	沢田一精	〃 46. 2
43	沢田一精	〃 50. 2
44	沢田一精	〃 54. 2
45	細川護熙	〃 58. 2
46	細川護熙	〃 62. 2
47	福島譲二	平3. 2
48	福島譲二	〃 7. 2
49	福島譲二	〃 11. 2
50	潮谷義子	〃 12. 4
51	潮谷義子	〃 16. 4
52	蒲島郁夫	〃 20. 4
53	蒲島郁夫	〃 24. 4
54	蒲島郁夫	〃 28. 4
55	蒲島郁夫	令2. 4

4 議員報酬、二(三)役給与改定状況一覧

(単位：千円、昭和42年以降)

区分 適用年月日		議長	副議長	議員	知事	副知事	出納長
		昭和	42. 10. 1	200	170	140	250
	44. 8. 1	240	210	170	310	240	210
	46. 8. 1	300	263	213	388	300	263
	48. 4. 1	390	340	280	500	390	340
	51. 1. 1	520	470	400	670	520	470
	53. 1. 1	600	540	470	770	600	540
	55. 1. 1	650	590	520	830	650	590
	57. 4. 1	710	640	570	900	710	640
	63. 4. 1	823	742	661	1,043	823	742
平成	元. 4. 1	842	759	676	1,067	842	759
	2. 4. 1	866	781	695	1,097	866	781
	3. 4. 1	896	808	719	1,135	896	808
	4. 4. 1	940	840	750	1,190	940	840
	5. 4. 1	980	870	780	1,240	980	870
	6. 4. 1	1,010	900	800	1,280	1,010	900
	7. 4. 1	1,030	920	820	1,310	1,030	920
	8. 4. 1	1,040	930	830	1,330	1,040	930
	9. 4. 1	1,050	940	840	1,340	1,050	940
	18. 4. 1	970	870	780	1,240	970	870
	20. 4. 1	970	870	780	1,240	970	—
	～ 現在						

*議員報酬については、平成13年4月から15年3月までの間、10%削減。平成15年8月から16年3月までの間、5%削減。平成21年4月から平成23年4月までの間及び平成23年8月から平成24年3月までの間、議長は7%削減、副議長は5%削減、議員は3%削減。平成25年8月から平成26年4月までの間、10%削減。

*三役給与については、平成13年1月から16年3月までの間、知事10%、副知事・出納長5%削減。平成16年7月から19年3月までの間、知事15%、副知事・出納長10%削減。平成20年1月から3月までの間、知事15%、出納長10%削減。平成20年1月から21年3月までの間、副知事10%削減。平成20年4月から21年3月までの間、知事100万円削減。平成21年4月から24年3月までの間、知事30%削減（但し、平成21年4月から22年3月までの間は50%削減）、副知事15%削減（但し、平成21年4月に限り25%削減）。平成24年4月から26年3月までの間、知事30%削減。平成25年7月から平成26年3月までの間、知事30%、副知事20%、教育長等10%削減。令和2年5月から令和3年4月までの間、知事30%、副知事20%削減。

5 県職員定数

(令和5年4月1日現在)

部 局 名		定 数
知 事 部 局		5, 8 6 7 (人)
議 会 事 務 局		4 0
選 挙 管 理 委 員 会		2
監 査 委 員 事 務 局		1 9
教 育 委 員 会 事 務 局		3 3 8
労 働 委 員 会 事 務 局		1 3
海 区 漁 業 調 整 委 員 会		5
人 事 委 員 会 事 務 局		2 0
公 立 学 校		1 6, 7 6 4
企 業 局		1 5 0
病 院 局		1 2 4
小 計		2 3, 3 4 2
警 察	警 察 官	3, 1 0 7
	そ の 他 の 職 員	4 2 1
	小 計	3, 5 2 8
合 計		2 6, 8 7 0

6 県関係国会議員

(令和5年8月1日現在)

(1) 衆議院議員 (衆議院 03 - 3581 - 5111)

選挙区	党派別	当選回数	氏名	住所
1区	自民	5	木原 稔	〒100-8982 千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館
2区	自民	1	西野 太亮	〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館
3区	自民	7	坂本 哲志	〒100-8982 千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館
4区	自民	8	金子 恭之	〒100-8982 千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館
比例九州区	公明	3	吉田 宣弘	〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館

*議員定数 465 名 (小選挙区 289 名、比例代表 176 名)

(2) 参議院議員 (参議院 03 - 3581 - 3111)

選挙区	党派別	当選回数	氏名	住所
熊本選挙区	自民	4	松村 祥史	〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館
	自民	2	馬場 成志	〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館
比例代表区	自民	2	藤木 眞也	〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館
	自民	2	進藤 金日子	〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館
	自民	1	宮崎 雅夫	〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館
	自民	1	本田 顕子	〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館
	維新	1	松野 明美	〒100-8962 千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館

*議員定数 248 名 (選挙区 148 名、比例代表 100 名)

議 員 会 館				熊 本 事 務 所	
館別	室番	電話番号	F A X	電話番号	住 所
衆 2	1116	3508-7450	3508-3970	273-6833	〒862-0976 熊本市中央区九品寺 2-8-17-1F
衆 1	913	3508-7144	3508-3634	355-5008	〒861-4101 熊本市南区近見 7-5-40
衆 2	702	3508-7034	3508-3834	293-7990	〒869-1235 菊池郡大津町室 122-4
衆 2	410	3508-7410	3504-8776	0965- 39-8366	〒866-0814 八代市東片町 463-1
衆 1	1114	3508-7276	3508-3726	285-3685	〒862-0910 熊本市東区健軍本町 26-10-2F-A

議 員 会 館				熊 本 事 務 所	
館別	室番	電話番号	F A X	電話番号	住 所
参	1023	6550-1023	6551-1023	384-4423	〒862-0950 熊本市中央区水前寺 6-41-5-101
参	1016	6550-1016	6551-1016	388-8855	〒861-8045 熊本市東区小山 6-2-20
参	1006	6550-1006	6551-1006	282-8856	〒861-3101 上益城郡嘉島町鯉 2792
参	719	6550-0719	6551-0719		
参	610	6550-0610	6551-0610		
参	1001	6550-1001	6551-1001	325-4470	〒860-0072 熊本市西区花園 7-12-16
参	912	6550-0912	6551-0912	272-1534	〒861-0141 熊本市北区植木町投刀塚 101

特 別 職 一 覧 表

7 特別職一覧

令和5年7月25日現在

(知事及び議会において選挙、選任同意若しくは任命同意がある特別職) ◎長 ○代理

職 名	任期 (年)	氏 名	常 勤 非常勤	就任年月日	満了年月日	期数	摘 要	
知 事	4	蒲 島 郁 夫	常 勤	R2. 4. 16	R6. 4. 15	4	R2. 3. 22 県知事選挙	
副 知 事	4	田 嶋 徹	常 勤	R2. 5. 14	R6. 5. 13	2	R2. 4 臨時会選任同意	
	4	木 村 敬	常 勤	R2. 10. 9	R6. 10. 8	1	R2. 9 定例会選任同意	
教 育 長	3	白 石 伸 一	常 勤	R4. 4. 25	R7. 4. 24	1	R4. 2 定例会任命同意	
教 育 委 員	4	木 之 内 均	非常勤	R3. 10. 9	R7. 10. 8	3	R3. 9 //	
	4	田 浦 かおり	//	R元. 10. 15	R5. 10. 14	1	R元. 9 //	
	4	田 口 浩 継	//	R2. 10. 8	R6. 10. 7	1	R2. 9 //	
	4	西 山 忠 彦	//	R2. 12. 26	R6. 12. 25	1	R2. 11 //	
	4	三 渕 浩	//	R4. 10. 10	R8. 10. 9	1	R4. 9 //	
選 挙 管 理 委 員	4	◎松 永 榮 治	非常勤	R2. 12. 25	R6. 12. 24	3	R2. 11 定例会選挙	
	4	池 田 廣	//	//	//	1	// //	
	4	坂 口 眞 理	//	//	//	2	// //	
	4	○小 嶋 一 誠	//	//	//	1	// //	
	補 充 員	4	猿 渡 健 司	/	//	//	3	// //
		4	高 島 剛 一	/	//	//	2	// //
		4	木 庭 順 子	/	//	//	2	// //
		4	村 山 栄 一	/	//	//	1	// //
人 事 委 員	4	◎出 田 孝 一	非常勤	R5. 7. 8	R9. 7. 7	3	R5. 6 定例会選任同意	
	4	永 田 佳 子	//	R3. 8. 1	R7. 7. 31	2	R3. 6 //	
	4	○豊 田 祐 一	//	R4. 7. 27	R8. 7. 26	1	R4. 6 //	
監 査 委 員	4	◎藤 井 一 恵	常 勤	R3. 9. 26	R7. 9. 25	1	R3. 9 定例会選任同意	
	4	竹 中 潮	非常勤	R4. 4. 1	R8. 3. 31	3	R4. 2 定例会選任同意	
	議 員 選 任	一	緒 方 勇 二	//	R5. 5. 11	議員の任期	1	R5. 5 臨時会選任同意
		一	橋 口 海 平	//	R5. 5. 11	議員の任期	1	R5. 5 臨時会選任同意
公 安 委 員	3	◎宮 尾 千 加 子	非常勤	R3. 7. 31	R6. 7. 30	1	R3. 6 定例会任命同意	
	3	○吉 田 賢 一	//	R4. 10. 8	R7. 10. 7	1	R4. 9 //	
	3	小 野 長 門	//	R5. 7. 2	R8. 7. 1	3	R5. 6 //	
	3	廣 塚 昌 子	//	R3. 7. 1	R6. 6. 30	1	熊本市議会 R3. 6 定例会任命同意(市推薦)	
	3	甲 斐 隆 博	//	R5. 7. 1	R8. 6. 30	2	熊本市議会 R5. 6 定例会任命同意(市推薦)	

令和5年7月25日現在

職名	任期(年)	氏名	常勤 非常勤	就任年月日	満了年月日	期数	摘要
収用委員	3	◎宮田 房之	非常勤	R5. 7. 2	R8. 7. 1	4	R5. 6 定例会任命同意
	3	○山野 史寛	〃	R4. 8. 1	R7. 7. 31	1	R4. 6 〃
	3	林 美貴	〃	〃	〃	2	R4. 6 〃
	3	梅澤 彩	〃	〃	〃	2	〃 〃
	3	伊牟田 徹	〃	R4. 10. 8	R7. 10. 7	2	R4. 9 〃
	3	宮崎 貴美子	〃	R5. 7. 2	R8. 7. 1	2	R5. 6 〃
	3	佐藤 伸之	〃	R2. 12. 22	R5. 12. 21	1	R2. 11 〃
	予備委員	3	福山 武彦		R3. 3. 24	R6. 3. 23	1
〃	3	谷口 規子		R4. 10. 6	R7. 10. 5	2	R4. 9 〃
公害審査委員	3	野口 寛康	非常勤	R5. 1. 10	R8. 1. 9	1	R4. 12 定例会任命同意
	3	川口 恵子	〃	〃	〃	3	〃 〃
	3	山下 雅裕美	〃	〃	〃	3	〃 〃
	3	牛島 智子	〃	〃	〃	1	〃 〃
	3	宮崎 隆一	〃	〃	〃	1	〃 〃
	3	川井 敬二	〃	〃	〃	1	〃 〃
	3	井上 陽介	〃	〃	〃	2	〃 〃
	3	福西 武夫	〃	〃	〃	2	〃 〃
	3	飯野 直子	〃	〃	〃	2	〃 〃
土地利用審査 会委員	3	◎渡辺 絵美	非常勤	R4. 12. 24	R7. 12. 23	3	R4. 12 定例会任命同意
	3	○塩本 一丸	〃	〃	〃	1	〃 〃
	3	皆川 朋子	〃	〃	〃	2	〃 〃
	3	村上 希理子	〃	〃	〃	3	〃 〃
	3	山下 浩次	〃	〃	〃	1	〃 〃
	3	陶山 えつ子	〃	〃	〃	2	〃 〃
	3	佐藤 加寿子	〃	〃	〃	1	〃 〃
有明海自動車 航送船組合 議会議員	2	内野 幸喜	非常勤	R5. 5. 11	R7. 5. 10	8	R5. 5 臨時会選挙
	2	岩田 智子	〃	〃	〃	1	〃 〃
	2	竹崎 和虎	〃	〃	〃	2	〃 〃
	2	坂梨 剛昭	〃	〃	〃	1	〃 〃

令和5年7月25日現在

職名	任期(年)	氏名	常勤 非常勤	就任年月日	満了年月日	期数	摘要
熊本県有明海区 漁業調整委員 (漁業法第138条 第1項)	4	◎橋本 孝	非常勤	R3.4.1	R7.3.31	3	R3.2 定例会任命同意
	4	木山 義人	〃	〃	〃	2	〃 〃
	4	西川 幸一	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	浜口 多美雄	〃	〃	〃	2	〃 〃
	4	藤森 隆美	〃	〃	〃	2	〃 〃
	4	○吉本 勢治	〃	〃	〃	3	〃 〃
	4	小森田 智大	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	平山 泉	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	佐小田 眞智子	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	八塚 夏樹	〃	〃	〃	2	〃 〃
天草不知火海区 漁業調整委員 (漁業法第138条 第1項)	4	◎江口 幸男	非常勤	R3.4.1	R7.3.31	5	R3.2 定例会任命同意
	4	桑原 千知	〃	〃	〃	3	〃 〃
	4	佐々木 倫一	〃	〃	〃	2	〃 〃
	4	澤田 唯二	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	田代 龍也	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	友村 喜一	〃	〃	〃	2	〃 〃
	4	廣田 幸英	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	深川 英穂	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	○前田 和昭	〃	〃	〃	2	〃 〃
	4	一宮 睦雄	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	岸田 光代	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	平岡 政宏	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	田中 愛美	〃	〃	〃	1	〃 〃
	4	藤木 美才	〃	〃	〃	3	〃 〃
4	藤田 香織	〃	〃	〃	1	〃 〃	

部局別 令和5年度主要事業

※令和4年度2月補正（経済対策関連事業）含む

【知事公室】令和5年度主要事業

R5 予算額 18億24百万円
[R4 予算額 41億31百万円]

I 令和2年7月豪雨からの創造的復興

1 情報収集や人命救助など初動体制における災害対応力の強化

(危機管理防災課)

- ・防災情報通信基盤整備事業 31百万円
第3世代衛星通信システムの整備、振興局防災無線設備浸水対策
- ・市町村防災体制・災害対応力強化支援事業 1百万円
市町村職員の研修会等を通じて、市町村の防災対応力の強化を支援

2 地域・住民の防災力の強化 (危機管理防災課)

- ・実践的地域防災力強化事業 7百万円
地区防災計画策定や地区防災訓練の実施など自主防災組織の活動促進を支援
- ・自助力強化推進事業 7百万円
マイタイムラインの普及に取り組み、県民の自助力強化を推進

II 熊本地震からの創造的復興

1 熊本地震の経験を活かした災害対応力の強化・次世代への継承

(危機管理防災課)

- ・熊本地震デジタルアーカイブ事業 10百万円
熊本災害デジタルアーカイブサイトの運営等
- ・防災センター整備事業 13百万円
新防災センターへの移転費用等



新防災センター(県央広域本部・防災センター合築庁舎)概要

- ・構造等: 鉄筋コンクリート造免震構造: 地下1階、地上7階
- ・事業費: 99.4億円
- ・延べ面積: 9,970㎡

2 熊本地震の風化防止に係る広報 (広報グループ)

- ・復旧・復興広報強化事業 15百万円
熊本地震の風化防止や、創造的復興が進む熊本の様子、復興支援への感謝の気持ちを発信

III 新型コロナウイルス感染症への対応

1 新型コロナウイルス感染症に係る広報 (広報グループ)

- ・新型コロナウイルス関連広報事業 50百万円
経済回復と感染症拡大防止のベストバランスに向けたテレビスポットCMやSNS広告等による広報の実施



IV 将来に向けた地方創生の取組み

1 くまモンランド化構想の推進 (くまグループ)

- ・くまモンランド化推進事業 95百万円
熊本県全体がくまモンの魅力あふれる場所となることで、世界中からヒト・モノ・企業(ビジネスの活性化)が熊本に集まり、くまモンの世界観を楽しむことができる『くまモンランド』の構築を目指す。

2 半導体関連企業及び人材の集積に係る広報 (広報グループ)

- ・復旧・復興首都圏等広報強化事業等 45百万円
TSMCの熊本進出を契機に、台湾を含む国内外に向けて、熊本の認知度を高め、人材や企業の集積等につなげる広報

3 若年層を主なターゲットとした戦略的広報 (広報グループ)

- ・復旧・復興首都圏等広報強化事業の一部 28百万円
首都圏をはじめ全国の若年層を中心に熊本の認知度向上を図るため、デジタルプロモーションアドバイザーを活用した戦略的なSNS広告等を実施

4 防災体制・防災教育の充実・強化 (危機管理防災課)

- ・防災DX推進事業(新) 5百万円
防災ドローンを活用した新たな被害情報収集手段の構築
- ・防災センター展示・学習室運営事業(新) 16百万円
災害の教訓や防災対応ノウハウの発信、地域防災の担い手育成
- ・九州広域防災拠点構想推進事業(拡) 17百万円
南海トラフ地震想定訓練や広域支援部隊活動拠点の環境整備を実施

【総務部】令和5年度主要事業

R5予算額 2,340億9百万円
[R4予算額 2,273億75百万円]

R4.2補(経済対策分) 5億82百万円

I 熊本地震からの創造的復興

1 被災市町村の復旧・復興支援

- 平成28年熊本地震復興基金交付金(市町村課) 11億32百万円
被災した市町村を支援するための交付金

2 県施設等の復旧

- 県庁舎等施設災害復旧費(財産経営課) 59百万円
駐輪場新設工事、防災センター完成式典に要する経費



II 令和2年7月豪雨からの創造的復興

1 被災生徒等への支援

- 高等学校等通学支援事業(私学振興課) 7百万円
肥薩線を利用して通学する私立学校生徒への通学支援

III 新型コロナウイルス感染症への対応

1 感染症に係る私立学校・生徒への支援

- 新型コロナ私立高等学校専攻科授業料減免補助(私学振興課) **2月補正** 82百万円
就学の継続が困難となっている私立高等学校専攻科生徒への支援
- 私立学校ICT教育環境整備推進事業(私学振興課) 15百万円
私立学校のICT教育環境整備への支援

IV 将来に向けた地方創生の取組み

1 働き方改革の推進

- DXによる行政文書管理の効率化事業(県政情報文書課) 21百万円
文書の電子媒体変換業務委託及びコミュニケーションツール利用検討
- 人事給与システム等再構築事業(人事課) 40百万円
次期人事給与システム等再構築計画の策定、調達支援
- 健康管理システム構築事業(総務厚生課) 18百万円
健康管理システム導入に係る業務委託

2 市町村が提供する行政サービスの維持・強化支援

- 市町村行政サービス維持向上支援交付金(市町村課) 15百万円
地方行政のデジタル化の推進や市町村間の広域連携等への支援

3 教育環境の国際化に対する支援

- 国際教育支援事業(私学振興課) 1億47百万円
半導体関連工場の進出による関係生徒受入れに伴う環境整備に
取り組む私立学校等への支援

4 消防力強化の推進

- 消防体制強化推進事業(消防保安課) 4百万円
消防指令共同化を推進するための財政支援
- 消防学校教育訓練機能強化事業(消防保安課) 7億3百万円
主訓練塔及び補助訓練塔の建設に要する費用

【企画振興部】令和5年度主要事業

R5予算額 138億3百万円
[R4予算額 96億3百万円]

- 熊本地震及び豪雨災害からの創造的復興、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先に取り組む
- 「新しいくまもと創造に向けた基本方針」に基づき、将来の熊本の発展につなげるための取組みを行う

I 令和2年7月豪雨からの創造的復興

① 緑の流域治水の推進

- ・ 「緑の流域治水」の見える化・周知広報等（勉強会の実施等）
59百万円

② 球磨川流域復興基金を活用した市町村への支援

- ・ 球磨川流域復興基金交付金
12億57百万円


③ 五木村の振興

- ・ 五木村振興基金積立金
6億1百万円
- ・ 五木村振興交付金交付事業
10億円

④ 被災者の住まいの再建への支援

- ・ 被災住宅移転促進宅地整備受託事業
5億8百万円

⑤ くま川鉄道の早期復旧

- ・ くま川鉄道災害復旧支援事業  5億53百万円

⑥ 豪雨からの復興に向けた地域づくりの取組みへの支援

- ・ 地域づくり夢チャレンジ推進補助金
・ スクラムチャレンジ推進補助金 } 40百万円

II 熊本地震からの創造的復興


① 阿蘇くまもと空港のコンセッション導入効果の最大化、空港アクセス改善

- ・ 阿蘇くまもと空港創造的復興推進事業
36百万円
- ・ 阿蘇くまもと空港アクセス鉄道整備調査検討事業
2億61百万円



III 新型コロナウイルス感染症への対応

① 県庁の働き方改革

- ・ ICTを活用した働き方改革等推進事業  62百万円

IV その他基本方針に沿った取組み

① 地方創生の推進

- ・ S D G s 推進事業



25百万円

② 移住定住の促進

移住

- ・ 仮想空間の活用可能性調査事業（新）
- ・ 高校卒業生に向けた情報発信事業（新）
- ・ くまもと暮らしお試し移住応援事業（拡）
- ・ 「すまい」「課題解決」等支援事業（拡）



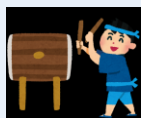
4百万円
9百万円
14百万円
46百万円

③ 水俣・芦北地域の振興

- ・ 「環境首都」水俣・芦北地域創造事業 3億21百万円
- ・ 水俣・芦北地域重点施策課題解決推進事業（拡） 1億68百万円

④ 地域の伝統文化の継承支援

- ・ 伝統文化等継承対策事業



6百万円

⑤ 阿蘇の世界文化遺産登録の推進

- ・ 世界文化遺産登録推進事業のうち「阿蘇」の世界文化遺産登録推進（拡） 89百万円
- ・ 持続可能な草原維持システム構築推進事業（拡） 25百万円



⑥ 離島振興

- ・ 御所浦地域活性化推進事業
- ・ 御所浦航路振興事業
- ・ 湯島活性化推進事業
- ・ 湯島航路振興事業



17百万円
1億14百万円
2百万円
5百万円

⑦ 空港機能の強化に向けた取組み

- ・ 阿蘇くまもと空港国際線振興対策事業 3億63百万円
- ・ 阿蘇くまもと空港国内線対策事業 26百万円



⑧ 交通ネットワークの強化に向けた取組み

- ・ 菊池南部地域交通渋滞対策事業（新） 31百万円

⑨ 産学行政のDX推進プロジェクト

DX

- ・ データ連携基盤構築等推進事業（新） 66百万円
- ・ くまもとDXグランドデザイン推進事業（拡） 74百万円



⑩ 庁内の業務プロセス改革

DX

- ・ I C Tを活用した働き方改革等推進事業（拡） 31百万円



【健康福祉部】令和5年度主要事業

R5 予算額 2,322億54百万円 R4.2補(経済対策分) 41億25百万円
[R4予算額 2,280億78百万円]

- 新型コロナ対策については、感染拡大防止と社会経済活動の両立を目指して、保健・医療提供体制の整備を進めていく
- 市町村と連携した子ども・子育て施策を強力に進めるとともに、先を見据えた医療・福祉基盤の整備と、「地域共生社会」の実現に向けた取組みを加速化する

I. 令和2年7月豪雨からの創造的復興

- ▶ 仮設住宅等に入居する被災者を訪問し、生活や住まいの再建を伴走型で支援するとともに、引き続き心のケアにも取り組む
- ▶ 球磨村唯一の特別養護老人ホーム千寿園の施設の復旧を支援

1 住まいの再建・被災者への支援

- 住まいの再建支援 4億76百万円
 - ▶ 被災者の住まいの再建方法に応じた県独自の支援策を実施
- 地域支え合いセンターによる被災者の見守り 36百万円
 - ▶ 被災者の生活再建に寄り添うため、見守り活動や総合相談受付等に取り組む
地域支え合いセンター（被災市町村7か所に設置）の活動を支援
- 被災者の心のケア 5百万円
 - ▶ 被災者の心のケアのため、専門職による相談対応、市町村支援



(球磨村仮設団地)



(地域支え合いセンターの訪問)

2 豪雨被害からの復旧

- 特別養護老人ホーム千寿園の復旧支援 71百万円
 - ▶ 被災した特別養護老人ホーム千寿園の復旧に係る費用を支援

II. 熊本地震からの復興

- ▶ これまで99.9%の方が住まいの再建を果たされており、引き続き最後のお一人が住まいの再建を成し遂げられるまで寄り添って支援

1 住まいの再建

- 住まいの再建支援 91百万円
 - ▶ 被災者の住まいの再建方法に応じた県独自の支援策を実施

III. 新型コロナウイルス感染症への対応

- ▶ 感染拡大にも十分対応できる検査体制、医療提供体制を確保・充実させるとともに、保健所機能の強化を図る
- ▶ 市町村が進めるワクチン接種が迅速かつ円滑に進められるよう支援

1 検査体制・医療提供体制等の整備

- 積極的かつ迅速に検査を実施できる体制の整備 74億57百万円
 - ▶ 感染拡大に備えて診療・検査体制を強化するとともに、感染拡大時に感染に不安を感じる県民を対象とした無料PCR等検査体制を整備
 - 県民の命を守る医療提供体制の確保 486億91百万円
 - ▶ 県民の命を守ることを第一に適切な医療資源を提供するため、入院病床と宿泊療養施設を確保するとともに、入院受入医療機関の設備整備を支援
 - 感染拡大に対応するための保健所の体制確保 34億27百万円
 - ▶ 保健所が感染拡大に対応するため、業務支援を行う人材を確保する他、発熱患者への電話相談体制や自宅療養者へのフォローアップ体制を整備
- ※令和4年度予算からの一体的な対応として、入所施設等の集中的検査の実施や医療支援・業務継続支援チームを派遣



(コロナ検査研修)



(人工呼吸器)



(高齢者施設業務支援チーム)

2 円滑なワクチン接種の推進

- 新型コロナワクチン接種体制の整備 43億73百万円
 - ▶ 専門的相談窓口や大規模接種会場の設置・運営等により、市町村が進めるワクチン接種を支援



(ワクチン接種)



県民広域
接種センター

IV. 将来に向けた地方創生の取組み

- こども家庭庁設置による「こどもまんなか社会」の実現に向けた機運の高まりを捉え、市町村と連携し、子ども・子育て施策を強力に推進
- 団塊ジュニア世代が高齢者となり、生産年齢人口の急減が見込まれる2040年を見据え、医療・福祉分野の基盤を整備
- 急速な少子高齢化が進む中においても、地域で互いに支え合い、安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた取組みを加速化

1 「こどもまんなか」の実現に向けた子ども子育て施策の充実

○ 市町村と連携した子ども・子育て施策の充実

9億92百万円

- 市町村の子ども・子育て施策の充実・強化を図る環境を整えるため、子ども医療費助成に取り組む市町村への補助を拡充
- 悩みや不安を抱える子育て家庭等の支援のため、市町村が行う相談機関の整備・運営等の取組みを支援
- 子どもの居場所確保のため、市町村が行う子ども食堂等への助成を支援



○ 子どもを取り巻く課題の解決

3億3百万円

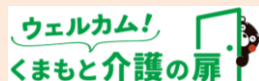
- 児童虐待の未然防止・早期対応を図るため、市町村・児童家庭支援センター・児童相談所の三層による相談支援体制をさらに強化
- 措置された子ども等が安心して過ごせるよう、児童養護施設等の高機能化や多機能化、職員の資質向上のための研修を実施するほか、里親委託を推進

2 先を見据えた医療・福祉基盤の整備

○ 医療・介護人材の確保と勤務環境改善

14億71百万円

- 県民が安心して地域で生活できる医療・福祉基盤の整備のため、事業者等と連携した人材確保を進めるとともに、従事者の勤務環境改善をより一層推進



○ 在宅医療の充実

1億5百万円

- 県民の在宅での療養生活を支えるため、在宅医療サポートセンターを支援し、医療と介護の連携や専門職の人材育成等を推進
- 訪問看護提供体制の安定化等のため、県看護協会に訪問看護ステーション等を支援する機関を設置



○ 健康づくり・循環器病対策の推進

38百万円

- 県民の健康寿命の延伸のため、県民総参加で健康づくりを推進する「くまもとスマートライフプロジェクト」を引き続き展開
- 医療機関の循環器病に係る診療及び患者支援機能の強化を図るため、熊大に専門機関を設置



3 自助・共助・公助により支え合う地域共生社会の実現

○ 地域共生社会の実現

2億43百万円

- 地域住民が抱える複雑化・複合化した課題を属性を問わず包括的に支援できる体制を整える市町村を支援
- 地域の支え合いを推進するため、民生委員等の見守り活動や、誰もが集える居場所「地域の縁がわ」づくりを支援



○ 困難を抱える方への支援の拡充



3億32百万円

- ・ 自殺を予防するための相談体制の拡充
➢ 電話相談の対応時間を拡充
1億42百万円
- ・ 生活困窮者等の自立支援
➢ 貧困の連鎖を教育で断つため、子どもの学習支援の機会を拡充
1億45百万円
- ・ ひきこもり支援に向けた積極的なアプローチ
40百万円
➢ 家庭内でひきこもり問題を抱える方を相談支援に繋げるため、SNS等を活用して広報
- ・ 民間シェルターによるDV被害者支援の充実
5百万円
➢ DV被害者の実情やニーズに応じて、柔軟で機動的な活動を行う民間支援団体を支援

○ 動物愛護の推進

6億23百万円

- 殺処分ゼロを目指すため、猫の避妊去勢手術の補助や動物愛護の啓発、愛護団体等と連携した譲渡会を実施
- 県の動物愛護の拠点として、動物愛護教室や犬猫の譲渡を行う新動物愛護センターを整備（令和6年3月開所予定）



○ 移植医療の普及・推進

13百万円

- 臓器移植に対する理解と協力を得るための普及啓発を図るとともに、移植医療に係る体制を確保



○ 熊本県国民健康保険運営方針等の策定・推進

2百万円

- 「熊本県国民健康保険運営方針」及び「第4期医療費の見通しに関する計画」に基づく医療費適正化等の推進

【環境生活部】令和5年度主要事業

R5予算額 149億89百万円
[R4予算額 152億8百万円]

R4.2補（経済対策分）41百万円

- 環境や生活の視点から、県民の生活を守り、快適で安全安心な暮らしの実現に向けた施策を展開することにより、将来世代にわたり幸せを実現できる新たな熊本の創造を目指す

I 水俣病問題の解決

①医療・健康管理対応	86億58百万円
②保健・福祉の向上	1億73百万円
③地域の再生・融和の推進	32百万円
④認定審査の推進	1億59百万円

〔水俣病保健課、水俣病審査課〕

- ・認定審査を着実に進めるとともに、被害者への医療費の支給、患者の方々やそのご家族への日常生活支援及び情報・教訓の発信等に取り組む

II 令和2年7月豪雨からの創造的復興

①球磨川流域ゼロカーボン先進地創出事業〔環境立県推進課〕 36百万円

- ・家庭でのCO2削減を促進するため、球磨川流域をモデル地域に一定基準以上の断熱住宅リフォーム等に対する補助

②流水型ダム環境影響評価審査費〔環境保全課〕 4百万円

- ・川辺川で計画されている流水型ダムについて、「流水型ダムに係る環境影響評価審査会」を開催し、法と同等の審議を実施

③被災地域営水道等衛生確保支援事業〔環境保全課〕 1百万円

- ・豪雨災害で被災した地域営水道及び飲用井戸等について、復旧後の水質検査を順次実施



国立公園における国際化・老朽化対策等整備交付金事業

④九州自然歩道利用促進対策事業〔自然保護課〕 7百万円

- ・球磨川流域の豊かな自然、歴史文化を体感できる九州自然歩道の標識等の改修を実施

⑤国際化・老朽化対策等整備事業〔自然保護課〕 44百万円

- ・九州中央山地公園において、公園施設（市房山麓野営場）の再整備を行い、誘客を推進



III 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

①多重債務者等生活再生支援事業〔消費生活課〕 16百万円

②災害関連消費生活相談機能強化事業〔消費生活課〕 3百万円

- ・豪雨やコロナ禍で増加する多重債務を抱える県民からの相談や消費者トラブルに対応し、解決支援のため相談体制を強化



IV 熊本地震からの復旧・復興

阿蘇くじゅう国立公園の創造的復興

国立公園満喫プロジェクト推進事業〔自然保護課〕 1億54百万円

- ・阿蘇くじゅう国立公園における訪日外国人及び国内観光客の誘客、ウィズコロナ・ポストコロナ時代への対応を図るため、公園内の施設整備等を行い、受入環境の向上に取り組む

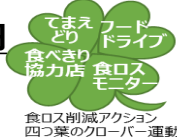
V 将来に向けた地方創生の取組み

1 ゼロカーボン社会・くまもとの実現



(1) 家庭分野の取組み推進

- ① **県民ゼロカーボン行動促進事業**〔環境立県推進課〕 **18百万円**
・「2050年県内CO₂排出実質ゼロ」実現のため、住まいのゼロカーボン化の推進、廃食油資源ごみ回収実証事業等
- ② **食品ロス削減推進事業**〔消費生活課〕 **10百万円**
・「県食品ロス削減推進計画」に沿って消費者教育や広報啓発を行い食品ロス発生抑制の県民運動の機運を醸成



(2) 産業分野の取組み推進

- ① **2050くまもとゼロカーボン推進事業**〔環境立県推進課〕 **2百万円**
(産業ゼロカーボン連携促進事業、計画書制度排出削減事業)
・企業間連携によるCO₂削減促進や中小企業への横展開、改正した事業活動計画書制度による事業者の省エネ設備への転換促進
- ② **高純度BDF普及啓発利用促進事業**〔循環社会推進課〕 **3百万円**
・重機等のリース事業者に高純度BDFの有効性・安全性を重点的にPRし、熊本発の高純度BDFの利用を促進
- ③ **リサイクル製品等利用促進事業**〔循環社会推進課〕 **35百万円**
・品質・安全性等を満たすリサイクル製品の認証及びリサイクル促進につながる施設整備の支援を実施



(3) 県の率先行動推進

- ① **2050くまもとゼロカーボン推進事業**〔環境立県推進課〕 **21百万円**
(県有施設への再エネ導入推進事業、地域脱炭素移行・再エネ促進事業等)
・球磨川流域の県有施設(八代・芦北・球磨局)への再エネ設備の導入(初期投資ゼロモデルを活用)
・県有施設の脱炭素化及び市町村支援
・公用車に電気自動車(EV)を導入するために必要な充電設備整備



4 移住定住

- くまもとの女性活躍促進事業**〔男女参画・協働推進課〕 **11百万円**

・女性活躍交流促進事業「ヒゴロッカサミット」の開催により、女性が生き生きと活躍できる熊本の魅力について語り合うとともに、女性が活躍できる熊本の魅力を県内外に発信し、若い女性の移住定住につなげる



2 熊本の豊かな自然環境の保全・活用

(1) 半導体関連企業の進出に伴う地下水保全対策の強化

- ① **熊本地域地下水保全協働推進事業**〔環境立県推進課〕 **16百万円**
・水田湛水期間延長・面積拡大等の推進
- ② **半導体関連企業の集積に伴う地下水保全対策事業**〔環境立県推進課〕 **83百万円**
・水環境のシミュレーションによる具体的対策や広域的影響の検討・検証
・早期に対策を検討できるように、地下水観測体制を強化



(2) 有明海・八代海の再生等

- ① **有明海・八代海再生推進連携事業**〔環境立県推進課〕 **13百万円**
・大学・漁協と連携した河川上流の砂礫を活用した干潟の底質改善効果の実証事業等

3 県民の生活を守り安全安心な暮らしの実現

交通安全

- ① **高齢運転者安全運転支援装置等設置推進事業**〔くまの安全推進課〕 **36百万円**
・事故等の抑止、安全意識向上を図るため、後付けの踏み間違い防止装置及びドライブレコーダーの導入支援
- ② **食品品質表示指導事業**〔くまの安全推進課〕 **14百万円**
・食品表示に係る制度等の周知・啓発、必要な調査・指導等の産地偽装根絶の取組みを継続し、新たな産地偽装を防止
- ③ **消費生活相談・啓発事業**〔消費生活課〕 **41百万円**
・国による「靈感商法等の悪質商法への対策検討会」等を踏まえ、相談体制の充実を図り消費者トラブルの解決に向けた支援を実施
- ④ **熊本県人権月間をはじめとする広報・啓発の推進等**〔人権司政策課〕 **47百万円**
・熊本県人権教育・啓発基本計画に沿って、人権課題についての広報・啓発や研修を推進



【商工労働部】令和5年度主要事業

R5予算額 719億1百万円
[R4予算額 810億9百万円]

R4.2補(経済対策分) 95億18百万円

- 県経済の安全保障を支える持続可能な事業推進体制の構築と、その強化につながる半導体関連産業の集積促進
- 熊本地震、令和2年7月豪雨災害からの創造的復興及び新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者の事業継続に向けた支援

1 熊本地震からの創造的復興

(1) 「くまもとの産業」の復興発信・人材の確保

- ・ 「くまもと産業復興エキスポ(仮称)」**[新]**【商工政策課】 50百万円
熊本地震からの復旧・復興の発信及び県内企業の認知度向上、県内就職率アップ等を目指すイベントの開催



(2) 被災事業者の復旧・復興に向けた支援

- ・ 中小企業等復旧・復興支援事業【商工振興金融課】 1億16百万円
益城町の土地区画整理事業の影響により、令和5年度の申請となる被災事業者への県単独事業による復旧支援

2 令和2年7月豪雨からの創造的復興

(1) 被災事業者のなりわい再建に向けた支援

- ① くまもと型小規模事業者経営発展支援事業【商工振興金融課】 1億円
被災事業者の本格的な経営再建のため、販路拡大や生産性向上等の取組みを支援

<R4.2補>

- ② なりわい再建支援事業【商工振興金融課】 90億73百万円
公共工事の影響等により、令和5年度の申請となる被災事業者に対する復旧支援

3 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 中小事業者の事業継続等への支援

- ① 飲食店の感染防止対策に係る認証事業【商工政策課】 22百万円
感染防止のための県内統一基準による認証制度の継続
- ② 新型コロナ対応雇用維持・確保支援事業【労働雇用創生課】 46百万円
採用力向上(女性等人材確保)のための企業への伴走型支援
- ③ 事業継承マッチング応援事業**[新]**【商工振興金融課】 5百万円
商工会等が実施する市町村と連携した事業承継促進に係る取組みへの支援
- ④ 商店街多様化推進事業**[新]**【商工振興金融課】 10百万円
商店街自らが特色を活かし、地域や住民のニーズに応える多様性のある商店街に進化させていく取組みへの支援

<R4.2補>

- ⑤ まちなかにぎわい回復支援事業【商工振興金融課】 3億45百万円
商店街組織等による、まちなかのぎわい回復に資するイベント等への支援

(2) 原油価格・物価高騰等の影響を受ける事業者への支援

<R4.2補>

- ① 中小企業DX推進事業補助金**[新]**【産業支援課】 1億円
物価高騰等の影響を受ける中小企業のデジタル化に係る機器整備を支援
<令和4年度繰越予算>
- ② 中小企業者価格転嫁推進事業【商工振興金融課】 58百万円
価格転嫁しやすい環境整備のための専門家派遣や広報に係る取組みを支援



【商工労働部】令和5年度主要事業

4 その他基本方針に沿った取組み

(1) TSMC進出効果の最大化に向けた取組み

- ① 半導体サプライチェーン構築加速化事業【企業立地課】 40百万円
半導体関連企業の集積を加速化させるためのセミナーやPRの強化
- ② 工業団地施設整備事業【企業立地課】 24億97百万円
大規模製造業等誘致の受け皿となる工業団地の新規整備

(2) UXプロジェクトの推進

- ・ 熊本空港周辺地域における産業振興創出事業【産業支援課】 1億30百万円
空港周辺地域を拠点に、ライフサイエンス分野を中心とした新たな産業の創出を目指す「UXプロジェクト」の推進



(3) 県内企業におけるDXの推進

- ・ 第4次産業革命推進事業【産業支援課】 72百万円
県内企業の人手不足解消に向けたDXによる生産性向上の推進

(4) ゼロカーボン社会・くまもとの構築

- ① 地域共生型再エネ導入推進事業【エネルギー政策課】 67百万円
風力発電の立地に係るゾーニングの実施
- ② RE100電力供給・利用促進事業【エネルギー政策課】 3百万円
「再エネ100宣言RE Action」取得検討企業向け勉強会やアドバイザー派遣の実施

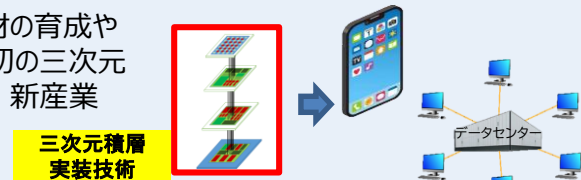


(5) 半導体産業の人材確保・育成強化

- ① 熊本県半導体人材育成会議等活動事業【新】【労働雇用創性課】 9百万円
県半導体人材育成会議を中心とした人材育成の実施
- ② 技術短期大学校新学科整備推進事業【新】【労働雇用創性課】 18百万円
「半導体学科」の新設に向けた施設整備
- ③ 第4次産業革命推進事業【産業支援課】 72百万円（再掲）
県内企業の人手不足解消に向けたDXによる生産性向上の推進

(6) 半導体産業の技術力向上及び新たな産業創出

- ① くまもと半導体産業推進ビジョン推進事業【新】【産業支援課】 3百万円
「くまもと半導体産業推進ビジョン」の進捗管理及び国際連携の推進
- ② 半導体産学官連携推進事業【新】【産業支援課】 6億95百万円
大学等と連携し、半導体人材の育成や共同研究の強化による国内初の三次元積層実装の量産化を確立し、新産業創出を支援
- ③ 中小企業半導体サプライチェーン強化事業【新】【産業技術センター】 15百万円
県内半導体サプライチェーン網と関連中小企業の技術力強化を支援
- ④ くまもとクロス支援事業【拡】【産業支援課】 55百万円
県内中小企業が半導体サプライチェーン強靱化を目指して行う技術力強化に係る研究開発を支援



【観光戦略部】令和5年度主要事業

R5予算額 27億95百万円

[R4予算額 26億25百万円]

R4.2補（経済対策分）21億60百万円

- (1) TSMC進出の効果を生かしながら、コロナ前水準を目指した観光需要の復活、新たな観光スタイルの確立に向けた取組を推進
- (2) 県産品輸出額110億円の実現などに向け、海外・国内における販路を拡大

1 熊本地震からの創造的復興

(1) 震災ミュージアム中核拠点施設のオープン

- ① 震災ミュージアム具体化推進事業、中核拠点整備事業
【観光交流政策課】1億24百万円
指定管理者による中核拠点施設の運営開始、オープニング式典等

(2) ONE PIECE熊本復興プロジェクト

- ① ONE PIECE連携復興応援事業
【観光交流政策課】71百万円
麦わらの一味の像及びコラボ列車（南阿蘇鉄道）などを活用した周遊促進施策等



(3) 教育旅行の地震前水準への回復

- ① 教育旅行誘致推進事業(拡)【観光振興課】33百万円
新規校への宿泊費等の助成、SDGsなどニーズの高い教育旅行プログラムの強化及びセールス等

2 令和2年7月豪雨からの創造的復興

(1) 需要喚起策・観光地域づくり

- ① 豪雨被災地域観光復興応援事業（新）【観光振興課】2月補正
5億12百万円
被災地域への宿泊旅行、交通付宿泊旅行又は着地型商品付宿泊旅行の助成等
- ② 被災地域の更なる魅力創造事業【観光企画課】2月補正
60百万円
観光商品開発、ガイド育成、観光客受入体制構築等
- ③ 球磨焼酎リブランディング事業【販路拡大ビジネス課】
42百万円
球磨焼酎のトップブランド化に向けた魅力発信や販路拡大支援等

3 新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 需要喚起策・事業者支援

- ① 宿泊事業者燃料高騰等対策支援事業【観光企画課】2月補正
9億20百万円
宿泊業者による省エネ設備、省エネ・省力化につながるシステム等の導入への助成
- ② 旅するくまモンパスポート事業【観光振興課】2月補正
1億23百万円
旅行者の県内周遊を促進するため、非接触型のデジタルクーポン『旅するくまモンパスポート』を展開
- ③ 新たな旅のスタイル促進事業【観光振興課】
23百万円
新たな旅のスタイルであるワーケーションを推進するため、企業ニーズに対応したワーケーション素材の磨き上げ、首都圏企業へのセールス等



※インバウンド関係は「TSMC進出を踏まえた取組」に記載

(2) 観光DX（スマートツーリズム）の推進

- ① スマートツーリズム基盤創生・活用事業（新）
【観光企画課】11百万円
県の観光施策に関する成果を蓄積、可視化するデータ基盤の構築
- ② デジタルマーケティング事業【観光企画課】57百万円
旅行者の趣向に合わせた情報発信による誘客促進
- ③ スマート観光交通体系構築推進事業【観光企画課】
43百万円
本県における持続可能な観光MaaSの構築を目指した実証の実施

【観光戦略部】令和5年度主要事業

4 将来に向けた地方創生の取組み

(1) 新しい観光コンテンツの確立

- ① 「マンガ県くまもと」構想推進事業（拡）【観光交流政策課】
39百万円
県にゆかりのあるマンガ・アニメ等のコンテンツを活用した誘客促進等
- ② 国際バドミントン大会誘致促進事業（拡）【観光企画課】
1億2百万円
国際バドミントン大会（熊本マスタースジャパン）の開催
- ③ ツール・ド・九州受入環境整備事業（拡）【観光企画課】
1億24百万円
ツール・ド・九州2023大会開催、機運醸成イベント等



(2) クルーズ船誘致の促進

- ① クルーズ船誘致促進事業(拡)【観光振興課】33百万円
クルーズ船ポートセールスの推進、ツアーバス高速利用料及び借上代助成等



(3) 県産品の販路拡大

- ① 県産農林水産物等輸出推進総合支援事業（拡）
【販路拡大ビジネス課】86百万円
輸出ステージに応じた県内事業者への伴走型支援等
- ② 首都圏等県産品販路拡大事業（拡）
【販路拡大ビジネス課】34百万円
都市圏百貨店・飲食店等と連携したくまもとフェア開催、商品開発等
- ③ GFPフラッグシップ輸出産地形成プロジェクト事業（新）
【販路拡大ビジネス課】1億円
JAグループと連携した旗艦的な輸出産地のモデル形成支援
- ④ くまもと県産品消費喚起緊急支援事業（新） **2月補正**
【販路拡大ビジネス課】1億65百万円
県内事業者が行う県産品・県産酒の消費喚起の取組への助成

【TSMC進出を踏まえた取組み】

(1) インバウンド回復に向けた取組

- ① 台湾インバウンド誘客強化事業（新）【観光振興課】
65百万円 **一部2月補正**
台湾（台北）における観光レップ（現地代理人）の設置、旅行商品の造成・販売支援、台湾からの教育旅行における受入体制の構築
- ② インバウンド地域戦略策定事業（新）【観光振興課】20百万円
コロナ禍で変容したインバウンドの市場需要及び県内の受入環境の調査・分析を実施し、ポストコロナの本県インバウンド戦略を策定

(2) 国際交流・多文化共生の推進

- ① 海外企業進出を踏まえた国際交流・多文化共生推進事業（新）
【観光交流政策課】40百万円 **2月補正**
多文化共生のための交流イベント等の助成、外国人を対象とした県内周遊モニターツアー
- ② 熊本県多文化共生支援事業（拡）【観光交流政策課】
30百万円
オンラインでの初級日本語教室（教室型）の開設、市町村が設置する外国人受入れのための連絡協議会へのアドバイザー派遣等

(4) 観光地の再生に向けた支援

- ① 熊本の温泉街リブランディング事業（新）【観光企画課】
10百万円
県内の温泉街のうち、モデル地域を選定し、現状分析・課題整理を行い、温泉街再生基本構想を策定

【農林水産部】令和5年度主要事業

R5予算額 704億22百万円
[R4予算額 729億31百万円]

R4.2補(経済対策分) 57億30百万円

- 令和2年7月豪雨や熊本地震からの復旧・復興を着実に進めるとともに、新型コロナウイルス感染症等による影響を受けた農林水産業者の経営維持・再建を図る
- 本県の農林水産業を持続的に維持・発展させるため、環境への負担軽減を前提とした「稼げる農林水産業」の実現を目指す

1 令和2年7月豪雨・熊本地震からの創造的復興

① 田んぼダムの取組み

- 田んぼダム普及・拡大推進事業(農村計画課) 17百万円
- 農業生産基盤整備事業(農地整備課) 39百万円
 - ・ 流域治水対策の一環である田んぼダムの取組みの普及・拡大のため、基盤整備、人材育成、普及啓発活用活動等に対する支援



② 農林水産関連施設等の早期復旧

- 団体営農地等災害復旧事業費(農地整備課) 11億76百万円
 - ・ 被災した農地等の復旧(市町村事業への補助)
- 過年林道災害復旧事業(林業振興課) 24億20百万円
 - ・ 被災した林道の復旧(市町村事業への補助)
- 治山激甚災害対策特別緊急事業(森林保全課) 22億48百万円
 - ・ 崩壊した山腹や荒廃した溪流の復旧

③ 大切畑ダムの早期完了

- 県営農地等災害復旧事業<地震>(農地整備課) 26億13百万円
 - ・ 熊本地震で被災した大切畑ダムの復旧

2 新型コロナウイルス感染症等への対応

① 農林水産業者の経営維持・再建に向けた支援

- 収入保険加入緊急支援事業(団体支援課) 53百万円
 - 2補 収入保険の保険料助成・普及啓発を行う県農業共済組合への助成
- 攻めの園芸緊急生産対策事業(農産園芸課) 1億43百万円
 - 2補 新型コロナウイルス及び物価高騰の影響を受けた園芸作物のPQCの最適化に必要な施設整備や機械導入等に対する助成
- 県産麦安定生産体系構築支援事業(農産園芸課) 58百万円
 - 2補 食料安定供給に向けた生産拡大のため、小麦の高品質産地づくりの取組み及びほ場の排水対策に必要な機械導入に対する助成

○ 脱炭素型施設園芸緊急対策事業(農産園芸課) 1億7百万円

- 2補
 - ・ 燃油価格高騰の影響を受けにくい栽培体系への転換を推進するため、ヒートポンプ等の省エネ機器の導入及び木質バイオマス安定供給支援に対する助成
- 森林再生支援事業(森林整備課) 59百万円
 - ・ 再造林又は下刈りの取組み拡大を行う森林組合等を支援

② 県産農林水産物の販路拡大

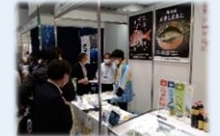
- 「くまもとの牛肉」首都圏流通ルート開拓支援事業(畜産課) 17百万円
 - ・ 県産銘柄牛の認知度向上等のため、首都圏出荷に向けた取組みに対する助成
- くまもとの魚海外市場ターゲット拡大事業(水産振興課) 5百万円
 - ・ 県産水産物の輸出促進の取組みに対する助成



ブームスプレーヤー
(防除同時施肥)



「くまもとの牛肉」首都圏出荷



県産水産物の商談

3 その他主要事業等

<「食料安全保障の一翼を担うくまもと」に向けた4つの挑戦>

① 食料自給率向上に直結する更なる取組み

- 耕畜連携飼料増産推進モデル事業(畜産課) 48百万円
 - 2補 耕畜連携による飼料の生産・調整及び堆肥の利用に取り組む耕種農家等集団に対する支援

② 偽装根絶からフードバリューチェーンの構築へ

- フードバリューチェーン構築推進事業(流通アグリビジネス課) 9百万円
 - ・ フードバリューチェーン全体を最適化し、県産農林水産物等の付加価値を高める取組みの支援

③ あさりの資源回復と流通推進のための取組み

- 県産あさり資源回復事業（水産振興課） 19百万円
 - ・ 蓄養から漁業に転換するための生産体制の構築とあさり資源の保全・育成に係る取組みへの支援
- 県産あさり流通推進事業（水産振興課） 49百万円
 - ・ 産地偽装防止のため、県漁連と連携して、認証制度、監視等を適切に実施するとともに、持続可能な熊本モデルの運用体制を構築に要する経費



あさりブランドシール



網袋の設置・管理

④ 「緑の雇用」の促進

- 豊かな森林づくり人材育成事業（林業振興課） 16百万円
 - ・ 労働者への待遇改善（3%以上の賃金UP）を行った林業事業者が、造林・保育作業を行う労働者に対して法定外福利厚生等の取組みを支援

<弛まず取り組む課題>

① 食料生産の要となる担い手の確保

- 新規就農者育成総合対策事業（農地・担い手支援課） 2億27百万円
 - ・ 就農時の生産体制確立及び新規就農者へのサポート体制の整備に対する助成
- くまもと林業大学校人財づくり事業（林業振興課） 1億42百万円
 - ・ 林業に必要な技術と現場力を兼ね備えた即戦力となる人材や幅広い林業担い手の確保・育成を図るための「くまもと林業大学校」の設置・運営に要する経費
- 未来の漁村を支える人づくり事業（水産振興課） 17百万円
 - ・ 新規就業希望者等に対する漁業研修等に要する経費及び新規漁業事業者の確保・育成の取組みに対する助成



林業における人材育成（林業大学校）

② 競争力・ブランド力の強化

- スマート農業導入加速化事業（農業技術課） 42百万円
 - ・ スマート農業推進のための各種技術の構築、現地実証と普及及び担い手への周知等に要する経費
- 次世代林業・担い手強化支援事業（林業振興課） 36百万円
 - ・ 林業事業者が新技術を活用した林業イノベーションを進めるための研修会開催等に係る経費及び機械導入に対する助成
- スマート養殖業普及拡大事業（水産振興課） 23百万円
 - ・ 魚類養殖におけるICTを活用した自動給餌システム等の技術開発等に対する助成



1人で2台を稼働

- 産地パワーアップ事業（農産園芸課） 20億円
 - ・ 収益力向上に一体的かつ計画的に取り組む産地の生産体制強化に向けた施設整備等に対する助成



集出荷施設の整備

2補

- 畜産クラスター事業（畜産課） 4億33百万円
 - ・ 畜産クラスター計画を策定した地域において、収益性向上等に必要施設整備や経営の継承等を支援

2補

③ みどりの食料システム戦略

- 熊本型みどりの食料システム戦略推進事業（農業技術課） 1億10百万円
 - ・ 循環型農業を実現するため、新技術の開発・実証普及や有機農業の生産拡大の支援等に要する経費
- 森林吸収量クレジット化推進事業（森林整備課） 16百万円
 - ・ 森林吸収量のクレジット化に向けた制度の周知や申請手続きの指導に要する経費



仕事づくり（生産・商品化・販売）

④ 持続可能な中山間地域づくり

- 農村RMO形成推進事業（むらづくり課） 14百万円
 - ・ 農村型地域運営組織（農村RMO）形成の支援等に要する経費
- スーパー中山間地域創生事業（むらづくり課） 56百万円
 - ・ 本県中山間地域の「広告塔」となるスーパー中山間地域の創生に要する経費

<その他>

- 農林水産業BDF利活用実証事業（農林水産政策課） 2百万円
 - ・ 研究機関等におけるBDF導入の検証及び情報発信に要する経費
- くまもと農地GIS利活用DX推進事業（技術管理課） 13百万円
 - ・ GIS業務データの作成、データ共有環境構築及びデータ連携に係る経費
- 原木しいたけ生産DX実証事業（林業振興課） 8百万円
 - ・ 原木しいたけ生産効率化のための環境データ収集、試験施設整備及び関連システムの整備に要する経費
- 山地災害情報共有システム構築事業（森林保全課） 25百万円
 - ・ 山地災害情報共有のための調査アプリの開発及びデータ連携に係る経費

<牛深ハイヤ大橋関連>

- 水産物供給基盤機能保全事業費（漁港漁場整備課） 12億81百万円
 - ・ 漁港施設の長寿命化によるライフサイクルコストの縮減と平準化に要する経費



【土木部】令和5年度主要事業

R5予算額 1,039億10百万円
[R4予算額 956億94百万円]

R4.2補（経済対策分）68億42百万円

I 令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取り組み

① 緑の流域治水の推進

- 河川改良など [河川課] 52億17百万円
 - ・流域治水プロジェクトや河川整備計画に基づき、治水対策(ハード・ソフト対策)等を着実に実施
- 砂防施設の整備 [砂防課] 17億23百万円
 - 土石流災害防止のための砂防堰堤等整備を行い、再度の土砂災害を防止



【河川】御溝川二次放水路整備(人吉市)



【砂防】川内川砂防堰堤整備(球磨村)

② すまい・コミュニティの創造

- 土地区画整理 [都市計画課、道路整備課] 11億26百万円
 - ・防災性の向上及び良好な市街地形成を図るために、土地区画整理と国道445号の道路改築を一体的に実施



令和2年7月豪雨被災状況

施策2 県内全域で取り組む災害に強い郷土づくり

① 県内各地を結ぶ「命の道」等の計画的な整備

- 道路ネットワークの整備 [道路整備課] 199億72百万円
 - ・中九州横断道路、九州中央自動車道等の整備による九州の横軸の更なる強化
 - ・県管理道路におけるリダンダンシー確保に向けた道路整備

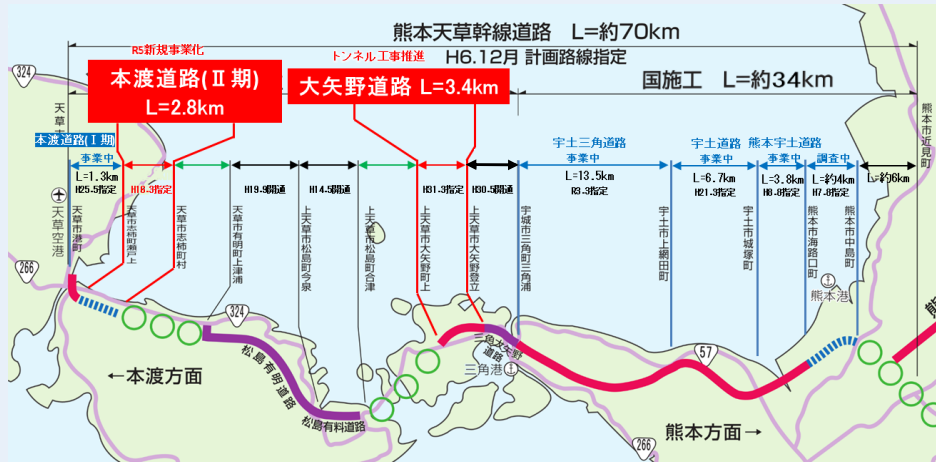


国道325号菊池拡幅(菊池市)



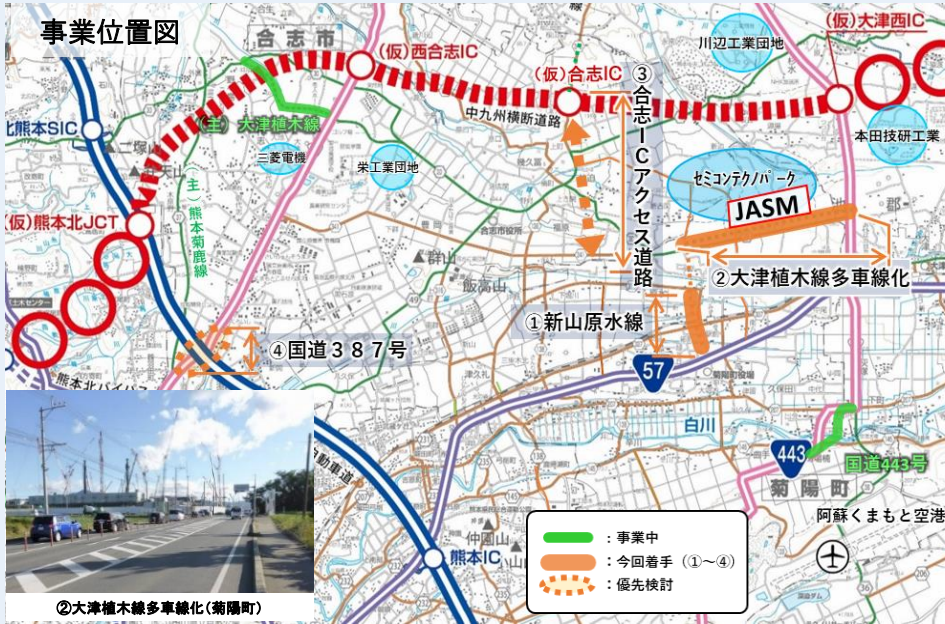
国道389号下田南BP(天草市)

・90分構想の実現に向け、熊本天草幹線道路の整備を着実に推進



I 令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

・TSMC進出を契機とした今後の企業集積を見据え、熊本都市圏北部の将来の基幹となる道路ネットワークを強化



・新広域道路交通計画に位置付けた新たな高規格道路3路線の実現に向けた各種調査・検討を実施

10分・20分構想

中心部～高速道路IC **約10分**
 中心部～熊本空港 **約20分**



②防災・減災、国土強靱化のためのインフラの強化

- 道路施設の保全〔道路整備課、道路保全課〕 116億39百万円
道路・橋りょうの老朽化対策などを実施
- 河川・砂防事業〔河川課、砂防課〕 339億74百万円
頻発化・激甚化する水害等からの被害を防止するため河川事業、砂防事業を実施
- 港湾整備など〔港湾課〕 42億91百万円
熊本港・八代港等における物流機能・人流機能の強化を実施



熊本港の整備



八代港の整備

- 新 ○盛土対策基礎調査事業〔建築課〕 47百万円
宅地造成及び盛土等規制法に基づく規制区域指定のための調査を実施

III 熊本地震からの創造的復興

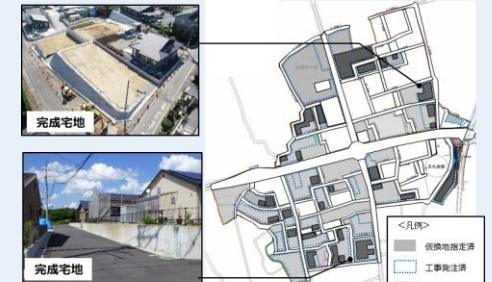
施策2 創造的復興の推進

益城町の復興まちづくり

- 街路整備、土地区画整理〔都市計画課〕 43億31百万円
・防災機能や交通円滑化等の向上のため、熊本高森線を4車線化
・都市機能集積及び防災機能向上のため、土地区画整理を実施



4車線化整備箇所（広崎地区）



土地区画整理状況

【警察本部】令和5年度主要事業

R5予算額 399億40百万円

R4.2補（経済対策分）11百万円

[R4予算額 400億26百万円]

- 「新しいくまもと創造に向けた基本方針」に沿った取組みと、喫緊の治安課題への対応
- 科学技術・ICTの発展や新たな生活様式の浸透等、変容する社会情勢に対応するDXや業務イノベーションの推進

I 令和2年7月豪雨災害からの創造的復興

施策1 被災者・被災地域の1日も早い復旧・復興に向けた取組み

① 警察統合OAネットワークの一部無線化（新）1百万円
・ 駐在所端末有線LANの閉域網LTE化

② 復旧・復興に向けた総合治安対策の推進 28百万円
・ 被災地防犯アドバイザーによる防犯活動や相談対応



③ 警察施設災害復旧費 3百万円
・ 甚大な被害を被った被災者に寄り添い、住民の安全安心を守るための拠点となる警察施設の復旧
八代署坂本駐在所仮事務所の運用

IV 将来に向けた地方創生の取組み

施策3 安全・安心な社会の実現

① 交通安全施設等整備費 14億27百万円

- ・ 交通安全水準のさらなる向上に関する宣言決議等を踏まえた横断歩道等の道路標示や信号機の改良等



② 交通安全アドバイザー事業（新）5百万円

- ・ 専任アドバイザー雇用による体験型交通安全教育活動の強化



自転車シミュレーター及び同搭載車両



交通安全教育

③ くまもとの「まち」と「ひと」を守る声掛け安心事業 61百万円

- ・ 県警ひまわり隊による声掛け・訪問等の活動

④ 電話で『お金』詐欺被害防止のための総合対策 23百万円

- ・ 県民の貴重な財産を守るための意識啓発、注意喚起等の対策推進
- 【主な取組み】
- 1 被害防止コールセンターの運用
 - 2 犯行手口や被害世代に応じた媒体(テレビCM、新聞広告、SNS)による積極的な広報の実施



II 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応

施策1 感染症対策の体制強化

- 警察活動における感染症対策事業 9百万円
・ 留置管理や現場警察活動における感染予防対策

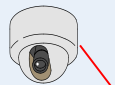


IV 将来に向けた地方創生の取組み

施策3 安全・安心な社会の実現

⑤ ストーカー・DV等人身安全対策の推進 2百万円

- ・ 防止用監視機器の設置による行為者の迅速な特定と被害者の安心感の醸成、行為者へのカウンセリングによる再犯防止対策の推進



⑥ テロ対策、警備における防護力の強化（新） 6百万円



- ・ 情報共有の合理化・迅速化による警備精度の向上、資機材整備による機動性の強化

【主な取組み】

- 1 警備計画の電子化・ペーパーレス化
- 2 通信資機材等の整備

⑦ 外国人材の受入れ・共生への取組み 15百万円

- ・ 部外通訳や多言語コールセンターの活用等による通翻訳体制の確保とTSMC進出等を踏まえた海外語学研修の充実

⑧ サイバー犯罪対策と経済安全保障の推進 28百万円

- ・ サイバー空間の安全確保に資する専門捜査員の育成や半導体関連産業の集積を見据えた情報管理の強化

【主な取組み】

- 1 民間事業者が実施する技術研修への職員の派遣
- 2 サイバー犯罪捜査用資機材の整備



⑨ 犯罪被害者への支援 8百万円

- ・ 犯罪被害者及びその家族の被害回復及び二次的被害の防止・軽減を図り、社会全体で被害者等を支えるネットワークの構築

⑩ デジタル化の推進による行政サービスの向上 1億57百万円

- ・ 行政のデジタル化による業務の合理化・効率化を図り、県民サービスの更なる向上

【主な取組み】

- 1 ガバメントクラウドの推進による運転免許基幹システムの高度化、免許証自動受付機の導入
- 2 捜査情報管理、人身安全関連業務の高度化
- 3 AI-OCR対象業務の拡充、RPAの導入



⑪ 済生会総会警備対策事業（新） 4百万円

- ・ 令和6年1月開催予定の「第76回済生会学会・令和5年度済生会総会」における警備対策の実施

⑫ 選挙違反取締りの強化 10百万円

- ・ 令和5年4月予定の統一地方選挙及び令和6年3月予定の熊本県知事選挙における各種違反取締りの実施

⑬ 警察活動の拠点施設の整備 7億28百万円

- ・ 県民の安全・安心の拠り所となる警察署や交番・駐在所等の機能強化、計画的かつ効果的な整備

【主な取組み】

- 1 警察署等における空調設備等の改修工事
- 2 駐在所の統合等機能強化
- 3 運転免許センター受変電設備更新工事



⑭ 上天草警察署整備事業 7億69百万円

- ・ 上天草警察署の現地建替工事（3年目／3か年）

【教育委員会】令和5年度主要事業

R5予算額 1,250億80百万円 | R4.2補（経済対策分） 67百万円
[R4予算額1,240億30百万円]

1 基本的な考え方

(1) 熊本地震からの創造的復興

引き続き、被災児童生徒の支援、国・県指定文化財や歴史的建造物等の復旧・復興に取り組む

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応 ～感染症対策と学びの保障の両立「新たな日常」をスタンダードに～

子供たちや教職員が安全安心に過ごせる感染症対策の充実、ICT活用などコロナ禍においても学びを支える環境を整備し、個別最適な学びを推進する

(3) 令和2年7月豪雨からの創造的復興 ～被災地の希望につなげる～

被災児童生徒の支援や心のケアに取り組み、安全安心な教育環境を整備する。また、被災地域の誇りの回復のため、被災した文化財等の早期復旧・復興に取り組む

(4) その他基本方針に沿った取組み

① 誰一人取り残さない学びの保障 ② きめ細かな教育による学力の向上とグローバル人材の育成 ③ 魅力ある学校づくり

2 令和5年度予算で取り組む主な施策

(1) 熊本地震からの創造的復興

① 被災児童生徒の支援

- ・ 高等学校等通学支援事業（熊本地震分） **41百万円**
南阿蘇鉄道の運休により通学困難となった生徒に対する通学支援
- ・ スクールカウンセラー活用事業（熊本地震分） **14百万円**
児童生徒の心のケアを行うスクールカウンセラーの配置
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業（熊本地震分） **1百万円**
地震の影響が大きかった地域の児童生徒の支援等のためスクールソーシャルワーカーを配置



② 文化財の災害復旧

- ・ 文化財災害復旧事業 **3億円**
国・県指定文化財等の復旧
- ・ 被災文化財保存復旧支援事業 **6百万円**
未指定歴史的建造物の復旧に係る被災者支援対策経費等
- ・ 熊本文化財記録・伝承事業（新） **1百万円**
対応記録集の刊行に要する経費等



(2) 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 特別支援学校通学バス感染症対策事業 **1億13百万円**
通学バスの乗車数を少人数化するため通学バスを増便
- ・ 学校における感染症対策事業 **2月補正 32百万円**
県立学校における感染症対策のための物品購入



- ・ 熊本県教育情報化推進事業（教育情報化研修事業） **10百万円**
教職員のICT活用指導力向上研修及び情報モラル研修等の実施
- ・ 教育支援体制整備事業（公立幼稚園） **11百万円**
公立幼稚園における感染症対策等の教育環境整備を実施する市町村への補助

【教育委員会】令和5年度主要事業

(3) 令和2年7月豪雨からの創造的復興

① 被災児童生徒の支援

- ・ 高等学校等通学支援事業（豪雨分） **3億30百万円**
JR肥薩線及びくま川鉄道の運休により通学困難となった生徒への通学支援
- ・ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー活用事業（豪雨分） **3百万円**
児童生徒の心のケア等のためのスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーを配置
- ・ 熊本県教育情報化推進事業（球磨川流域教育情報化推進事業） **1百万円**
ICT企業と連携した教職員・生徒向け研修や学校の取組みへの支援

・ 地域資源とのコラボ推進事業

2百万円

人吉球磨地域の学校・学科の特色化を図るため専門教育を充実

② 文化財の災害復旧

- ・ 文化財保存事業（豪雨分） **21百万円**
被災した文化財等の保存等を目的とした事業への補助
- ・ 文化財災害復旧事業 **7百万円**
被災した文化財の復旧



青井阿蘇神社

(4) その他基本方針に沿った取組み

① 誰一人取り残さない学びの保障

- ・ 夜間中学整備事業（拡） **1億85百万円**
令和6年4月に開校する県内初の夜間中学の設置準備等
- ・ 多様な学びの場整備事業（新） **2百万円**
「新しい通級による指導モデル」の開発や教員の専門性の向上のための研修等
- ・ 学校施設整備事業（県立高校・特別支援） **44億6百万円** **一部2月補正**
老朽化した学校施設の改築や長寿命化改修等



② きめ細かな教育による学力の向上とグローバル人材の育成

- ・ 学力向上対策事業 **71百万円**
子供たちの主体的な学びを育む教職員の授業力向上に向けた取組み等を充実
- ・ 熊本県教育情報化推進事業（熊本県教育情報システム運用事業）（拡） **1億80百万円**
校務のICT化や学習データ活用のためのソフトの導入等
- ・ こども図書館設置準備事業 **26百万円**
こども図書館の開館に向けた図書購入や広報等の取組み
- ・ 特別展「文字が語る古代のくまもと」の開催（新） **11百万円**
くまもと文学・歴史館の佐藤館長が企画する重要文化財等の展示会の開催
- ・ 日本語指導推進事業（新） **15百万円**
日本語指導者養成及びTSMC駐在員子女受け入れに係る体制整備

③ 魅力ある学校づくり

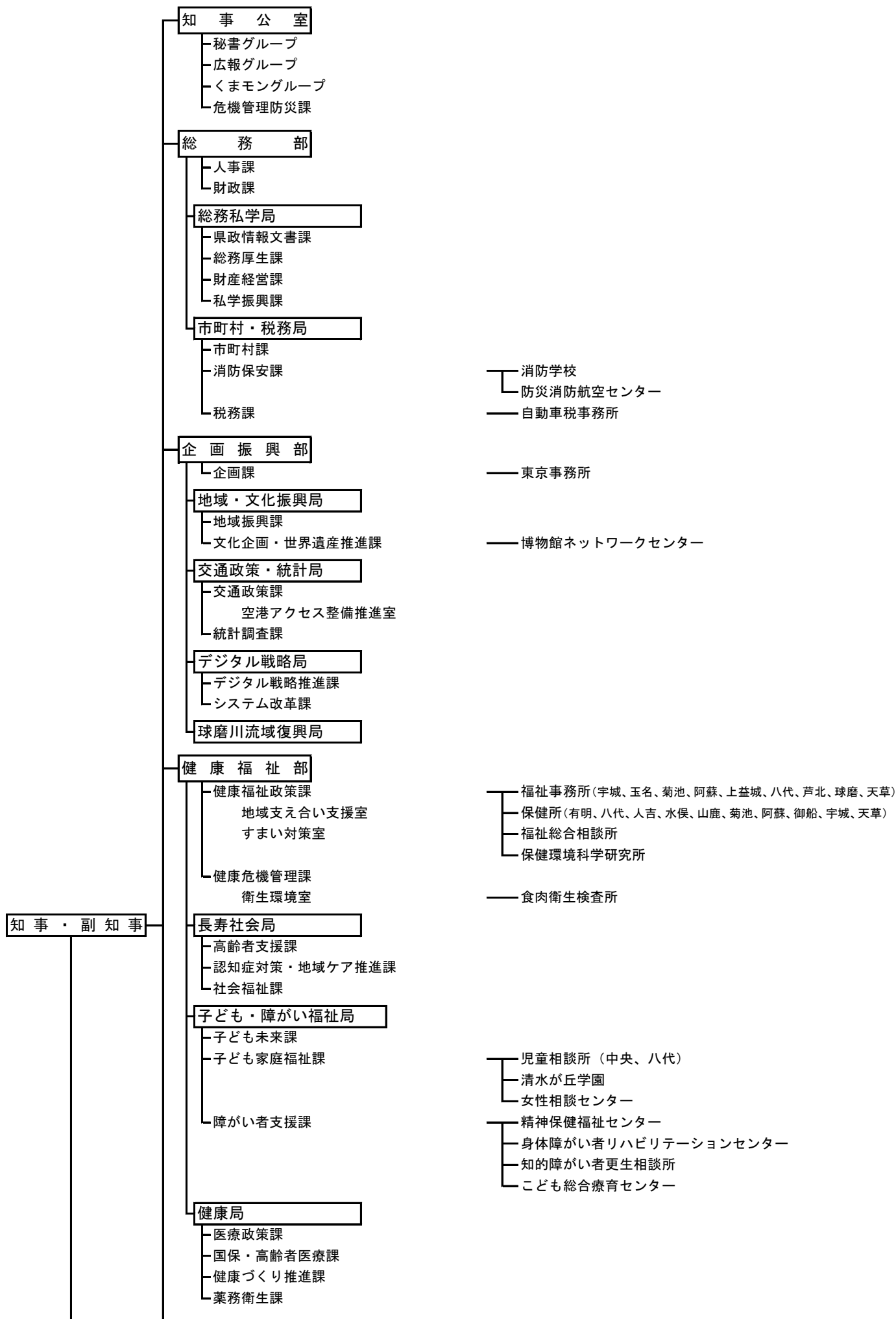
- ・ 県立高校魅力化きらめきプラン（拡） **49百万円**
各学校の特色化、情報発信、国際バカロレア認定に向けた準備等
- ・ 県立高校半導体関連人材育成事業（新） **38百万円**
半導体関連企業等の見学や体験学習、半導体エンジニアを講師とする出前授業等
- ・ 教員不足解消緊急対策事業（新） **9百万円**
教員不足解消のための戦略的な広報活動やペーパーティーチャー講習会の実施等

- ・ 学校における働き方改革推進事業（拡） **11百万円**
働き方改革支援アドバイザーの派遣、学校訪問等によるフォローアップ



- ・ 部活動指導員配置事業（拡） **46百万円**
市町村立中学校及び県立学校における部活動指導員の配置
- ・ 子供たちの豊かなスポーツ環境整備事業（新） **77百万円** **一部2月補正**
休日の中学校運動部活動の地域移行に向けた県と市町村の実証事業





環境生活部

- 環境政策課
- 水俣病保健課
- 水俣病審査課

環境局

- 環境立県推進課
- 環境保全課
- 自然保護課
- 循環社会推進課

—— 環境センター

県民生活局

- くらしの安全推進課
- 消費生活課
- 男女参画・協働推進課
- 人権同和政策課

—— 消費生活センター

商工労働部

- 商工政策課

大阪事務所
福岡事務所

商工雇用創生局

- 商工振興金融課
- 労働雇用創生課

高等技術専門校
技術短期大学校

産業振興局

- 産業支援課
- エネルギー政策課
- 企業立地課
- 半導体立地支援室

—— 産業技術センター

観光戦略部

- 観光国際政策課
- 観光企画課
- 観光振興課
- 販路拡大ビジネス課

農林水産部

- 農林水産政策課
- 団体支援課
- 流通アグリビジネス課

生産経営局

- 農業技術課
- 農産園芸課
- 畜産課
- 農地・担い手支援課

農業研究センター
病虫害防除所

家畜保健衛生所(中央、城北、阿蘇、城南、天草)
農業大学校

農村振興局

- 農村計画課
- 農地整備課
- むらづくり課
- 技術管理課

—— 大切畑ダム復興事務所

森林局

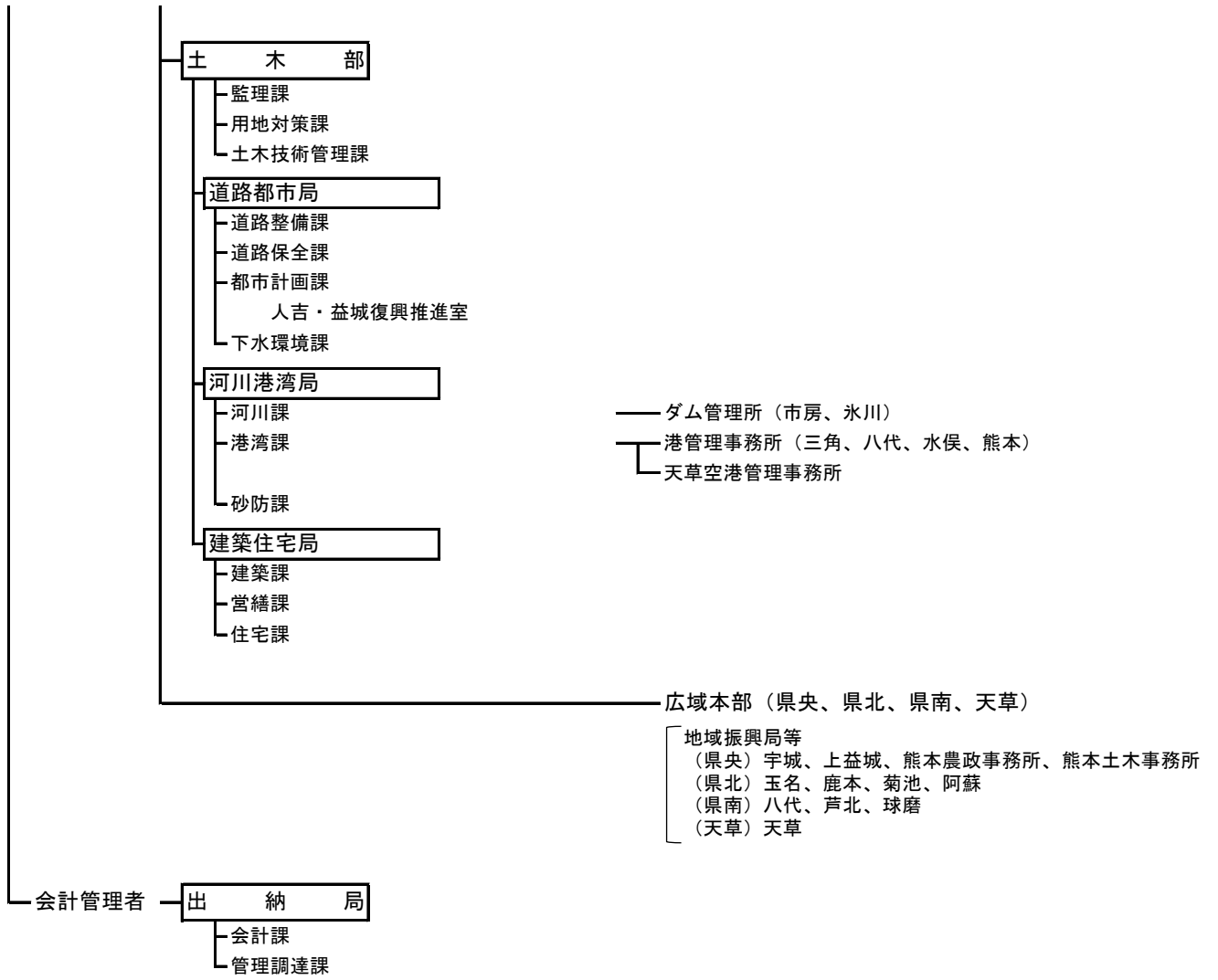
- 森林整備課
- 林業振興課
- 森林保全課

—— 林業研究・研修センター

水産局

- 水産振興課
- あさり流通企画室
- 漁港漁場整備課

水産研究センター
漁業取締事務所



部	公室	局	部内局	課	グループ	課内室	出先 機関
8	1	1	20	※ 81	3	7	65

※出納局2課含む

企業局・病院局・議会事務局・各種委員（会）事務局機構図

【R5.4.1現在】

